

相生市看護専門学校建設工事設計図

番号	意匠図	番号	意匠図	番号	意匠図	番号	構造図	番号	電気設備図	番号	電気設備図	番号	機械設備図
A-001	図面リスト	A-048	1階教員室周り 平面詳細図・展開図	A-095	家具詳細図(1)	S-001	構造特記仕様書	E-001	電気設備特記仕様書	E-048	2階自動火災報知設備図	M-001	機械設備 特記仕様書
A-002	特記仕様書(1)	A-049	1階講師控室周り 平面詳細図・展開図	A-096	家具詳細図(2)	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-002	全体配置図	E-049	R階自動火災報知設備図	M-002	衛生設備 配置図
A-003	特記仕様書(2)	A-050	1階会議室 平面詳細図・展開図	A-097	家具詳細図(3)	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-003	単線結線図	E-050	太陽光設備特記仕様書	M-003	衛生設備 機器・器具表
A-004	特記仕様書(3)	A-051	1階職員用廊下 平面詳細図・展開図	A-098	家具詳細図(4)	S-004	鉄骨工作標準図(1)	E-004	幹線系統図	E-051	太陽光設備単線結線図	M-004	衛生設備 系統図
A-005	特記仕様書(4)	A-052	2階廊下(1) 平面詳細図・展開図(1)	A-099	図書室家具詳細図(1)	S-005	鉄骨工作標準図(2)	E-005	1階幹線設備図	E-052	太陽光設備機器姿図	M-005	衛生設備 1階平面図
A-006	特記仕様書(5)	A-053	2階廊下(1) 展開図(2)	A-100	図書室家具詳細図(2)	S-006	ジャストベース (JE II 型) 柱脚工法設計施工標準図	E-006	2階幹線設備図	E-053	1階太陽光配線図	M-006	衛生設備 2階平面図
A-007	特記仕様書(6)	A-054	2階在宅看護実習室 平面詳細図・展開図	A-101	天井地下 平面割付図	S-007	ニューフェローデッキ設計標準仕様書	E-007	R階幹線設備図	E-054	2階太陽光配線図	M-007	衛生設備 R階平面図
A-008	特記仕様書(7)	A-055	2階看護学実習室 平面詳細図・展開図(1)	A-102	天井断面図	S-008	ボーリング柱状図	E-008	分電盤図(1)	E-055	R階太陽光配置図	M-008	衛生設備 1階平面詳細図
A-009	特記仕様書(8)	A-056	2階看護学実習室 平面詳細図・展開図(2)	A-103	天井詳細図	S-009	基礎伏図	E-009	分電盤図(2)	E-056	太陽光設備 屋根伏配置図	M-009	衛生設備 2階平面詳細図1
A-010	特記仕様書(9)	A-057	2階CR(1) 平面詳細図・展開図	A-104	日影図	S-010	基礎詳細図1	E-010	分電盤図(3)			M-010	衛生設備 2階平面詳細図2・R階平面詳細図
A-011	付近見取図	A-058	2階男子便所周り 平面詳細図・展開図	A-105	仮設計画配置図	S-011	基礎詳細図2	E-011	分電盤図(4)			M-011	衛生設備 屋外平面詳細図
A-012	現況全体配置図	A-059	2階学生更衣室(女) 平面詳細図・展開図			S-012	基礎詳細図3	E-012	分電盤図(5)			M-012	空調設備 機器表
A-013	全体配置図	A-060	2階女子便所周り 平面詳細図・展開図			S-013	地中梁リスト	E-013	1階動力設備図			M-013	空調設備 系統図
A-014	造成計画図	A-061	2階学生自治会室周り 平面詳細図・展開図			S-014	スラブリスト・雑配筋図	E-014	2階動力設備図			M-014	空調設備 1階平面図
A-015	敷地縦横断面図(1)	A-062	2階演習室 平面詳細図・展開図	G-001	外構計画図	S-015	2F梁伏図	E-015	R階動力設備配線図			M-015	空調設備 2階平面図
A-016	敷地縦横断面図(2)	A-063	2階廊下(2) 展開図	G-002	外構詳細図(1)	S-016	RF梁伏図	E-016	1階空調電源設備図			M-016	空調設備 R階平面図
A-017	敷地求積図	A-064	1階天井伏図	G-003	外構詳細図(2)	S-017	PHF梁伏図	E-017	2階空調電源設備図			M-017	換気設備 機器表
A-018	開発区域敷地求積図	A-065	2階天井伏図	G-004	北側スロープ詳細図	S-018	軸組図1	E-018	電灯姿図(1)			M-018	換気設備 1階平面図
A-019	建物求積図	A-066	建具表(1)	G-005	東側外部階段・スロープ詳細図	S-019	軸組図2	E-019	電灯姿図(2)			M-019	換気設備 2階平面図
A-020	各室求積図	A-067	建具表(2)	G-006	防火水槽詳細図	S-020	軸組図3	E-020	1階電灯設備図			M-020	換気設備 R階平面図
A-021	面積区画求積図	A-068	建具表(3)	G-007	駐輪場詳細図	S-021	軸組図4	E-021	2階電灯設備図			M-021	空調・換気設備 系統図(リモコン配線)
A-022	仕上表(1)	A-069	建具表(4)	G-008	ポンベ庫・受水槽ポンプ室詳細図	S-022	軸組図5	E-022	R階電灯設備図			M-022	空調・換気設備 1階平面図(リモコン配線)
A-023	仕上表(2)	A-070	建具表(5)	G-009	現況・撤去植栽位置図、植栽リスト	S-023	軸組図6	E-023	1階換気設備図			M-023	空調・換気設備 2階平面図(リモコン配線)
A-024	ビット平面図	A-071	壁詳細図(1)			S-024	部材リスト1	E-024	2階換気設備図			M-024	空調設備 R階平面図(リモコン配線)
A-025	1階平面図	A-072	壁詳細図(2)	EV-001	EV詳細図(1)	S-025	部材リスト2	E-025	1階コンセント設備図				
A-026	2階平面図	A-073	外部サイン位置図	EV-002	EV詳細図(2)	S-026	PCa版詳細図1	E-026	2階コンセント設備図				
A-027	R階平面図	A-074	1階サイン位置図	EV-003	EV詳細図(3)	S-027	PCa版詳細図2	E-027	1階誘導灯設備図				
A-028	屋根伏図	A-075	2階サイン位置図			S-028	架構図	E-028	2階誘導灯設備図				
A-029	立面図(1)	A-076	サイン詳細図	番号	造成計画図	S-029	屋外階段 構造特記仕様書	E-029	1階非常灯設備図				
A-030	立面図(2)	A-077	部分詳細図(1)	Z-001	造成計画平面図	S-030	ジャストベース (JE II 型) 柱脚工法設計施工標準図	E-030	2階非常灯設備図				
A-031	断面図	A-078	部分詳細図(2)	Z-002	A路線縦断面図	S-031	屋外階段 ボーリング柱状図	E-031	放送設備系統図・弱電機器設姿図				
A-032	矩計図(1)	A-079	部分詳細図(3)	Z-003	B路線縦断面図	S-032	屋外階段 構造図	E-032	1階放送設備図				
A-033	矩計図(2)	A-080	部分詳細図(4)	Z-004	横断面図(NO. 0~NO. 1)	S-033	屋外階段 架構図	E-033	2階放送設備図				
A-034	矩計図(3)	A-081	部分詳細図(5)	Z-005	横断面図(NO. 2~NO. 3)	S-034	屋外階段 部材リスト	E-034	誘導支援設備姿図 系統図				
A-035	矩計図(4)	A-082	部分詳細図(6)	Z-006	横断面図(NO. 4)			E-035	1階弱電設備図				
A-036	屋内階段詳細図	A-083	部分詳細図(7)	Z-007	横断面図(NO. 5)			E-036	2階弱電設備図				
A-037	屋外階段 平面詳細図	A-084	部分詳細図(8)	Z-008	横断面図(NO. 6)			E-037	1F講堂 AV設備 システムブロック図				
A-038	屋外階段 断面詳細図	A-085	部分詳細図(9)	Z-009	横断面図(NO. 7)			E-038	1F講堂 AV設備 機器姿図(1)				
A-039	1階玄関前・風除室・教室 平面詳細図・展開図	A-086	部分詳細図(10)	Z-010	排水施設構造図			E-039	1F講堂 AV設備 機器姿図(2)				
A-040	1階学生ラウンジ周り 平面詳細図・展開図(1)	A-087	部分詳細図(11)	Z-011	擁壁工構造図			E-040	1F視聴覚教室 AV設備 システムブロック図・機器姿図				
A-041	1階学生ラウンジ周り 展開図(2)	A-088	部分詳細図(12)	Z-012	擁壁工展開図(1)			E-041	1階AV設備図				
A-042	1階学生ラウンジ周り 展開図(3)	A-089	部分詳細図(13)	Z-013	擁壁工展開図(2)			E-042	2FCR(1)~(3) AV設備 システムブロック図・機器姿図				
A-043	1階演習室 平面詳細図・展開図	A-090	部分詳細図(14)	Z-014	耐震性貯水槽構造図			E-043	2階看護学実習室 AV設備システムブロック図・機器姿図(1)				
A-044	1階視聴覚教室・情報処理室 平面詳細図・展開図	A-091	部分詳細図(15)	Z-015	貯水ビット接続樹構造図			E-044	2階看護学実習室 AV設備 機器姿図(2)				
A-045	1階図書室周り 平面詳細図・展開図	A-092	部分詳細図(16)	Z-016	取壊し平面図			E-045	2階AV設備図				
A-046	1階講堂 平面詳細図・展開図	A-093	1階家具配置図	Z-017	取壊し構造図			E-046	自動火災報知設備 系統図				
A-047	1階便所周り 平面詳細図・展開図	A-094	2階家具配置図					E-047	1階自動火災報知設備図				

相生市看護専門学校建設		工事設計図	令和 6年 1月
特記仕様書			
I 工事概要			
1. 工事場所	兵庫県相生市旭二丁目95番1の一部		
2. 敷地面積	4,708.83 m ²		
3. 工事種目	建築本体工事 電気設備工事 機械設備工事 昇降機設備工事 造成工事 外構工事		
II 工事範囲			
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。			
※「3. 工事種目」のうち工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。			
「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。			
2 仮設工事	工事範囲すべて		
3 土工			
4 地業工事			
5 鉄筋工事			
6 コンクリート工事			
7 鉄骨工事			
8 コンクリートブロック・ALCパネル ・押出成形セメント板工事			
9 防水工事			
11 タイル工事			
12 木工			
13 屋根及びびとい工事			
14 金属工事			
15 左官工事			
16 建具工事			
17 カーテンウォール工事			
18 塗装工事			
19 内装工事			
20 ユニット及びその他の工事			
21 排水工事			
22 舗装工事			
23 植栽及び屋上緑化工事			

II 建築工事仕様	
1. 標準仕様	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標準仕様書」という。）による。	
2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。なお、電気設備工事の特記仕様書は（電気特記仕様書）、機械設備工事の特記仕様書は（機械特記仕様書）による。	
3. 特記仕様書の表記	
(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。	
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。	
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	
◎印と○印の付いた場合は、共に適用する。	
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
(4) □印は「図等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（平成31年2月閣議決定）に定める判断の基準を満たす物品を示す。	
章 項 目 特 記 事 項	
① 一般共通事項	図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 ・建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ・要求水準書 ・現場説明書
② 工事実績情報サービスへの登録	※適用する (1.1.4)
③ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速 (V ₀ = 32 m/s) 地表面粗度区分 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ) ○積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (30cm)
④ 工事写真の撮影対象	※営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編（平成30年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修による。 (1.2.4)
⑤ 電気保安技術者	※適用する (1.3.3)
6 施工条件	下記以外は現場説明書による。 ・工用車両の駐車場所 ※図示 ・資機材置場 ※図示 ・建設発生土仮置場 ※図示 ・ _____ ※図示 (1.3.5)
⑦ 発生材の処理等	※現場説明書による ○構外搬出適切処理 (1.3.11)
⑧ 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可燃性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (1.4.2)
⑨ 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔一社〕公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型持用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既設合モルタル、既設合目地材、ルーフレン、吸気調整材、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、アルミニウム製建具（木下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（木下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、鋸前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリース樹脂フォーム、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、

⑩ 技能士			
(1.5.2)			
適用工事種別	技能検定作業		
仮設工事	・とび作業		
鉄筋工事	・鉄筋組立て作業		
コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業		
鉄骨工事	・構造物鉄工作業		
コンクリートブロック ・ALCパネル ・押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業		
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業		
石工事	・石張り作業		
タイル工事	・タイル張り作業		
木工	・大工工事作業		
屋根及びびとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業		
金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業		
左官工事	・左官作業		
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業		
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業		
塗装工事	・建築塗装作業		
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業		
排水工事	・建築配管作業		
舗装工事	・溶融べントハンドマーカ-工事作業 ・加熱べントマシンマーカ-工事作業		
植栽工事	・造園工事作業		
(1.5.9)			
(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。			
(2) 測定対象室及び測定箇所は仕上げ表による。			
(3) 測定は、パンプ型採取機器により行う。			
(4) 測定方法及び測定結果の報告を、監督職員に提出する。 (1.7.1~3) (表1.7.1)			
※完成図書 提出部数 ※(A3版 原因及び複写図(2部)) ・部 C A Dデータ ※提出する ・提出しない ※保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・部			
⑪ 化学物質の濃度測定			
(1.5.9)			
(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。			
(2) 測定対象室及び測定箇所は仕上げ表による。			
(3) 測定は、パンプ型採取機器により行う。			
(4) 測定方法及び測定結果の報告を、監督職員に提出する。			
⑫ 完成時の提出図書			
(1.7.1~3) (表1.7.1)			
※完成図書 提出部数 ※(A3版 原因及び複写図(2部)) ・部 C A Dデータ ※提出する ・提出しない ※保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・部			
⑬ 完成写真			
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。			
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	面数・面数等
○カラー	※キャビネット	外部 () 内部 () ※2 ・	※500万画素以上
		外観正面 (※1 ・) ※5 ・	
		・カラー四切木製パネル	外部 () 内部 () ※2 ・
		・カラー半切木製パネル	外部 () 内部 () ※2 ・
		○電子データ	外部 () 内部 () ※2 ・ ※500万画素以上
電子データは、RGB(フルカラー)、JPG6形最高画像とし、CD-Rにて提出する。 ・建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者			
⑭ 他工事又は他工種との取合い			
工事区分表による。これにより難しい場合は監督職員と協議する。			
⑮ 設計 G L			
※図示 ・ ()			
⑯ 仮設工事			
① 足場その他	(2.2.4) ○「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。		
② 監督職員事務所	(2.3.1) ※図示 ・ 設けない 規模及び仕上げの程度は現場説明書による。		
③ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償)		
④ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償)		
⑰ 土工			
① 埋戻し及び盛土	(3.2.3) (表3.2.1) 埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所 () ○B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 ()		
② 建設発生土の処理	(3.2.5) ○構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に敷出し		
③ 山留めの撤去	(3.3.3) ○鋼矢板等の抜き跡の処理 ○直ちに砂で充填する ・ ・山留め壁の存置 ・行う (存置範囲 ※図示 ・)		

④ 地業工事											
① 支持地盤											
・杭基礎 (4.2.1) (4.3.4) (4.3.5) (4.5.5) (4.5.6) 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ○図示による () ・											
○直接基礎 (4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ○図示による () ・											
試験掘り（根切り底の状態の確認等） (3.2.1) ○行わない ・行う 位置等 ・図示による () ・											
・杭の載荷試験 (4.2.3) 試験の位置、方法等 ・図示による () ・平板載荷試験											
・地盤の載荷試験 (4.2.4) 試験の位置、方法等 ・図示による () ・											
2 既製コンクリート杭地業 (4.3.3) 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 寸法、継手、性能等（種類：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2) (4.3.3)											
試験杭	上杭 中杭 下杭										
本杭	上杭 中杭 下杭										
杭先端部形状 (4.3.3) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・											
・セメントミルク工法 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.4) 試験杭 試験杭の位置 ・図示による () ・ 掘削深さ ・図示による () ・ 杭の支持層への掘入れ深さ ・図示による () ・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・径径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内											
・特定埋込杭工法 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持方式のうちα、β、γ以下の値を採用できる工法 α=()、β=()、γ=() 工法 ・プレローリング拡大掘削工法 ・中掘り拡大掘削工法 ・ 杭周固定液 ・使用する ・使用しない 試験杭 試験杭の位置 ・図示による () ・ 杭の支持層への掘入れ深さ ・図示による () ・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による											
杭継手工法 (4.3.3) (4.3.6) (7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による											
杭頭の処理 (4.3.8) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による () ・											
杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同割合のもの ・											
令和4年版											

④ 地業工事へ続き	3 鋼杭地業	寸法、寸法、継手等 (4.2.2) (4.4.3) (4.4.5)	種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
	試験杭 本杭									
	4 場所打ち コンクリート杭地業	特定埋込杭工法 (4.2.2) (4.3.5) (4.4.4) H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ 工法 中掘り拡大根固め工法 試験杭 試験杭の位置 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による 杭の継手の工法 (4.4.3) (4.4.5) (7.2.5) 溶接継手 形状 JIS A 5525iによる 溶接材料 標準仕様書 7.2.5(1) (2)による 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 杭頭の処理 (4.3.8) (4.4.6) 処理しない 処理する 処理方法(切断をともなう補強方法含む) ※示による() 杭頭の中詰め材料 (4.3.8) 基礎のコンクリートと同調合のもの 工法 (4.5.1) (4.5.4) (4.5.5) アースドリル工法(安定液 ※使用する ※使用しない) リバース工法 オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 (4.5.1) (4.5.6) 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 SKK400 SKK490 拡底杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない) 寸法等 (4.2.2) 鋼管厚 (mm) 鋼管径 (mm) 軸径 (mm) 拡底径 (mm) 杭長 (mm) w/t数 長期設計支持力(kN/本) 備考 試験杭 本杭 試験杭 試験杭の位置 ※示による() 孔壁の保持状況(孔壁測定) 測定箇所 試験杭()箇所及び本杭()箇所 杭の支持層への掘入れ深さ ※示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 ※評定等の内容による 杭の傾斜 1/100以内 ※評定等の内容による 鉄筋の種類 (4.5.4) 種類 呼び径 (mm) 備考 SD295A SD345 帯筋 (4.5.4) ※示による(構造関係共通図(配筋標準図)2.2) 鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4) 100mm								

5 砂利地業	鉄筋かごの補強 (4.5.4) ※示による() 杭径1.5m以下の場合には鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する 組み立てた鉄筋のかごの継手 (4.5.4) (5.3.4) ※重ね継手 重ね継手の長さ ※示による() 主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4) (5.3.4) ※示による() セメントの種類 (4.5.4) ※高炉セメントB種 ㊥ コンクリートの設計基準強度 (4.5.4) ※示による() コンクリートの種類 (4.5.4) (表4.5.1) A種 B種 評定等の内容による スランプ (4.5.4) 18cm 構造体強度補正値 (S) (4.5.4) 3N/mm ² ※示による() 評定等の内容による 材料 (4.6.2) 再生クラッシュラン ㊥ 切込砂利及び切込砕石 砕石厚さ (4.6.3) 60mm 100 120 150 適用箇所 基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ※示による() 捨コンクリートの厚さ (4.6.4) 80mm (独立基礎) 50mm (土間・スラブ下) 施工範囲 (4.6.4) (6.14.1) 基礎梁下、土に接するスラブ下 ※示による() 設計基準強度 (4.6.4) (6.14.1) 18N/mm ² スランプ (4.6.4) (6.14.1) 15cm又は18cm 材料 (4.6.2) ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 (4.6.5) 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下
6 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ (4.6.4) 80mm (独立基礎) 50mm (土間・スラブ下) 施工範囲 (4.6.4) (6.14.1) 基礎梁下、土に接するスラブ下 ※示による() 設計基準強度 (4.6.4) (6.14.1) 18N/mm ² スランプ (4.6.4) (6.14.1) 15cm又は18cm
7 床下防湿層	材料 (4.6.2) ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 (4.6.5) 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下
5 鉄筋工事	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 SD295 ※ D16以下 SD345 ※ D19以上 SD390 ※ D29以上 鉄線の形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 溶接金網 6φ 100X100 土間コンクリート(駐輪場) 柱型保護コンクリート 6φ 150X150 屋内階段 モルタル下地 鉄筋格子 D10 ダブルクロス@200 土間コンクリート 鉄筋の継手の方法及び定着 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3) 部位 継手の方法 呼び径 (mm) 柱及び梁主筋 ①ガス圧接 ②機械式継手 ※ D19以上 溶接継手 ③重ね継手 耐力壁の鉄筋 ④重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ⑤重ね継手 ⑥ガス圧接 上記以外 ⑦重ね継手 継手位置 (5.3.4) ※示による(S-002鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)) 基礎梁主筋の継手位置 図1.2 図1.3 図1.4 ※示による() 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4) ※示による(S-002鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)) 耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) 標準仕様書表5.3.2iによる 標準仕様書 5.3.4(3) (7)による ※示による() 鉄筋の定着長さ (5.3.4) 標準仕様書表5.3.4iによる

④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	(5.3.5) 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) 標準仕様書 表5.3.6iによる 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 あり 使用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) 適用箇所() 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm
⑤各部配筋	(5.3.7) 各部配筋 ※示による
⑥圧接完了後の試験	(5.4.10) (5.4.11) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜き試験 (5.4.10) (5.4.11) ※超音波探傷試験 試験ロット:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数:1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。 引張試験 試験ロット:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200か所を超えるときは200か所ごととする。 試験の箇所数:1ロットに対して(・3本 ・5本)とする。
7 機械式継手	(5.5.3) 適用箇所 ※示による() H12告示第1463号に適合する性能 (5.5.3) A級 機械式継手の種類 (5.5.3) ※示による() 鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.3) ※示による() 施工完了後の継手部の試験 (5.5.5) ※示による() 不合格となった継手部への措置 (5.5.5) ※示による()
8 溶接継手	(5.6.3) 適用箇所 ※示による() ・施工上やむを得ない場合 H12告示第1463号に適合する性能 (5.6.3) A級 溶接継手の工法 (5.6.5) ※示による() 鉄筋相互のあき (5.6.3) ※示による() 溶接完了後の継手部の試験 (5.6.5) ※示による() 不合格となった継手部への措置 (5.6.5) ※示による()
①コンクリートの類別等	(6.2.1) (表6.2.1) コンクリートの種類 ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ※普通コンクリート (6.2.1~4) 設計基準強度 (N/mm ²) スランプ (cm) 適用箇所 24 15 18 基礎・地中梁 21 15 18 スラブ 構造体強度補正値 (6.3.1) ※標準仕様書表6.3.2iによる 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする 高炉セメントB種 ㊥ 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む)) フライアッシュセメントB種 ㊥ 適用箇所() アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ量が3.0 kg/m ³ 以下)
②セメント	(6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする 高炉セメントB種 ㊥ 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む)) フライアッシュセメントB種 ㊥ 適用箇所()
③骨材	(6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ量が3.0 kg/m ³ 以下)

④混和材料	(6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4) (a)による 混和材の種類 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4) (b)による 打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ※示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ※示による() 目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) 標準仕様書 9.7.3(1) (7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ※示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状 (6.8.1) ※示による() 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.4)
⑤打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	(6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ※示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ※示による() 目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) 標準仕様書 9.7.3(1) (7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ※示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状 (6.8.1) ※示による() 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.4)
⑥コンクリートの仕上げ	(6.2.5) (6.8.2) (表6.2.5) 種類 適用箇所 A種 ※示による() B種 ※示による() C種 ※示による() コンクリートの仕上げの平坦さ (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.5) 種類 適用箇所 a種 ※示による() b種 ※示による() c種 ※示による()
⑦打増し厚さ(打直し仕上げ部)	(6.8.1) 打増し厚さ 打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) 20mm 打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) 10mm 20mm 外装タイル後張り面の打増し処理 20mm 打増し範囲 (6.8.2) ※示による() せき板の材料及び厚さ (6.8.2) 合板(※12mm) ㊥ 断熱材の兼用した型枠 使用箇所 ※示による() MOR工法用シート 適用箇所 ※示による() 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 ※示による() スリーブの材質・規格等 (6.8.2) ※示による()
9 軽量コンクリート	(6.10.1) (6.10.2) (表6.10.1) 種類 1種 2種 適用箇所 ※示による() スランプ 21cm
⑩寒中コンクリート	(6.11.1) 適用期間 ※示による() 換算温度を基に定める場合 ※示による()
⑪暑中コンクリート	(6.12.2) 構造体強度補正値(S) 6N/mm ²
12 マスコンクリート	(6.13.1) 適用箇所 ※示による() セメントの種類 (6.13.2) 普通ポルトランドセメント 中熱ポルトランドセメント 低熱ポルトランドセメント 高炉セメントB種 ㊥ フライアッシュセメントB種 シリカセメント 混和材料 (6.13.2) 混和剤の種類 ※JIS A 6204iに適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 スランプ (6.13.2) 15cm 構造体強度補正値(s) (6.13.2) ※表6.13.1iによる

⑥ コンクリート工事 へ つき く	⑬ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート (6.2.1) (6.14.1) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 (6.3.1) ・高炉セメントB種 (6.14.1) ・フライアッシュセメントB種 (6.14.1) 設計基準強度 ※18(N/mm ²) (6.14.1) スランプ ※15cm又は18cm (6.14.1) 適用箇所 ◎標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(8)による ・ 図示による () (6.14.1) 適用箇所 ・ 図示による () (6.15.1) ⑮ コンクリートの単位 水量測定	⑥ アンカーボルト 適用 (7.2.4) (7.10.3) ◎構造用アンカーボルト 種類 ○SS400 ○大径認定柱脚 (メーカー仕様による) 形状、寸法 ◎図示による (S-006ジャストベース (JE II 型) 柱脚工法設計施工標準、S-025部材リスト2) ・ 種方用アンカーボルト 種類 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による () (7.2.4)	⑦ 溶接材料 適用箇所 (7.2.5) ◎標準仕様書 7.2.5(1) (2)による ・ 図示による () (7.2.5)	⑧ ターンバックル 適用箇所 (7.2.6) 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・ 建築用ターンバックル鋼 ※割棒式 ・ ねじの呼び ◎図示による (S-017 PHF炭素鋼) (7.2.6)	⑨ デッキプレート 適用箇所 (7.2.7) ◎デッキプレート単独の積法 2階床、3階床 S-007-コ-02-デッキ設計標準仕様書による ◎デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする積法 S-007-コ-02-デッキ設計標準仕様書による	⑩ スタッド 適用箇所 (7.2.8) 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ○16 120 2階床、3階床 ○19 120 2階床、3階床 ・ 22	11 レール及びその付属品 形状及び寸法等 (7.2.8) ・ 図示による () (7.2.8)	⑫ 柱底均しモルタル モルタルの種類 (7.2.9) ◎無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、割合等 材料、割合等 ※標準仕様書7.2.9(2) (7)から (4)による ・ 標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル	⑬ 製作精度 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 差しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(2)による ・ アンダーカットの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・	14 鉄骨の仮組 仮組を行う範囲 (7.3.10) ・ 図示による () (7.3.10)	15 溶接技能者の技量付加試験 試験の要領 (7.6.3) ・ 図示による () (7.6.3)	⑯ 溶接接合 開先の形状 (7.6.4) ◎図示による (S-004鉄骨工作標準図 (1)) (7.6.4) ・ エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7) 適用箇所 ・ 図示による () (7.6.7) ・ エンドタブを切断する場合の仕上げは標準仕様書7.6.7(1) (a) (b)による スカラップの形状 ◎図示による (S-004鉄骨工作標準図 (1)) (7.6.7) ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7) ・ 図示による () (7.6.7)	⑰ 溶接部の試験 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12) ◎「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査②	JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 (7.6.7) ◎JASS 10.4 [受入検査] a. 溶接部の外観検査 (1)から (5)までによる。ただし、完全溶込み 溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.7) ◎工場溶接の場合 ※JASS6による ◎工事現場溶接の場合 (7.6.7) ※全数								
	14 流動化コンクリート	適用箇所 (6.15.1) ・ 図示による () (6.15.1)																					
	⑭ 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) ◎Mグレード																					
	⑮ 施工管理技術者	◎適用する (7.1.3) (7.1.4) ・ 適用しない																					
	⑯ 鋼材	材質等 (7.2.1) <table border="1"><thead><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所 (主要な部分)</th><th>規格</th></tr></thead><tbody><tr><td>○SS400</td><td>大梁、小梁他</td><td>◎JIS規格による ・</td></tr><tr><td>○SM400</td><td>ブレース</td><td>◎JIS規格による ・</td></tr><tr><td>○SM490C</td><td>ダイヤフラム</td><td>◎JIS規格による ・</td></tr><tr><td>◎BGR295</td><td>柱</td><td>◎JIS規格による ・</td></tr><tr><td>◎SS400</td><td>小梁他</td><td>◎JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ JIS規格による ・</td></tr></tbody></table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格	○SS400	大梁、小梁他	◎JIS規格による ・	○SM400	ブレース	◎JIS規格による ・	○SM490C	ダイヤフラム	◎JIS規格による ・	◎BGR295	柱	◎JIS規格による ・	◎SS400	小梁他	◎JIS規格による ・			・ JIS規格による ・
	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																				
	○SS400	大梁、小梁他	◎JIS規格による ・																				
	○SM400	ブレース	◎JIS規格による ・																				
	○SM490C	ダイヤフラム	◎JIS規格による ・																				
	◎BGR295	柱	◎JIS規格による ・																				
	◎SS400	小梁他	◎JIS規格による ・																				
			・ JIS規格による ・																				
	⑰ 高力ボルト	高力ボルトの種類 (7.2.2) ◎トルシア形高力ボルト ◎JIS形高力ボルト ◎溶融亜鉛めっき高力ボルト ・																					
	⑱ 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (7.2.3) ※標準仕様書表7.2.3による 座金 (7.2.3) ・ 標準仕様書7.2.3(4)による ・ ボルトの形状等 (ねじの呼び) (7.2.3) ◎図示による (S-024部材リスト1) (7.2.3) ボルトの継端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ◎図示による (S-004鉄骨工作標準図 (1)) (7.3.2) ・																					

12 木工事

1 製材

○「JAS 1083-5」による下地用製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1) (表12.2.2)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
和室	マツ		※2級		※A種・B種	
			※2級		※A種・B種	

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

○「JAS 1083-5」による造作用製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
見え掛り面	ヒノキ ヒバ		※上小節		※A種 ・B種	
見え掛り面以外	ヒノキ		※小節以上		※A種 ・B種	
					※A種 ・B種	

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「JAS 1083-6」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
			※1等		※10%以下 ・A種・B種	
			※1等		※10%以下 ・A種・B種	

○「JAS 1083」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

2 造作用集成材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
壁見切	ヒノキ		※1等・2等	※1等・2等

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
					※1等・2等	※1等・2等

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
			※15以下	
			※15以下	

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	含水率
					※15以下	
					※15以下	

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

3 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)

・「JAS 0701」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用
		・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する ・適用しない
		・無し (等級: 1等・2等・3等)	・適用しない

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	表面品質	防虫処理の適用
		・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下		・適用する ・適用しない
		・無し ()	※14%以下		・適用する ・適用しない

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・C L T (直交集成材)

施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

4 床張り用合板等

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

○「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級
配管バック	※12	※1級 ・※2級以上	※1類 ・特類	※C-D以上	・適用する ・適用しない		
床	○15	※1級 ・※2級以上	※1類 ・特類	※C-D以上	・適用する ・適用しない		

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	品名	防虫処理の適用
			・1類・特類		・適用する ・適用しない

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類・2類	・適用する ・適用しない

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類・2類			・適用する ・適用しない

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※MR1 (M) 又はMR2 (P)		※15

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

・構造用パネル

施工箇所	品名	厚さ (mm)

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

間伐材等の適用 ・する ・しない (施工箇所:)

5 接着剤 (12.2.2) (12.2.3)

接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のもとする。

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)

6 防塵・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)

・防塵・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位: ()

・薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布による防塵・防蟻処理

適用部位	薬剤の種類	処理の方法
	※薬剤の製造所の仕様による	

・薬剤の接着剤への混入による防塵・防蟻処理
適用部位: ()

7 間仕切軸組に用いる木材 (12.4.1)

・杉又は松

8 床組に用いる木材 (12.4.1)

(土間スラブの土台、転ばし大引き及び転ばし根太は除く)

・杉又は松

9 窓、出入口、その他に用いる木材 (12.5.1)

吊元枠、水掛りの下枠及び敷居: ○ひのき
上記以外: ○松又は杉

10 絶甲板及び上がまちに用いる木材 (12.6.1)

○ひのき

11 壁及び天井下地に用いる木材 (12.7.1)

・杉又は松

13 屋根及びびとい工事

1 長尺金属屋根 (13.2.2) (13.2.3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の種類	厚さ (mm)	備考
	※JIS G 3322 の屋根用コイル			

屋根葺き形式 ・心木なし瓦葺き ・平葺き ・立平葺き ・蟻掛葺き ・横葺き
葺き方、厚さ
下地
留付け寸法

下葺き材料 ・アスファルトルーフィング940
・改質アスファルトルーフィング下葺き材
(一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

けらば (横葺き) ・つかみ込み納め
雷止め ・設置する 図示 ()

2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板
R階屋根	・重ね形、 ○はげ締め形 ・かん合形	160 500	() 種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		○有り ・無し

材料及びコイルの種類 ()
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ()
タイトフレームに JIS G 3302 以外の鋼材を直接外気の影響を受けない室内で使用する場合の表面処理 (標準仕様書表14.2.2による) ・E種 ・F種
断熱材 ○有り (種別: グラスウール (10kg/m³) 厚さ (mm): 100 防火性能: 時間) ・無し

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

折板のけらば納め ※けらば包みによる方法

3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)

施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雷止め瓦
	製法による区分 形状による区分 寸法による区分				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない

凍害試験 ・行う ・行わない
瓦葺き 材質 ※杉
寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上
棟補強用心材 材質 ※杉
寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上
瓦葺き用釘又はねじ 種類: ・径: ・長さ: (瓦葺き用釘又はねじの有効長さの最小値) ・
棟補強等に使用する金物等 材質: ・形状: ・寸法: ・留付け方法: ・

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び地震荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び地震荷重に対応した工法)
・適用しない

瓦葺き木の留付け工法 ※図示
棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟 ・のし積み棟
瓦葺き部の仕上 ・モルタル ・瓦葺き用しくくい

4 とい (13.5.2.3)

といの材種 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ・アルミ製 ・図示
とい受金物
とい受金物の材種、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による
足金物の材種、形状、取付け間隔 ※表13.5.2による
多雪地域の場合の軒どいの取付け間隔 ※0.5m以下
ロックウール保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)

鋼管製といの防露巻き
・適用する (工法: ※標準仕様書 表13.5.4による) ・
・適用しない

14 金属工事

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1)

※表面処理は標準仕様書表14.2.1による

種別	施工箇所 (成型板、笠木、建具以外)
・AB-1種	
・AB-2種	
・AC-1種	
・AC-2種	
・BA-1種	
・BA-2種	
・BB-1種	
○BB-2種	
・BC-1種	
・BC-2種	
・C種	

陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色
色合い等
・標準色
・アンバー ・ブロンズ
・ブラック系 ・ステンカラー
・特注色 ()

2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
熔融亜鉛めっき	○A種	
	・B種	
電気亜鉛めっき	・C種	
	・D種	
	・E種	
	・F種	

3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)

野縁等の種類
屋外 ※25型 ・19型
屋内 ※19型 ・25型
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び吊り部からの距離 ※図示
・吊り部からの距離
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示

○天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※図示
補強方法 ※図示

・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所 ※図示
補強方法 ※図示

4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書表14.5.4(5) (7)~(9)による
・図示

5 金属成形板張り (14.6.2.3) (表14.2.1)

種別 ※図示
表面処理 ※図示
取付け用下地 ・図示 ・標準仕様書14.4による
伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示) ・
・設けない

6 アルミニウム製笠木 (14.7.2.3) (表14.1.1) (表14.7.1)

種類 ・250形 ・300形 ・350形 ・図示
表面処理 種別 (BB-2) 種
色合い等 ・標準色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)
・特注色

笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない

令和4年版

Table with 4 columns: Item No., Description, Specification, and Reference. It covers various construction materials and components such as floorings, wall treatments, doors, windows, and metalwork.

17 カーテンウォール工事
1 取付方法、性能等
性能
耐震性能
水平方向 (kN) 垂直方向 (kV)

18 塗装工事
1 ①材料
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差

性能
耐火性能
温度差 (°C)
耐火時間

② 素地ごしらえ
(18.2.2~7) (表18.2.1~7)
下地面等
種類

主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)
支points間距離 (h)
耐風圧性能

③ 錆止め塗料塗り
(18.3.2) (18.3.3) (表18.3.1~5)
下地面等
工程の種類
塗料の種類

シリーング材
下表以外は標準仕様書表9.7.1による
被着体の組合せ
シリーング材の種類

④ 塗装
(18.4.1~12.2) (表18.4.1~12.1)
塗装
種類
塗料の種類

ガラスの取付け
構造ガスケット
適用する (施工箇所)
材質

⑤ 耐熱材
種類 ()
厚さ (mm) ()
施工箇所 図示

耐火材料
施工部位
種類
規格帯

⑥ 耐湿性塗料塗り
(19.4.2) (表19.4.1~6)
耐湿性塗料塗り (DP)
屋根めっき鋼面

性能の確認方法及び判定方法
行う
行わない (資料による承諾)

⑦ 接合剤
(19.2.2) (19.3.2)
接合剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 (1-8 環境への配慮 (2) による)

2 メタルカーテンウォール
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
金属材料の種類

⑧ ビニル床シート
(19.2.2) (19.2.3)
種類の記号
色柄
厚さ (mm)
備考

3 PCカーテンウォール
適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
材料

⑨ ⑩ ⑪
19 内装工事
⑩ ⑪
⑫ ⑬ ⑭
20 敷き

⑪ カーペット敷き
(19.3.2~4) (表19.3.1) (表19.3.2)
種類
パイル形状
織り方
色柄等
帯電性
備考

⑫ ⑬ ⑭
タフテッドカーペット
パイル形状
パイル長さ (mm)
工法
帯電性
備考

⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲
タイルカーペット
パイル形状
種類
施工箇所
寸法 (mm)
総厚さ (mm)
備考

⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
模様流し
階段部分
※模様流し
市松敷き

㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳
合成樹脂塗床
種類
施工箇所
工法
仕上げの種類

㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
フローリング張り
種類
工法
樹種
厚さ、幅及び大きさ
仕上げ塗装
間伐材等の適用

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
複合フローリング
種類
工法
樹種
防湿処理
仕上げ塗装
間伐材等の適用

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
フローリング
種類
工法
樹種
防湿処理
仕上げ塗装
間伐材等の適用

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
複合フローリング
種類
工法
樹種
防湿処理
仕上げ塗装
間伐材等の適用

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
フローリング
種類
工法
樹種
防湿処理
仕上げ塗装
間伐材等の適用

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
複合フローリング
種類
工法
樹種
防湿処理
仕上げ塗装
間伐材等の適用

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
せっこうボード、その他ボード及び合板張り
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
天然木化粧合板
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
天然木化粧合板
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
天然木化粧合板
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
天然木化粧合板
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
天然木化粧合板
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
天然木化粧合板
種類
JIS記号
厚さ (mm)、規格等

①フリーアクセスフロア (20.2.2)
②可動間仕切 (20.2.3)
3 可動間仕切 (20.2.4)
④トイレブース (20.2.5)
⑤視覚障害者用床タイル (11.2.2) (19.2.2)
⑥階段滑り止め (20.2.7)
⑦手すり (20.2.6)

⑧黒板及びホワイトボード (20.2.9)
⑨鏡 (20.2.10)
⑩表示 (20.2.11)
⑪タラップ (20.2.12)
12 煙突ライニング (20.2.13)
⑬ブラインド (20.2.14)
⑭ロールスクリーン (20.2.15)
⑮カーテン (20.2.16)
⑯カーテンレール (20.2.16)
⑰ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.17)
⑱床点検口 (20.2.18)
⑲床点検口 (20.2.18)
20 耐震スリット (20.2.19)

⑳止水板 (20.2.20)
22 エキスパンションジョイント金物 (20.2.21)
23 くつきマット (20.2.22)
㉑流し台ユニット (20.2.23)
25 旗竿 (20.2.24)
26 旗竿受金物 (20.2.25)
27 車止め支柱 (20.2.26)
㉒フェンス (20.2.27)
㉓プレキャストコンクリート (20.3.2~4)
30 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2) (20.4.3)
㉔鋼製書架及び物置棚 (20.4.4)
32 屋内掲示板 (20.4.5)
㉕洗面カウンター (20.4.6)
34 防煙垂れ壁 (20.4.7)

㉖収納家具 (12.2.2) (19.7.2)
㉗排水工事 (21.2.1) (表21.2.1)
㉘鋼鉄製ふた (21.2.1)
㉙グレーチング (21.2.1)
㉚街きよ、緑石、側溝 (21.3.1.2) (表21.3.1)
㉛埋戻し土 (21.2.1)

舗装工事	① 路床 (22.2.2~5)	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○盛土</td> <td>・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ○クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg (目録CBR 以上)</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 (現場密度) ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	○盛土	・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ○クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・ 図示					
	種別	材料	厚さ (mm)																
	○盛土	・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示																
	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ○クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示																
	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・ 図示																
	② 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (表22.3.1)	<p>路盤の厚さ ○図示</p> <p>路盤材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ○再生クラッシュラン ○再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p>																	
	③ アスファルト舗装 (22.4.2)~(22.4.6) (表22.4.1)~(表22.4.4)	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <p>材料 アスファルト ○再生アスファルト (・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト 骨材 ○道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </table> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	区分	地域	種類	表層	一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)	寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)									
	区分	地域	種類																
	表層	一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)																
		寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)																
4 コンクリート舗装 (22.5.2~4) (22.5.6) (表22.5.1)~(3)	<p>コンクリート舗装の厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>※70 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>車路及び駐車場</td> <td>・150 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.11による 早強セメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.11による ・図示 試験 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	舗装の種類	部位	厚さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 ・ 図示	車路及び駐車場	・150 ・ 図示										
舗装の種類	部位	厚さ (mm)																	
コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 ・ 図示																	
	車路及び駐車場	・150 ・ 図示																	
5 カラー舗装 (22.6.2~4) (表22.6.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類・工法</th> <th>部位</th> <th>基層</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・加熱系</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・車道及び駐車場</td> <td>・無し ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・歩行者用通路</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・常温系</td> <td>・ニート工法</td> <td></td> <td>・アスファルト舗装 3~5</td> </tr> <tr> <td>・塗布工法</td> <td></td> <td>・コンクリート舗装 1程度以下</td> </tr> </table> <p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2(3)) による 材料 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 () ・自然石 () 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・ ニート工法及び塗布工法の配合等 ・</p> <p>試験 加熱系 標準仕様書 (22.4.6(3)) 抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	種類・工法	部位	基層	厚さ (mm)	・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し ・ 図示	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・	・常温系	・ニート工法		・アスファルト舗装 3~5	・塗布工法		・コンクリート舗装 1程度以下
種類・工法	部位	基層	厚さ (mm)																
・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し ・ 図示																
	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・																
・常温系	・ニート工法		・アスファルト舗装 3~5																
	・塗布工法		・コンクリート舗装 1程度以下																
6 透水性 アスファルト舗装 (22.7.2) (22.7.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示</td> </tr> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p>	材料	厚さ (mm)	ストレートアスファルト	・ 図示														
材料	厚さ (mm)																		
ストレートアスファルト	・ 図示																		

舗装工事	⑦ ブロック舗装 (22.8.2) (22.8.3)	<p>・コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>※普通平板 (N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>・砂</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> </table> <p>歩行者用通路に使用するコンクリート平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。 透水平板は (透水性コンクリート) とする。 クッション材 ・砂 ・空練モルタル 仕上げり面の平坦性 ※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>○インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>色彩、表面加工</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>・標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>歩道部に使用するブロックは (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。 クッション材 ・砂 ・空練モルタル 目地材 ・砂 ・モルタル</p> <p>・鋪石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・小鋪石 (花崗岩)</td> <td>・</td> <td>・80</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート舗装 (※70)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト混合物 (※50)</td> </tr> </table> <p>クッション材 ・砂 ・空練モルタル 目地材 ・砂 ・モルタル</p> <p>8 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)</p> <p>⑨ 路面標示用塗料</p> <p>JIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>○白</td> <td>・150</td> <td>○1.0</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td>○オレンジ</td> <td>○100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	表面加工	※普通平板 (N)	※300角	※60	・砂	・研ぎ出し	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・洗い出し ・たたき出し	種類	部位	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩、表面加工	※普通ブロック (N)	車路	※80	※5.0	・標準品	・透水性ブロック (P)	歩行者用通路	※60	※3.0	・	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層 (mm)	・小鋪石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70)	・	・	・	・	・アスファルト混合物 (※50)	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種	常温	液状	○白	・150	○1.0	・2種	加熱		○オレンジ	○100	・	○3種1号	熔融	粉体状			
	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	表面加工																																																																		
	※普通平板 (N)	※300角	※60	・砂	・研ぎ出し																																																																		
	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・洗い出し ・たたき出し																																																																		
	種類	部位	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩、表面加工																																																																		
	※普通ブロック (N)	車路	※80	※5.0	・標準品																																																																		
	・透水性ブロック (P)	歩行者用通路	※60	※3.0	・																																																																		
	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層 (mm)																																																																		
	・小鋪石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70)																																																																		
	・	・	・	・	・アスファルト混合物 (※50)																																																																		
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																		
・1種	常温	液状	○白	・150	○1.0																																																																		
・2種	加熱		○オレンジ	○100	・																																																																		
○3種1号	熔融	粉体状																																																																					

舗装工事	③ 植栽地の確認等 (23.1.3)	<p>① 植栽地の確認等 (23.1.3)</p> <p>② 植栽基礎の整備 (23.2.2.4) (表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">○樹木</td> <td>※A種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)</td> <td>・葉張り部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>樹高7m以上~12m未満</td> <td>○植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>(※80 ・100)</td> <td>・ 図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>○植栽部分</td> <td>○適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 図示</td> <td>・適用しない</td> </tr> </table> <p>植栽基礎の排水設備 ・設ける (※図示) ・ ○設けない</p> <p>・現場発生土の良質土 ○客土</p> <p>③ 植込み用土 (23.2.3)</p> <p>④ 土壌改良材 (23.2.3.4)</p> <p>○バーク堆肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり (○50L)</p> <p>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり (・10L)</p> <p>材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p> <p>⑤ 樹木 (23.3.2)</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※図示</p> <p>⑥ 支柱 (23.3.2) (23.3.3)</p> <p>支柱材 ※丸太 (間伐材) ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太 形式 ・図示</p> <p>7 幹巻き用材料 (23.3.2)</p> <p>材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも</p> <p>⑧ 芝 (23.4.2.3)</p> <p>種類 ※コウライシバ ○ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り</p> <p>9 吹付けは種 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/㎡)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>10 地被類 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯保証の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し</p> <p>12 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3)</p> <p>植栽基礎及び材料</p> <p>・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人口軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>⑫ 工法 (23.5.4)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 支柱 ・設置する (形式 ・図示) かん水装置 ・設置する (種類 ・)</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	○樹木	※A種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・葉張り部分	・適用する	・B種	樹高7m以上~12m未満	○植栽部分	・適用しない	・C種	(※80 ・100)	・ 図示	・	・D種	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・	・	※芝、地被類	※B種	※20	○植栽部分	○適用する		・	・	・ 図示	・適用しない	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			・	・			樹種	コンテナ径	単位面積当たりの株数	芽立数	・	・	・	・	・	・		
	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																					
	○樹木	※A種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・葉張り部分	・適用する																																																					
		・B種	樹高7m以上~12m未満	○植栽部分	・適用しない																																																					
		・C種	(※80 ・100)	・ 図示	・																																																					
		・D種	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・	・																																																					
	※芝、地被類	※B種	※20	○植栽部分	○適用する																																																					
		・	・	・ 図示	・適用しない																																																					
	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考																																																						
	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																								
・	・																																																									
樹種	コンテナ径	単位面積当たりの株数	芽立数																																																							
・	・	・	・																																																							
・	・																																																									

舗装工事	吹抜天井下地	三洋工業「SZ II 特定耐震天井」同等品
	鋼製床組	三洋工業株式会社「スリーベース」同等品
	押出成形セメント板 (フラット)	株式会社ノゾフ「アスロック600」同等品
	押出成形セメント板 (リフ)	株式会社ノゾフ「アスロック: ストライブライン」同等品
	押出成形セメント板 (木目)	株式会社ノゾフ「アスロック: 彩葉」同等品
	洗面カウンター	TOTO「M055マーブライトカウンター」同等品
	跳ね上げ手摺	TOTO「T1127R」同等品
	L型手摺	TOTO「T112CL9」同等品
	カウンター手摺	TOTO「T112CP5S」同等品
	小便器用手摺	TOTO「T115CU3R」同等品
洗面ボウル	TOTO「LS717CM」同等品	
I型手摺 (浴室)	TOTO「TS1346U6S」同等品	
浴槽	TOTO「PMS1410RLJ」同等品	
洗面化粧台L600	TOTO「LDSFL0608GLGN2 + LMLF060A2GLC1G」同等品	
多孔質珪藻石	LIXIL「エコカラットプラス グラナスライン」同等品	
汚重石	LIXIL「キラミックスステップ スリムII」同等品	
300角タイル (玄関ホーチ、風除室)	LIXIL「ビアツタ0X」同等品	
100角タイル (風除室)	〃	
100角タイル (1F女子WC)	LIXIL「ジキーナ」同等品	
100角タイル (浴室壁)	〃	
100角タイル (浴室床)	LIXIL「ミスティフロアキックス」同等品	
モザイクタイル (1F男子WC)	LIXIL「ミックスストライプ」同等品	
モザイクタイル (2F多目的WC)	LIXIL「ハールミックス」同等品	
モザイクタイル (浴室床)	LIXIL「カラコンモザイクSカラー」同等品	
IHKキッチンL1800	LIXIL「T1019」同等品	
IHミニキッチンL1200	LIXIL「ミニキッチン16」同等品	
バリカー	LIXIL「スペースガード S48型 LMG02、LMG03」同等品	
駐輪場	LIXIL「AS-0 連棟型 (Y合掌)」同等品	
正面門扉	LIXIL「アペリアルDAL型 Aタイプ 3-60-08」同等品	
メラミン不燃化粧板	アイカ工業「セーラル」同等品	
トイレ壁面顔縁	サンゲツ「MM-83」同等品	
アルミ庇	株式会社フジカケプランニング 同等品	
ポスト (タテ型)	コーワソニア「T926」同等品	
PT-1、PT-2	小松ウォール「マイティ-GNALL/MW-GII」同等品	
メッシュフェンス	朝日ステール工業「UN-A180UL-50」同等品	
OAフロア	ナカ工業「18フロアAZ3000-DP」同等品	
消火器ボックス	ナカ工業「NHE50-108」同等品	
埋設式避難器具	ナカ工業「タスカール SPCIII-112」同等品	
木製パネル (学生ラウンジ壁)	サンワカンパニー「バンビewood ラスティックミックス: PA10011」同等品	
防汚性長尺塩ビシート	ロンシール工業「サニタリウムN」同等品	
タイルカーペット	東リ「GA-100」同等品	
木目調タイル	東リ「ロイヤルウッド」同等品	
SUS製細目グレーチングW150	カネソウ「PG-H-15 (W150)」同等品	
防火水槽	日本興業「NK耐震貯水槽」同等品	
家具	株式会社ヤガミ 同等品	
PC庇・バルコニー	株式会社建研 同等品	
サイン	株式会社カンサイ 同等品	
岩綿吸音板 (黒色)	DAIKEN「ダイロートン メタリック/トラバーチン」同等品	
2階手摺 (バルコニー)	ビニレーム「Forte MirageLight タテ格子Aタイプ」同等品	



地番地名：兵庫県相生市旭2丁目95番1

相生市看護専門学校建設工事設計図

付近見取図

令和6年1月

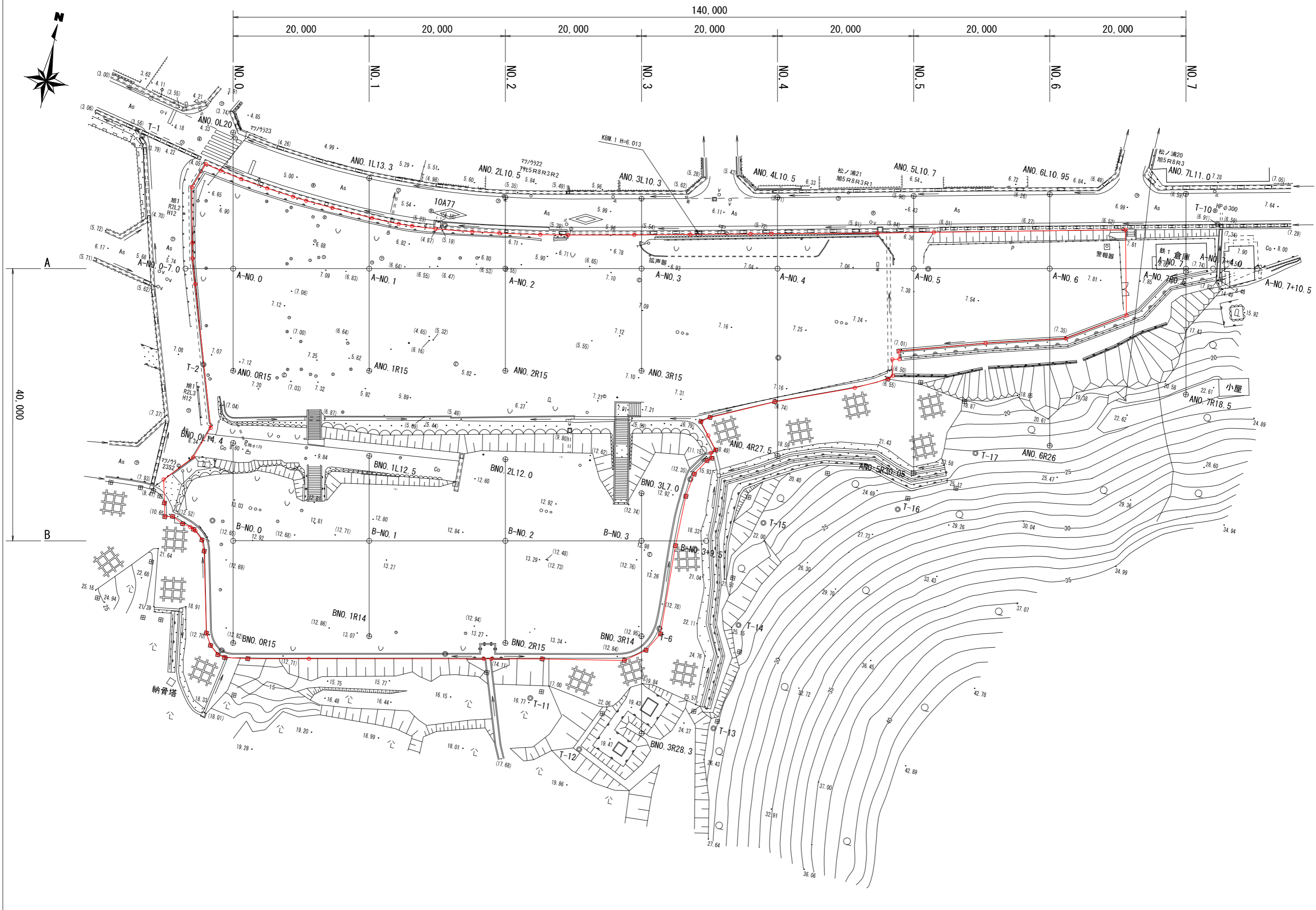
SCALE S=1:2500 (A1)
S=1:5000 (A3)

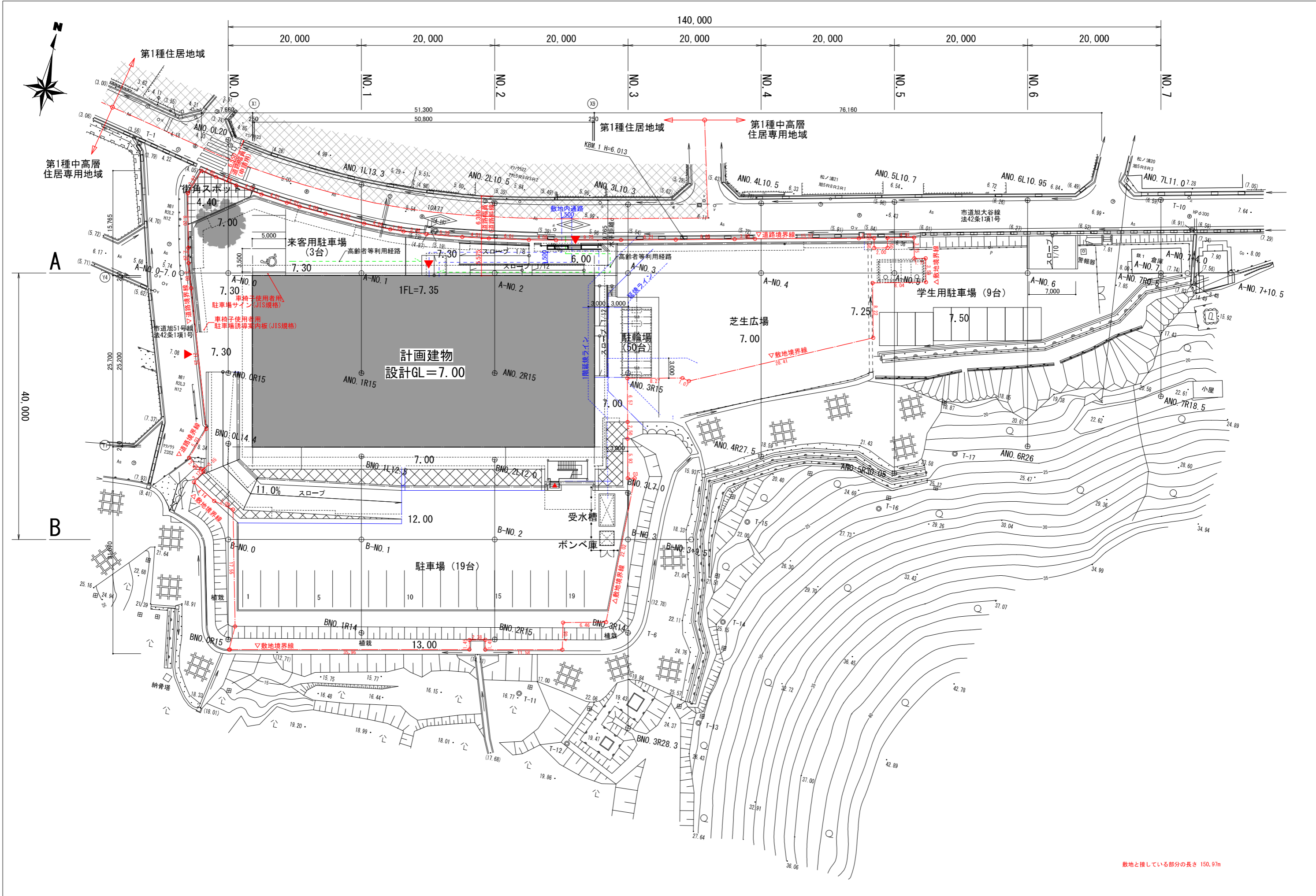
株式会社小西建築設計事務所

一般建築士事務所
兵庫県小野市上本町135-10小西ビル 小西 龍機
一般建築士登録 第81587号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo

DrawNo A-011





敷地と接している部分の長さ 150.97m

相中市看護専門学校建設工事設計図

全体配置図

令和 6 年 1 月

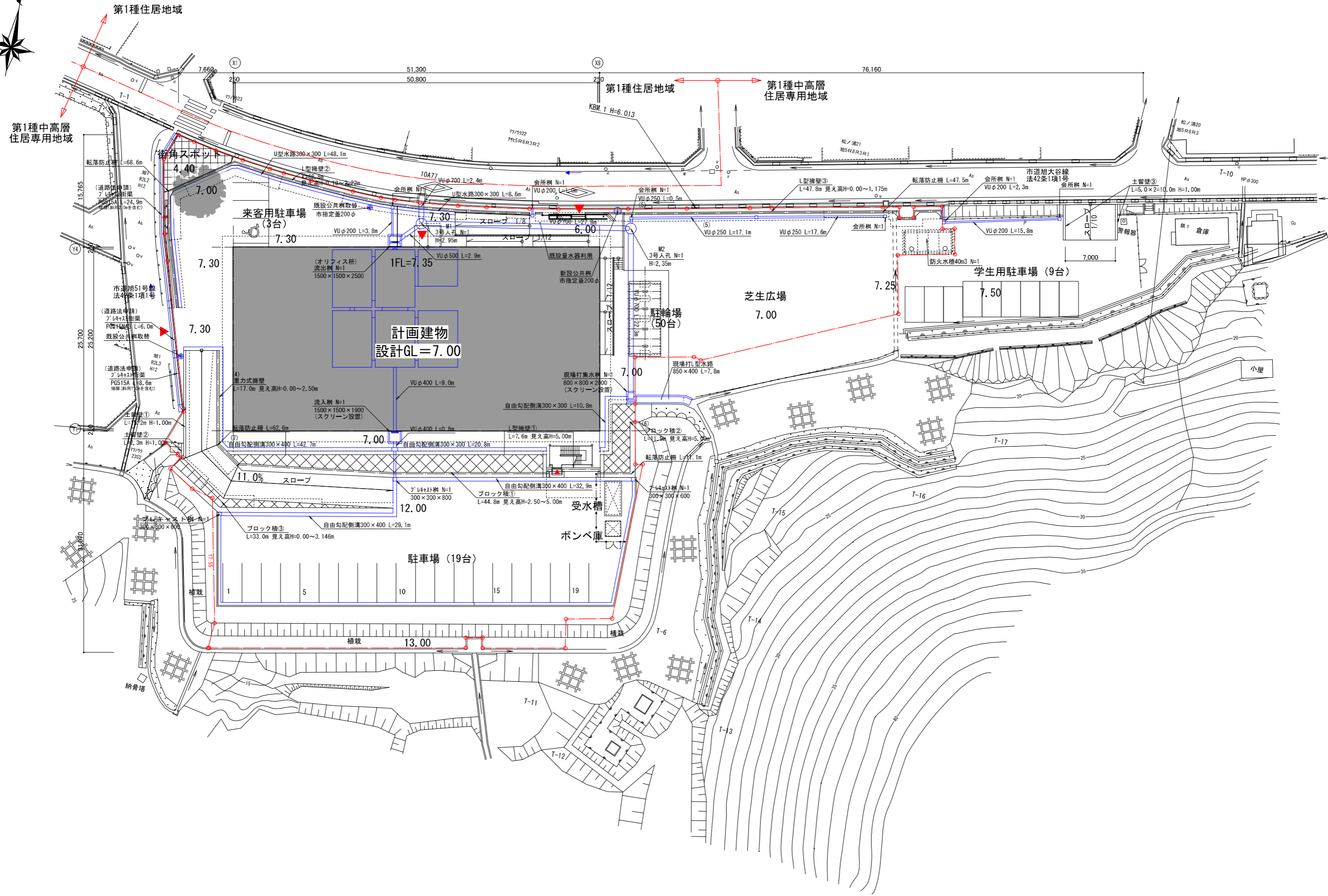
SCALE S=1:250 (A1)
S=1:500 (A3)

株式会社小西建築設計事務所

一般建築士事務所
兵庫県小野市上本町135-10小西ビル
小西 龍機
一般建築士登録 第21567号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo

DrawNo A-013



相生市看護専門学校建設工事設計図

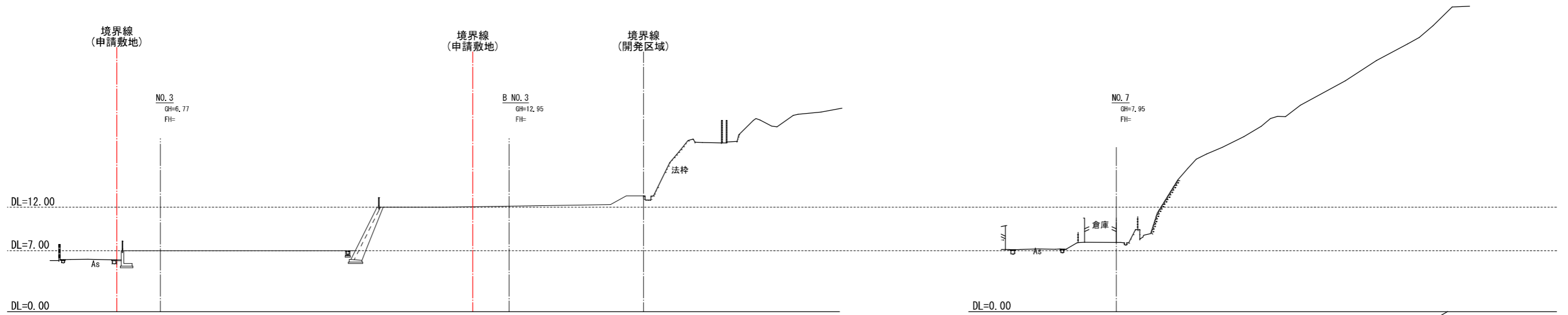
造成計画図

令和 6 年 1 月

SCALE S=1:250 (A1)
S=1:500 (A3)

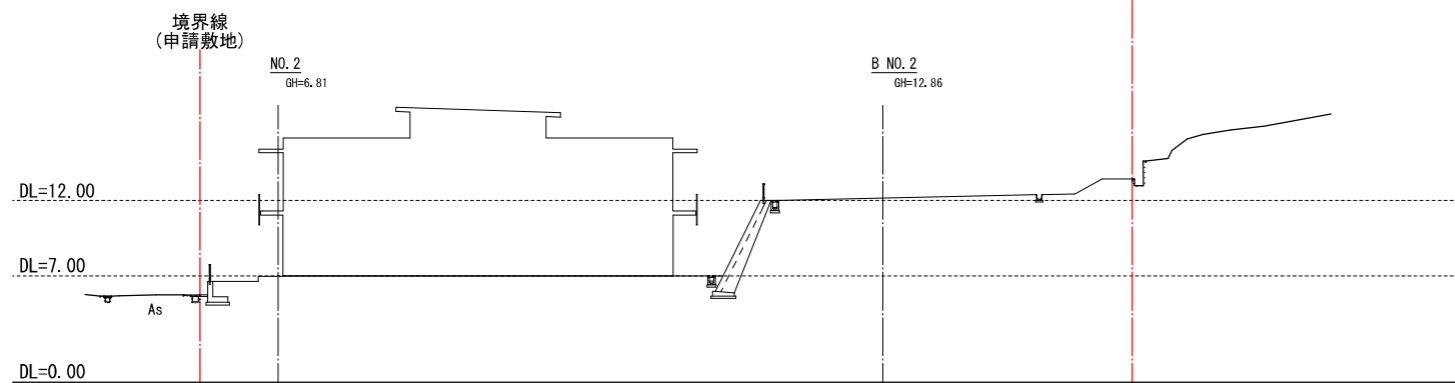
株式会社小西建築設計事務所
 一般建築士事務所
 兵庫県小野市上本町135-10小西ビル 小西 龍機
 一般建築士登録 第21567号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo
 Drawn
 A-014

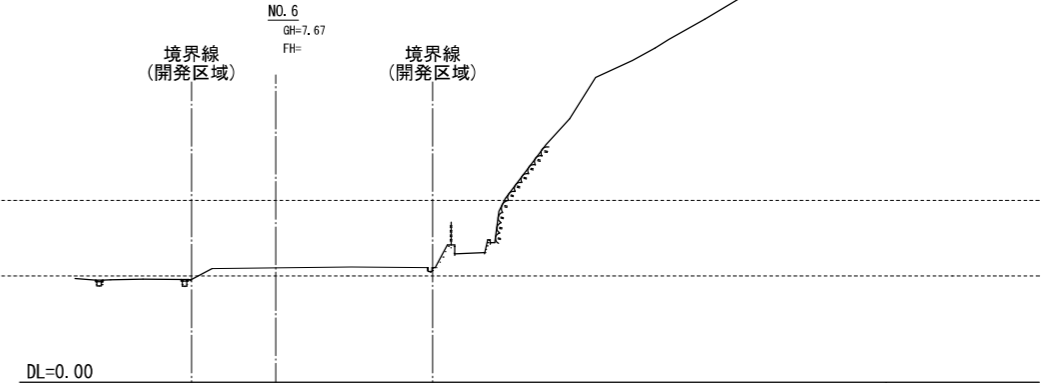


No. 3 断面図

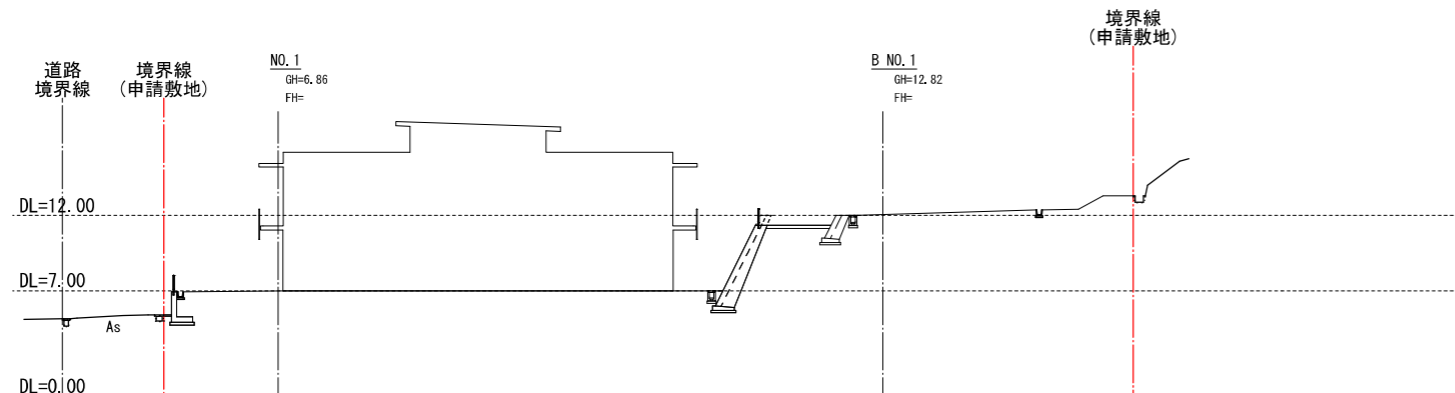
No. 7 断面図



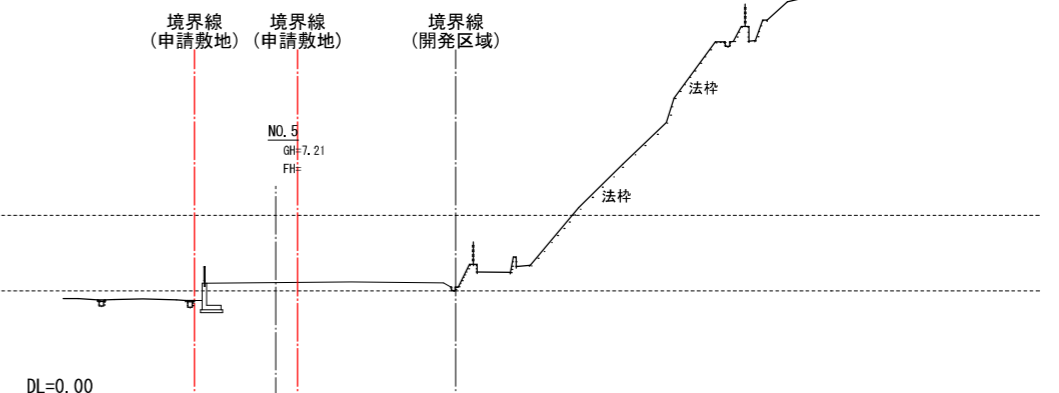
No. 2 断面図



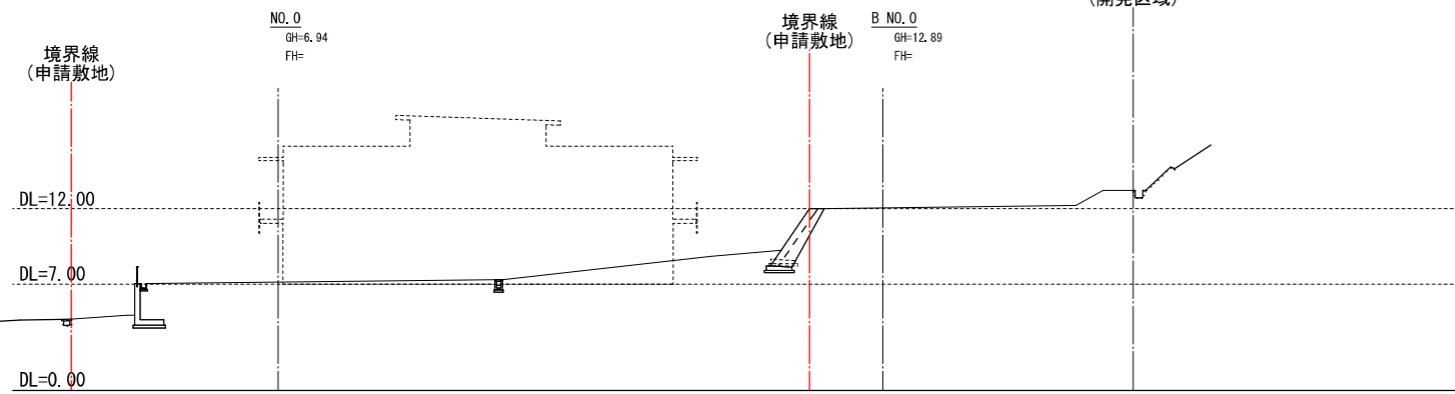
No. 6 断面図



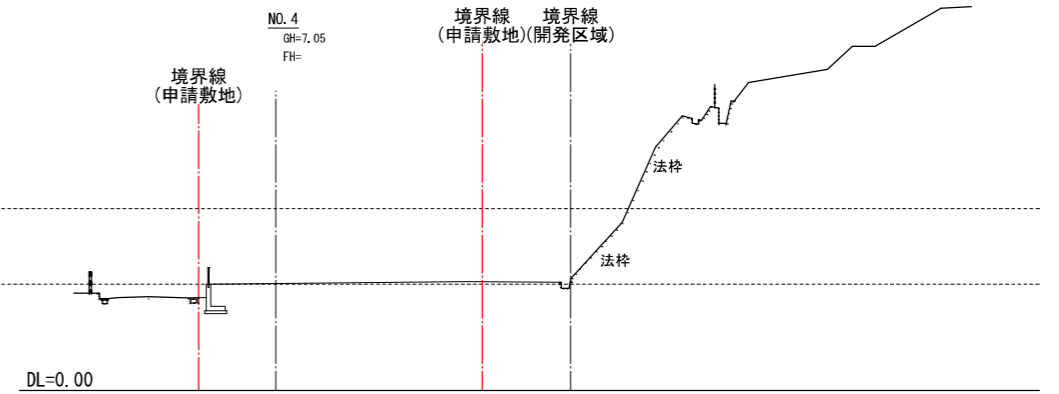
No. 1 断面図



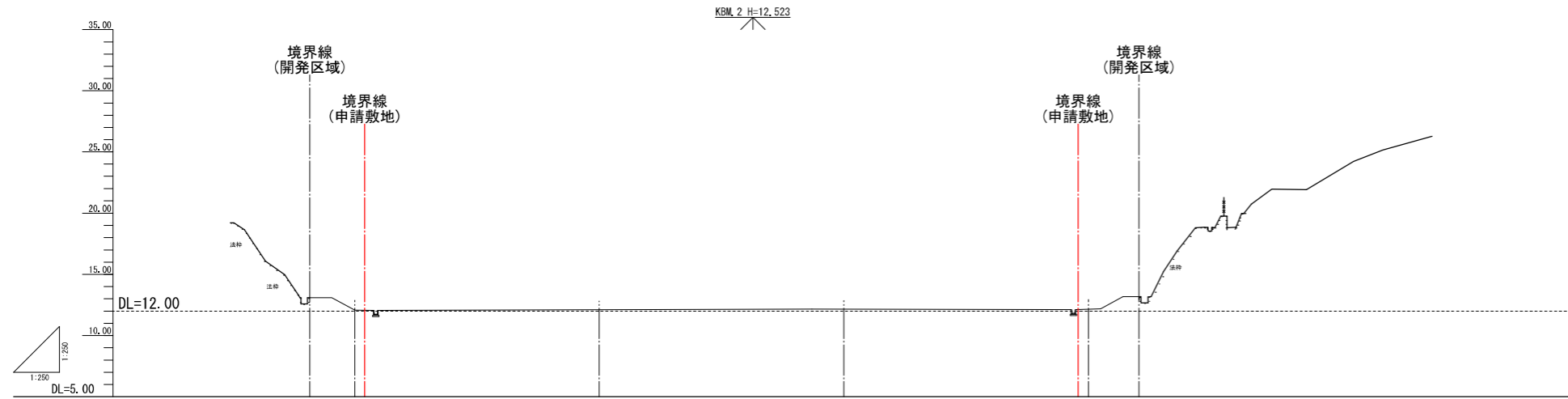
No. 5 断面図



No. 0 断面図

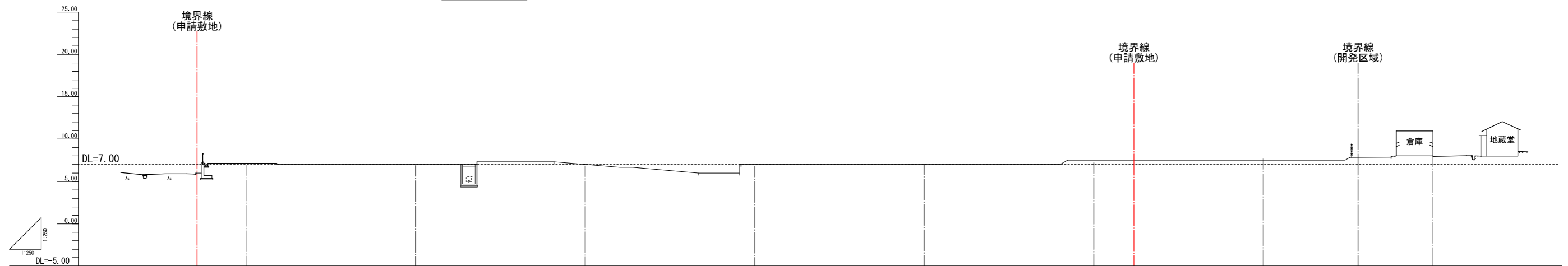


No. 4 断面図



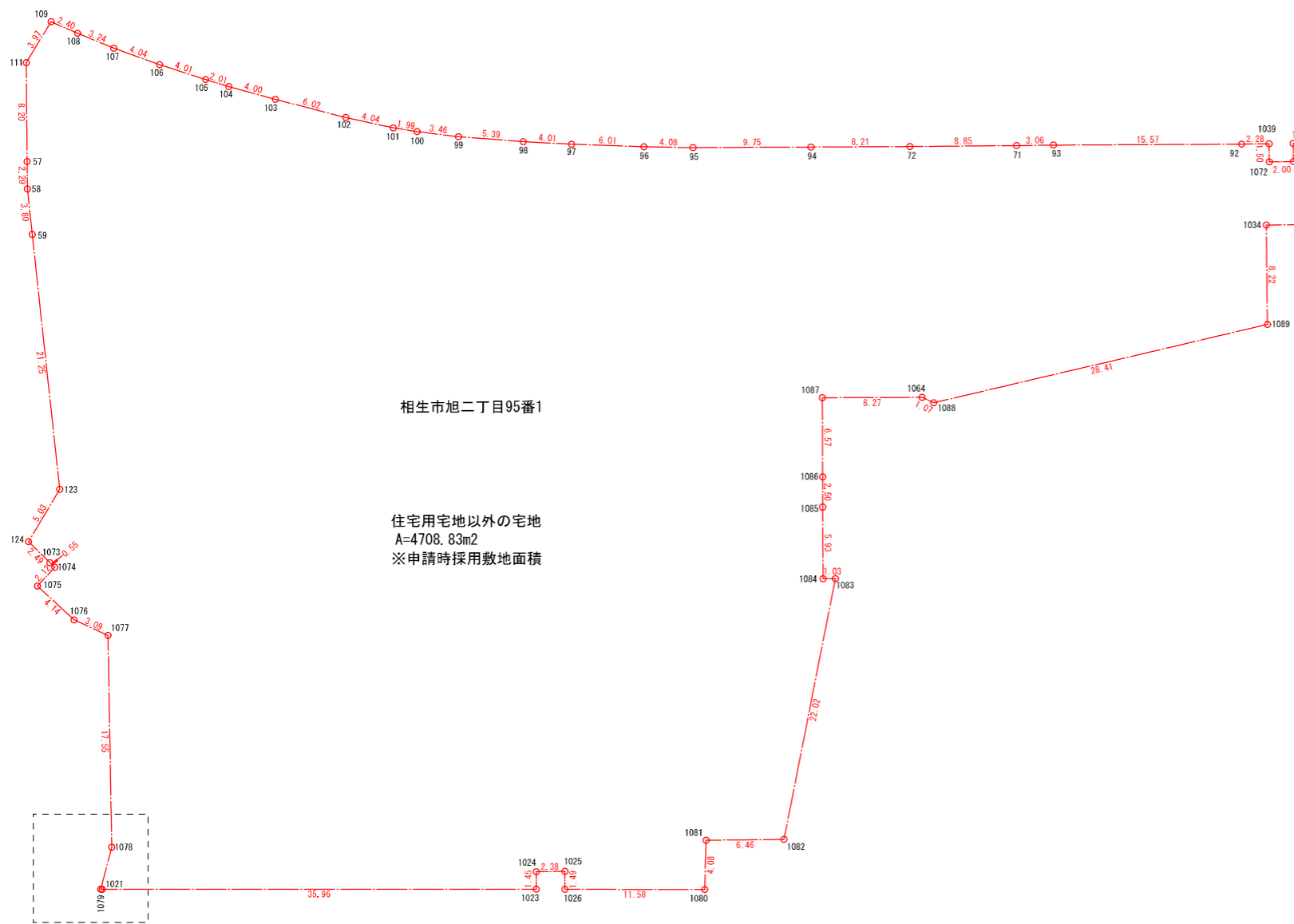
勾配				
計画高				
地盤高	12.89	12.82	12.86	12.95
追加距離	00.00	00.00	40.00	60.00
単距離	00.00	00.00	20.00	20.00
測点	No.0	No.1	No.2	No.3

No. B 断面図



勾配							
計画高							
地盤高	6.94	6.86	6.81	6.77	7.05	7.21	7.67
追加距離	00.00	00.00	40.00	60.00	80.00	100.00	120.00
単距離	00.00	00.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
測点	No.0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6

No. A 断面図

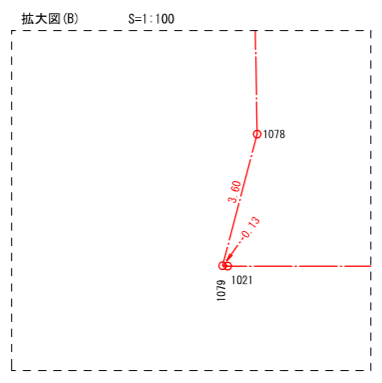
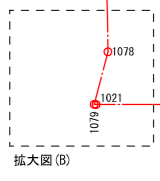


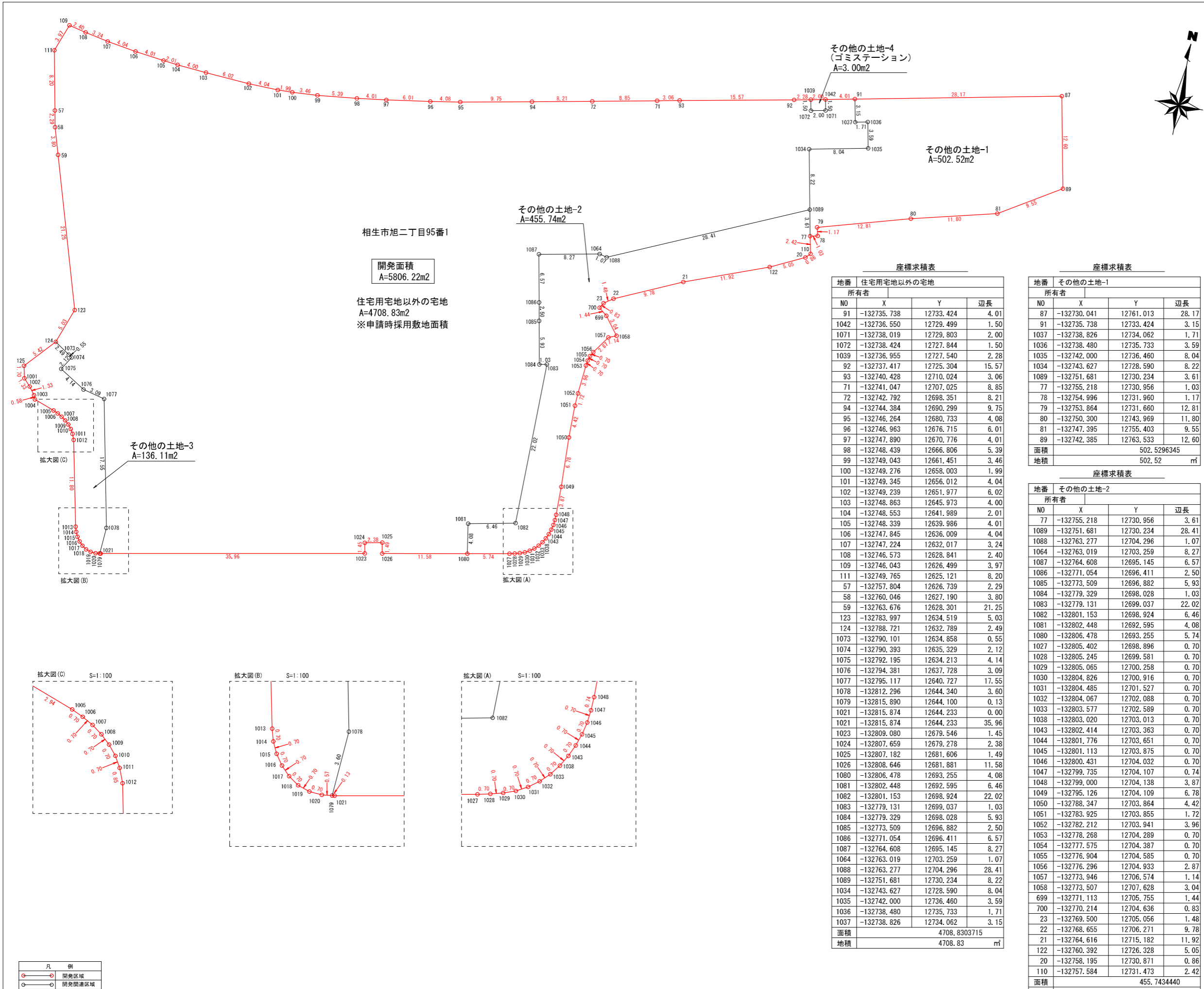
相生市旭二丁目95番1

住宅用地以外の宅地
A=4708.83m²
※申請時採用敷地面積

座標求積表

住宅用地以外の宅地			
地番	X	Y	辺長
91	-132735.738	12733.424	4.01
1042	-132736.550	12729.499	1.50
1071	-132738.019	12729.803	2.00
1072	-132738.424	12727.844	1.50
1039	-132736.955	12727.540	2.28
92	-132737.417	12725.304	15.57
93	-132740.428	12710.024	3.06
71	-132741.047	12707.025	8.85
72	-132742.792	12698.351	8.21
94	-132744.384	12690.299	9.75
95	-132746.264	12680.733	4.08
96	-132746.963	12676.715	6.01
97	-132747.890	12670.776	4.01
98	-132748.439	12666.806	5.39
99	-132749.043	12661.451	3.46
100	-132749.276	12658.003	1.99
101	-132749.345	12656.012	4.04
102	-132749.239	12651.977	6.02
103	-132748.863	12645.973	4.00
104	-132748.553	12641.989	2.01
105	-132748.339	12639.986	4.01
106	-132747.845	12636.009	4.04
107	-132747.224	12632.017	3.24
108	-132746.573	12628.841	2.40
109	-132746.043	12626.499	3.97
111	-132749.765	12625.121	8.20
57	-132757.804	12626.739	2.29
58	-132760.046	12627.190	3.80
59	-132763.676	12628.301	21.25
123	-132783.997	12634.519	5.03
124	-132788.721	12632.789	2.49
1073	-132790.101	12634.858	0.55
1074	-132790.393	12635.329	2.12
1075	-132792.195	12634.213	4.14
1076	-132794.381	12637.728	3.09
1077	-132795.117	12640.727	17.55
1078	-132812.296	12644.340	3.60
1079	-132815.890	12644.100	0.13
1021	-132815.874	12644.233	0.00
1021	-132815.874	12644.233	35.96
1023	-132809.080	12679.546	1.45
1024	-132807.659	12679.278	2.38
1025	-132807.182	12681.606	1.49
1026	-132808.646	12681.881	11.58
1080	-132806.478	12693.255	4.08
1081	-132802.448	12692.595	6.46
1082	-132801.153	12698.924	22.02
1083	-132779.131	12699.037	1.03
1084	-132779.329	12698.028	5.93
1085	-132773.509	12696.882	2.50
1086	-132771.054	12696.411	6.57
1087	-132764.608	12695.145	8.27
1064	-132763.019	12703.259	1.07
1088	-132763.277	12704.296	28.41
1089	-132751.681	12730.234	8.22
1034	-132743.627	12728.590	8.04
1035	-132742.000	12736.460	3.59
1036	-132738.480	12735.733	1.71
1037	-132738.826	12734.062	3.15
面積	4708.8303715		
地積	4708.83 m ²		





その他の土地-4
(ゴミステーション)
A=3.00m²

その他の土地-1
A=502.52m²

その他の土地-2
A=455.74m²

相生市旭二丁目95番1

開発面積
A=5806.22m²

住宅用宅地以外の宅地
A=4708.83m²
※申請時採用敷地面積

その他の土地-3
A=136.11m²

拡大図(C) S=1:100

拡大図(B) S=1:100

拡大図(A) S=1:100

凡 例	
	開発区域
	開発関連区域

座標求積表

地番	住宅用宅地以外の宅地		
所有者	X	Y	辺長
91	-132735.738	12733.424	4.01
1042	-132736.550	12729.499	1.50
1071	-132738.019	12729.803	2.00
1072	-132738.424	12727.844	1.50
1039	-132736.955	12727.540	2.28
92	-132737.417	12725.304	15.57
93	-132740.428	12710.024	3.06
71	-132741.047	12707.025	8.85
72	-132742.792	12698.351	8.21
94	-132744.384	12690.299	9.75
95	-132746.264	12680.733	4.08
96	-132746.963	12676.715	6.01
97	-132747.890	12670.776	4.01
98	-132748.439	12666.806	5.39
99	-132749.043	12661.451	3.46
100	-132749.276	12658.003	1.99
101	-132749.345	12656.012	4.04
102	-132749.239	12651.977	6.02
103	-132748.863	12645.973	4.00
104	-132748.553	12641.989	2.01
105	-132748.339	12639.986	4.01
106	-132747.845	12636.009	4.04
107	-132747.224	12632.017	3.24
108	-132746.573	12628.841	2.40
109	-132746.043	12626.499	3.97
111	-132749.765	12625.121	8.20
57	-132757.804	12626.739	2.29
58	-132760.046	12627.190	3.80
59	-132763.676	12628.301	21.25
123	-132783.997	12634.519	5.03
124	-132788.721	12632.789	2.49
1073	-132790.101	12634.858	0.55
1074	-132790.393	12635.329	2.12
1075	-132792.195	12634.213	4.14
1076	-132794.381	12637.728	3.09
1077	-132795.117	12640.727	17.55
1078	-132812.296	12644.340	3.60
1079	-132815.890	12644.100	0.13
1021	-132815.874	12644.233	35.96
1023	-132809.080	12679.546	1.45
1024	-132807.659	12679.278	2.38
1025	-132807.182	12681.606	1.49
1026	-132808.646	12681.881	11.58
1080	-132806.478	12693.255	4.08
1081	-132802.448	12692.595	6.46
1082	-132801.153	12698.924	22.02
1083	-132779.131	12699.037	1.03
1084	-132779.329	12698.028	5.93
1085	-132773.509	12696.882	2.50
1086	-132771.054	12696.411	6.57
1087	-132764.608	12695.145	8.27
1064	-132763.019	12703.259	1.07
1088	-132763.277	12704.296	28.41
1089	-132751.681	12730.234	8.22
1034	-132743.627	12728.590	8.04
1035	-132742.000	12736.460	3.59
1036	-132738.480	12735.733	1.71
1037	-132738.826	12734.062	1.50
1039	-132735.738	12733.424	4.01
91	-132735.738	12733.424	3.15
1037	-132738.826	12734.062	1.71
1036	-132738.480	12735.733	3.59
1035	-132742.000	12736.460	8.04
1034	-132743.627	12728.590	8.22
1089	-132751.681	12730.234	3.61
77	-132755.218	12730.956	1.03
78	-132754.996	12731.960	1.17
79	-132753.864	12731.660	12.81
80	-132750.300	12743.969	11.80
81	-132747.395	12755.403	9.55
89	-132742.385	12763.533	12.60
面積	4708.830715		
地積	4708.83 m ²		

座標求積表

地番	その他の土地-1		
所有者	X	Y	辺長
87	-132730.041	12761.013	28.17
91	-132735.738	12733.424	3.15
1037	-132738.826	12734.062	1.71
1036	-132738.480	12735.733	3.59
1035	-132742.000	12736.460	8.04
1034	-132743.627	12728.590	8.22
1089	-132751.681	12730.234	3.61
77	-132755.218	12730.956	1.03
78	-132754.996	12731.960	1.17
79	-132753.864	12731.660	12.81
80	-132750.300	12743.969	11.80
81	-132747.395	12755.403	9.55
89	-132742.385	12763.533	12.60
面積	502.5296345		
地積	502.52 m ²		

座標求積表

地番	その他の土地-2		
所有者	X	Y	辺長
77	-132755.218	12730.956	3.61
1089	-132751.681	12730.234	28.41
1088	-132763.277	12704.296	1.07
1064	-132763.019	12703.259	8.27
1087	-132764.608	12695.145	6.57
1086	-132771.054	12696.411	2.50
1085	-132773.509	12696.882	5.93
1084	-132779.329	12698.028	1.03
1083	-132779.131	12699.037	22.02
1082	-132801.153	12698.924	6.46
1081	-132802.448	12692.595	4.08
1080	-132806.478	12693.255	5.74
1027	-132805.402	12698.896	0.70
1028	-132805.245	12699.581	0.70
1029	-132805.065	12700.258	0.70
1030	-132804.826	12700.916	0.70
1031	-132804.485	12701.527	0.70
1032	-132804.067	12702.088	0.70
1033	-132803.577	12702.589	0.70
1038	-132803.020	12703.013	0.70
1043	-132802.414	12703.363	0.70
1044	-132801.776	12703.651	0.70
1045	-132801.113	12703.875	0.70
1046	-132800.431	12704.032	0.70
1047	-132799.735	12704.107	0.74
1048	-132799.000	12704.138	3.87
1049	-132795.126	12704.109	6.78
1050	-132788.347	12703.864	4.42
1051	-132783.925	12703.855	1.72
1052	-132782.212	12703.941	3.96
1053	-132778.268	12704.289	0.70
1054	-132777.575	12704.387	0.70
1055	-132776.904	12704.585	0.70
1056	-132776.296	12704.933	2.87
1057	-132773.946	12706.574	1.14
1058	-132773.507	12707.628	3.04
699	-132771.113	12705.755	1.44
700	-132770.214	12704.636	0.83
23	-132769.500	12705.056	1.48
22	-132768.655	12706.271	9.78
21	-132764.616	12715.182	11.92
122	-132760.392	12726.328	5.05
20	-132758.195	12730.871	0.86
110	-132757.584	12731.473	2.42
面積	455.7434440		
地積	455.74 m ²		

座標求積表

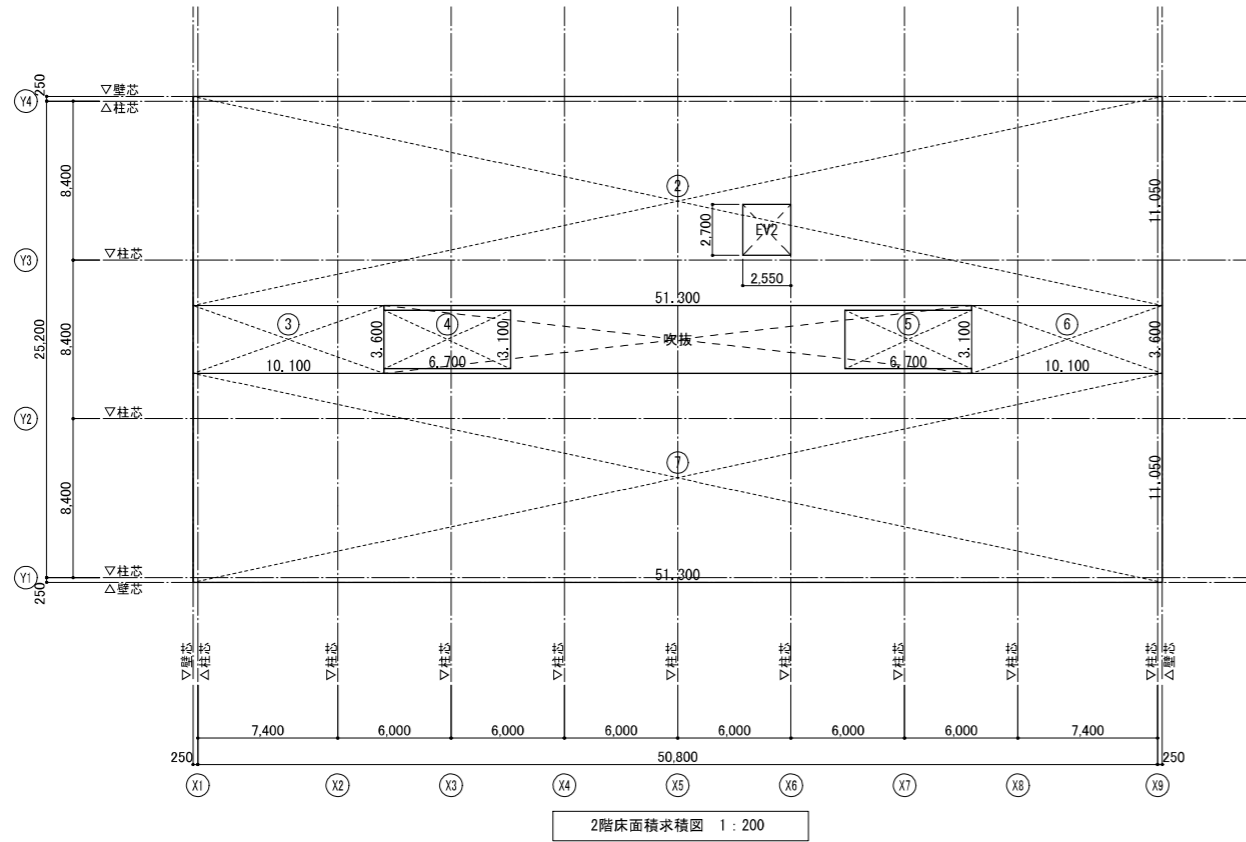
地番	その他の土地-3		
所有者	X	Y	辺長
124	-132788.721	12632.789	5.42
125	-132792.736	12629.146	1.70
1001	-132794.396	12629.526	1.33
1002	-132795.362	12630.443	1.33
1003	-132796.418	12631.259	0.58
1004	-132796.955	12631.484	2.94
1005	-132797.957	12634.253	0.70
1006	-132798.245	12634.891	0.70
1007	-132798.584	12635.504	0.70
1008	-132798.992	12636.072	0.70
1009	-132799.463	12636.590	0.70
1010	-132799.999	12637.040	0.70
1011	-132800.604	12637.394	0.85
1012	-132801.392	12637.708	11.80
1013	-132812.925	12640.200	0.70
1014	-132813.597	12640.396	0.70
1015	-132814.228	12640.700	0.70
1016	-132814.799	12641.104	0.70
1017	-132815.296	12641.597	0.70
1018	-132815.691	12642.175	0.70
1019	-132815.910	12642.840	0.70
1020	-132815.959	12643.538	0.57
1079	-132815.890	12644.100	3.60
1078	-132812.296	12644.340	17.55
1077	-132795.117	12640.727	3.09
1076	-132794.381	12637.728	4.14
1075	-132792.195	12634.213	2.12
1074	-132790.393	12635.329	0.55
1073	-132790.101	12634.858	2.49
面積	136.1199800		
地積	136.11 m ²		

座標求積表

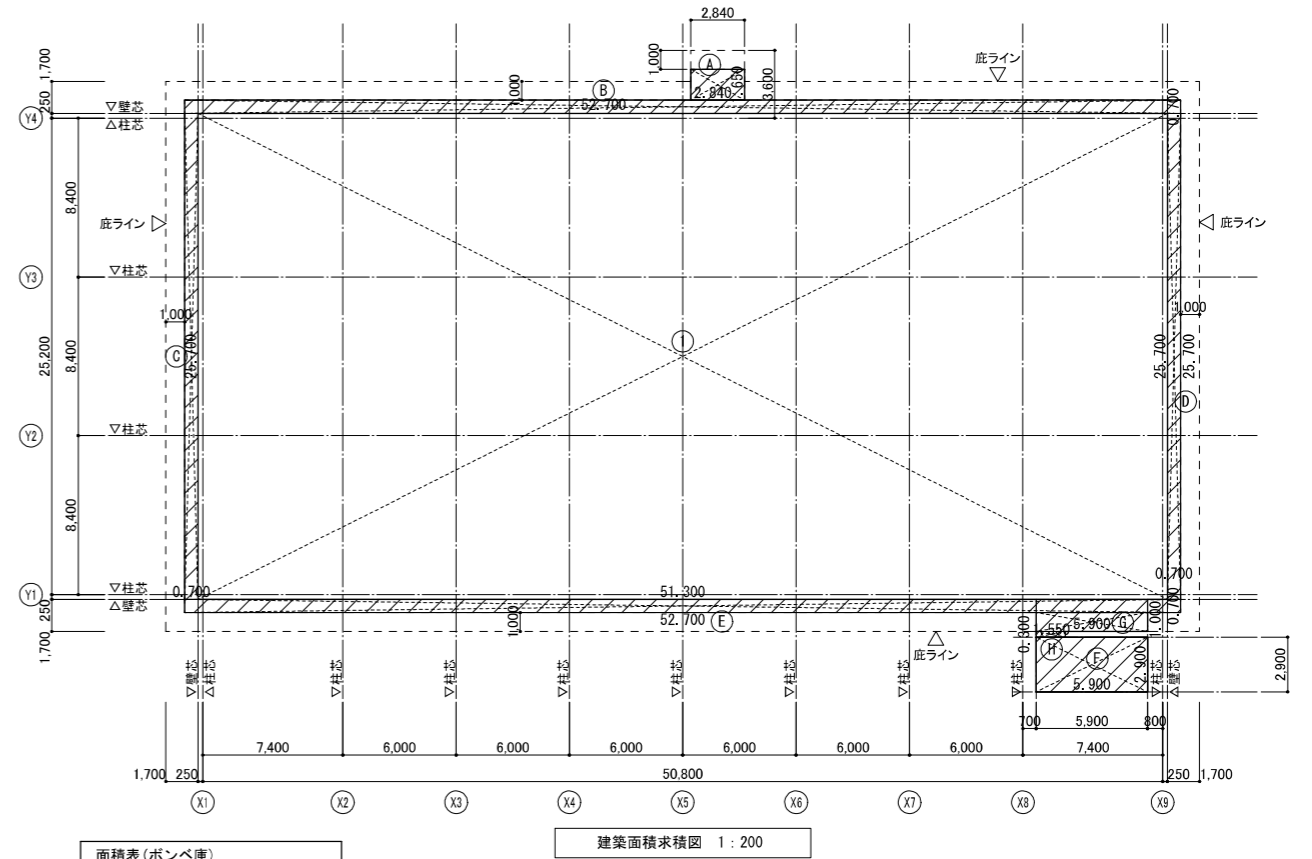
その他の土地 (ゴミステーション)			
所有者	X	Y	辺長
1042	-132736.550	12729.499	2.00
1039	-132736.955	12727.540	1.50
1072	-132738.424	12727.844	2.00
1071	-132738.019	12729.803	1.50
面積	3.0008910		
地積	3.00 m ²		

その他の土地-1	502.5296345	m ²
その他の土地-2	455.7434440	m ²
その他の土地-3	136.1199800	m ²
その他の土地-4 (ゴミステーション)	3.0008910	m ²
その他の土地合計面積	1097.3939495	m ²
	1097.39	m ²

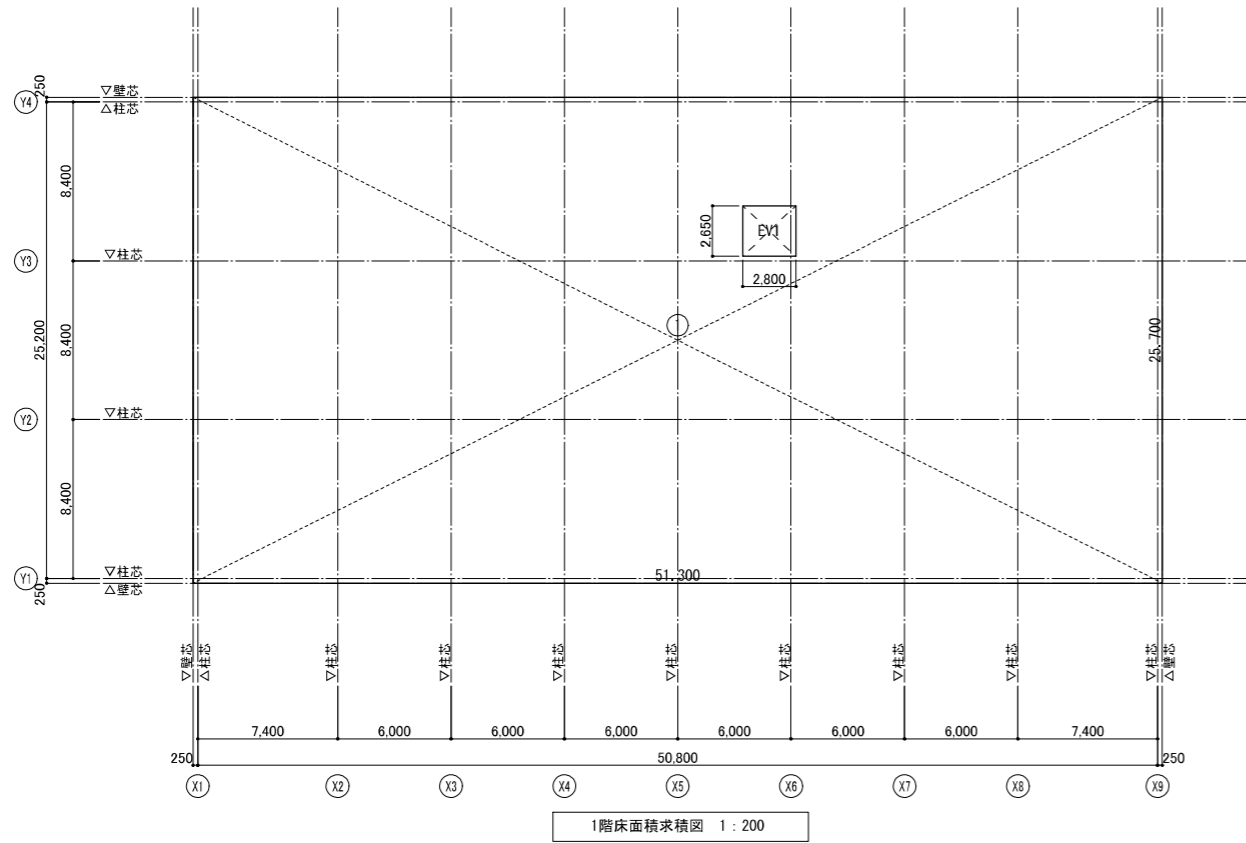
区画合計面積		
名称	面積 (m ²)	比率 (%)
住宅用宅地以外の宅地	4708.83	81.10
その他の土地	1097.39	18.90
合計面積	5806.22	100.00



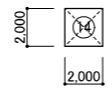
2階床面積求積図 1:200



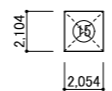
建築面積求積図 1:200



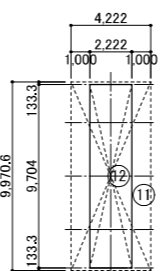
1階床面積求積図 1:200



面積表 (ポンペ庫)		
建築面積・床面積		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
⑭	2.000 × 2.000	4.000
小計		4.000
合計面積 (㎡)		(6) 4.00



面積表 (受水槽ポンプ室)		
建築面積・床面積		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
⑮	2.054 × 2.104	4.322
小計		4.322
合計面積 (㎡)		(7) 4.32

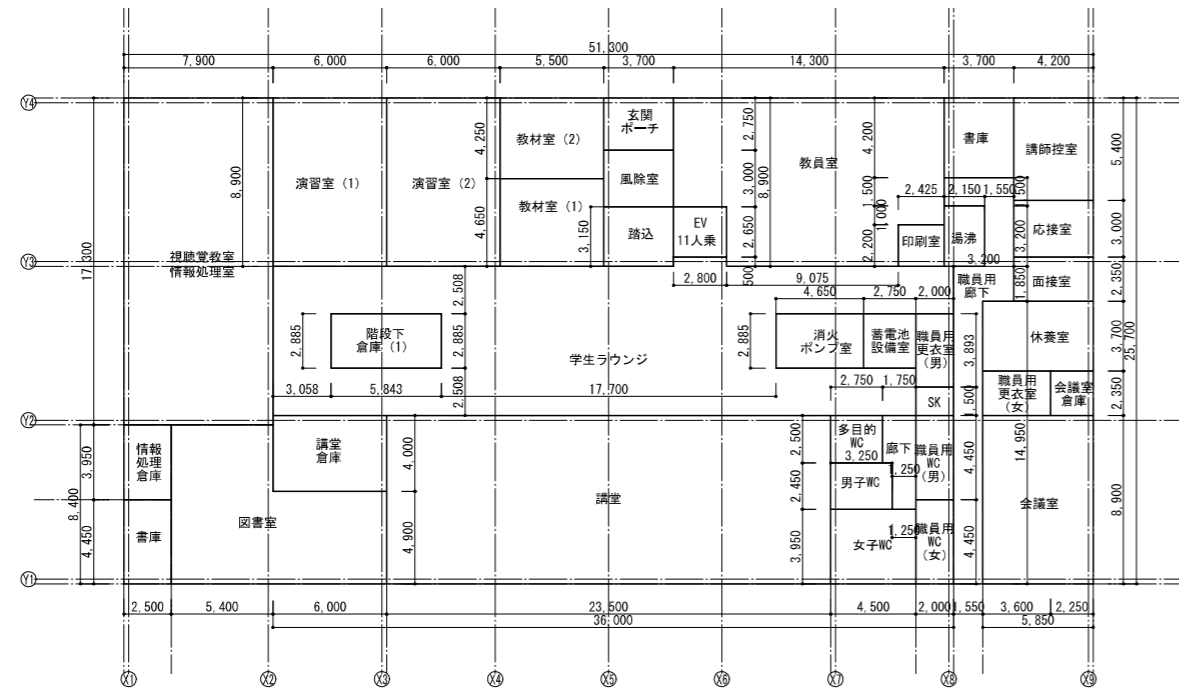


駐輪場求積図 1:200

面積表 (駐輪場)				
床面積		建築面積		
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)
⑪	9.971 × 4.222	42.098	⑫	9.704 × 2.222
小計		42.098	小計	21.562
改め		42.09	改め	21.56
合計面積 (㎡)	(4) 42.09	合計面積 (㎡)	(5) 21.56	
{(1) 2,566.40 + (4) 42.09} ÷ 5 = 521.698 > (4) 42.09				

面積表							
1F面積			2F面積			建築面積	
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	
①	51.300 × 25.700	1,318.410	②	51.300 × 11.050	566.865	①	51.300 × 25.700
			③	10.100 × 3.600	36.360		
			④	6.700 × 3.100	20.770		
			⑤	6.700 × 3.100	20.770		
			⑥	10.100 × 3.600	36.360		
			⑦	51.300 × 11.050	566.865		
						Ⓐ	2.840 × 1.650
						Ⓑ	52.700 × 0.700
						Ⓒ	0.700 × 25.700
						Ⓓ	0.700 × 25.700
						Ⓔ	52.700 × 0.700
						Ⓕ	5.900 × 2.900
						Ⓖ	5.900 × 1.000
						Ⓗ	1.550 × 0.300
小計		1,318.410	小計		1,247.990	小計	1,456.330
改め		1,318.41	改め		1,247.99	改め	1,456.33
床面積					(1) 2,566.40	建築面積	(3) 1,456.33
1F昇降機			2F昇降機				
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)	記号	計算式 (m)	面積 (㎡)		
EV1	2.800 × 2.650	7.420	EV2	2.550 × 2.700	6.885		
床面積		7.42	床面積		6.88		
1F + 2F 合計面積 (㎡)		7.42 + 6.88 = 14.30			(2) 14.30		
延べ面積 (㎡) (建物本体)					(1) 2,566.40	敷地面積 (㎡)	4,708.83
延べ面積 (㎡) (敷地内合計)					(2) 2,616.81		
(1) 2,566.40 + (4) 42.09 + (6) 4.00 + (7) 4.32 = 2,616.81			(6) 2,616.81				
延べ面積 (㎡) (容積率算定用)					2,560.42	建築面積 (㎡)	
(6) 2,616.81 - (2) 14.30 - (4) 42.09 = 2,560.42						(3) 1,456.33 + (5) 21.56	
						+ (6) 4.00 + (7) 4.32 = 1,486.21	
容積率					54.38%	建蔽率	31.57%

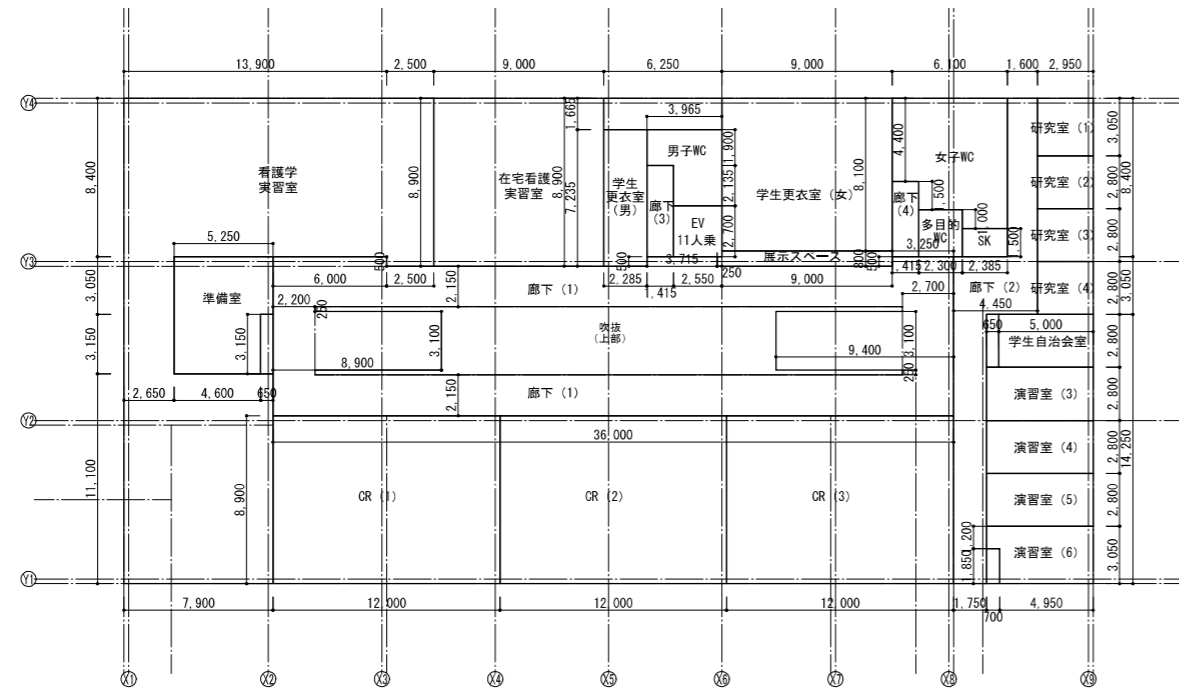
1階 部屋別求積図



記号	計算式		計
学生ラウンジ	36.000*2.508	90.288000	238.846830
	34.000*2.508	85.272000	
	17.700*2.885	51.064500	
	3.058*2.885	8.822330	
	2.800*0.500	1.400000	
講堂	23.500*8.900	209.150000	
講堂倉庫	6.000*4.000	24.000000	
図書室	5.400*8.400	45.360000	74.760000
	6.000*4.900	29.400000	
書庫	2.500*4.450	11.125000	
情報処理倉庫	2.500*3.950	9.875000	
視聴覚室・情報処理室	7.900*17.300	136.670000	
演習室(1)	6.000*8.900	53.400000	
演習室(2)	6.000*8.900	53.400000	
教材室(1)	5.500*4.650	25.575000	
教材室(2)	5.500*4.250	23.375000	
玄関ポーチ	3.700*2.750	10.175000	
風除室	3.700*3.000	11.100000	
EV	2.800*2.650	7.420000	
教員室	2.800*5.750	16.100000	113.115000
	9.075*8.900	80.767500	
	2.425*6.700	16.247500	
印刷室	2.425*2.200	5.335000	
書庫	3.700*4.200	15.540000	
講師控室	4.200*5.400	22.680000	
応接室	4.200*3.000	12.600000	
面接室	4.200*2.350	9.870000	

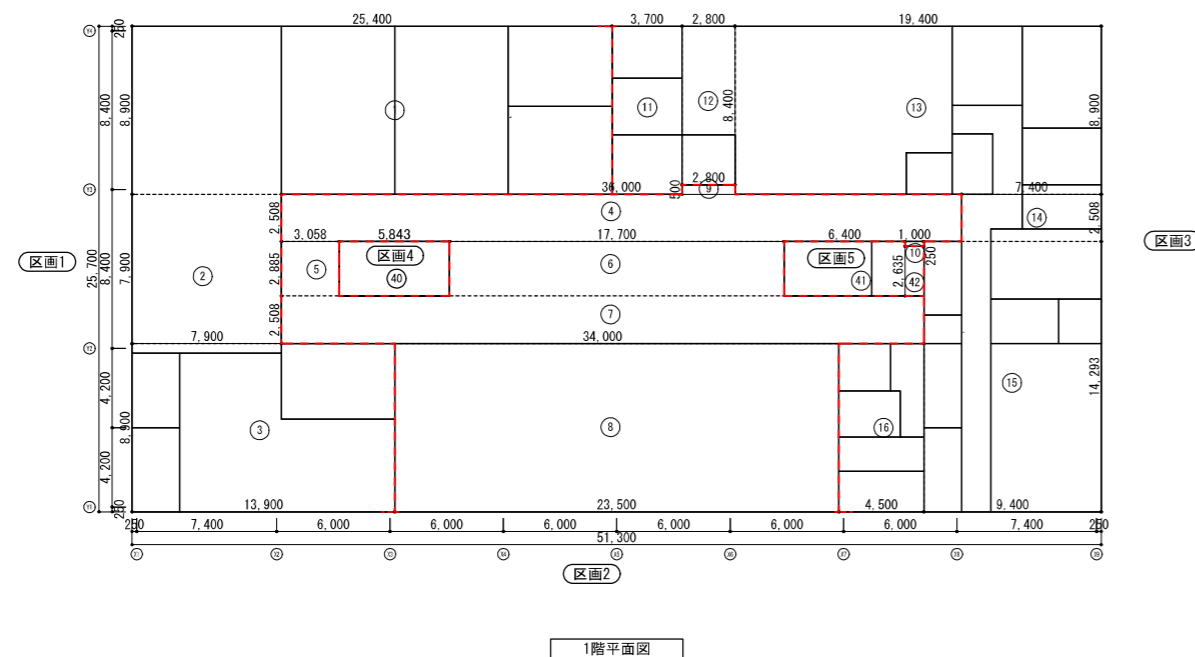
記号	計算式		計
休養室	5.850*3.700	21.645000	
湯沸	2.150*3.200	6.880000	
職員用廊下	3.700*1.500	5.550000	39.602500
	1.550*3.200	4.960000	
	3.200*1.850	5.920000	
	1.550*14.950	23.172500	
踏込	3.700*3.150	11.655000	
職員用更衣室(女)	3.600*2.350	8.460000	
会議室	5.850*8.900	52.065000	
会議室倉庫	2.250*2.350	5.287500	
階段下倉庫(1)	5.843*2.885	16.857055	
消火ポンプ室	4.650*2.885	13.415250	
蓄電池設備室	2.750*2.885	7.937500	
職員用更衣室(男)	2.000*3.893	7.786000	
SK	2.000*1.500	3.000000	
職員用WC(男)	2.000*4.450	8.900000	
職員用WC(女)	2.000*4.450	8.900000	
女子WC	4.500*3.950	17.775000	
男子WC	3.250*2.450	7.962500	
多目的WC	2.750*2.500	6.875000	
廊下	1.750*2.500	4.375000	7.437500
	1.250*2.450	3.062500	
計		1318.448885	1318.45

2階 部屋別求積図

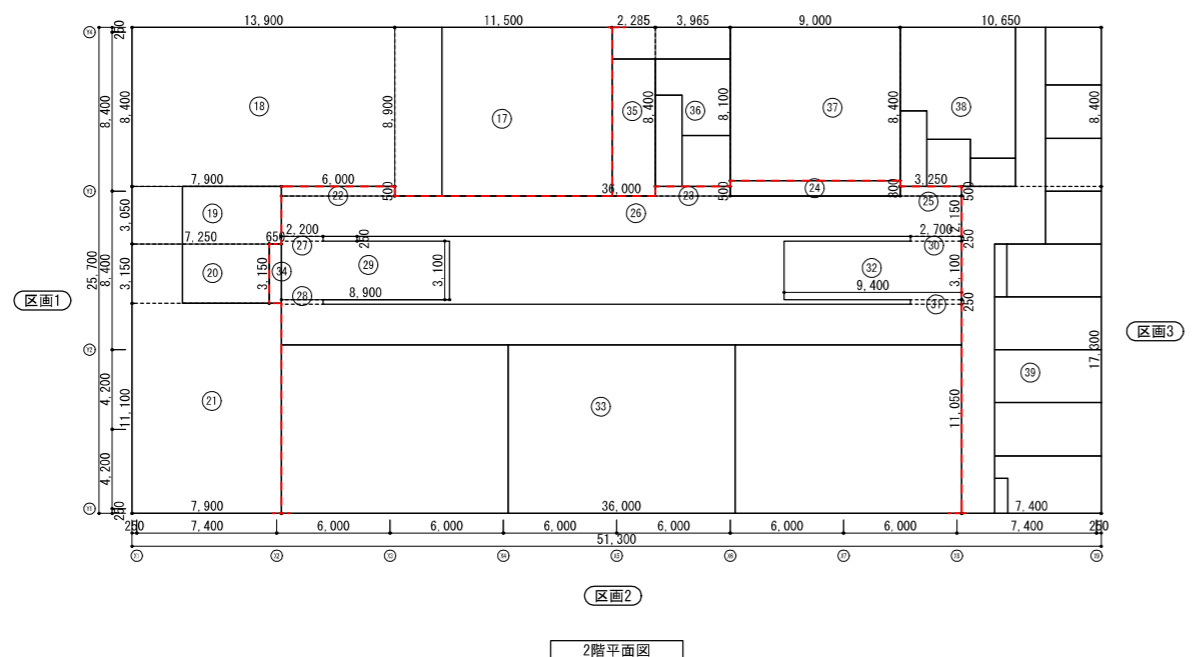


記号	計算式		計
看護学実習室	13.900*8.400	116.760000	243.130000
	2.500*8.900	22.250000	
	2.650*6.200	16.430000	
	7.900*11.100	87.690000	
在宅看護実習室	9.000*8.900	80.100000	
学生用更衣室(男)	2.285*7.235	16.531975	
男子WC	3.965*1.900	7.533500	12.977750
	2.550*2.135	5.442250	
学生用更衣室(女)	9.000*8.100	72.900000	83.306250
	6.250*1.665	10.406250	
女子WC	6.100*4.400	26.840000	36.252500
	4.685*1.500	7.027500	
	2.385*1.000	2.385000	
多目的WC	2.300*2.500	5.750000	
研究室(1)	2.950*3.050	8.997500	
研究室(2)	2.950*2.800	8.260000	
研究室(3)	2.950*2.800	8.260000	
研究室(4)	2.950*2.800	8.260000	
学生自治会室	5.000*2.800	14.000000	
演習室(3)	5.650*2.800	15.820000	
演習室(4)	5.650*2.800	15.820000	
演習室(5)	5.650*2.800	15.820000	
演習室(6)	0.700*1.200	0.840000	15.937500
	4.950*3.050	15.097500	
CR(1)	12.000*8.900	106.800000	
CR(2)	12.000*8.900	106.800000	

記号	計算式		計
CR(3)	12.000*8.900	106.800000	
準備室	5.250*3.050	16.012500	30.502500
	4.600*3.150	14.490000	
廊下(1)	36.000*2.150*2	154.800000	220.462500
	8.900*3.100	27.590000	
	2.200*0.25*2	1.100000	
	9.400*3.100	29.140000	
	2.700*0.25*2	1.350000	
	6.000*0.500	3.000000	
	3.715*0.500	1.857500	
	3.250*0.500	1.625000	
廊下(2)	1.600*8.400	13.440000	51.950000
	4.450*3.050	13.572500	
	1.750*14.250	24.937500	
廊下(3)	1.415*4.835	6.841525	
廊下(4)	1.415*4.000	5.660000	
EV	2.550*2.700	6.885000	
SK	2.385*1.500	3.577500	
DS	0.700*1.850	1.295000	
展示スペース	9.000*0.800	7.200000	7.325000
	0.250*0.500	0.125000	
飾り棚	0.650*3.150	2.047500	3.867500
	0.650*2.800	1.820000	
計		1247.990000	1247.99



1階平面図

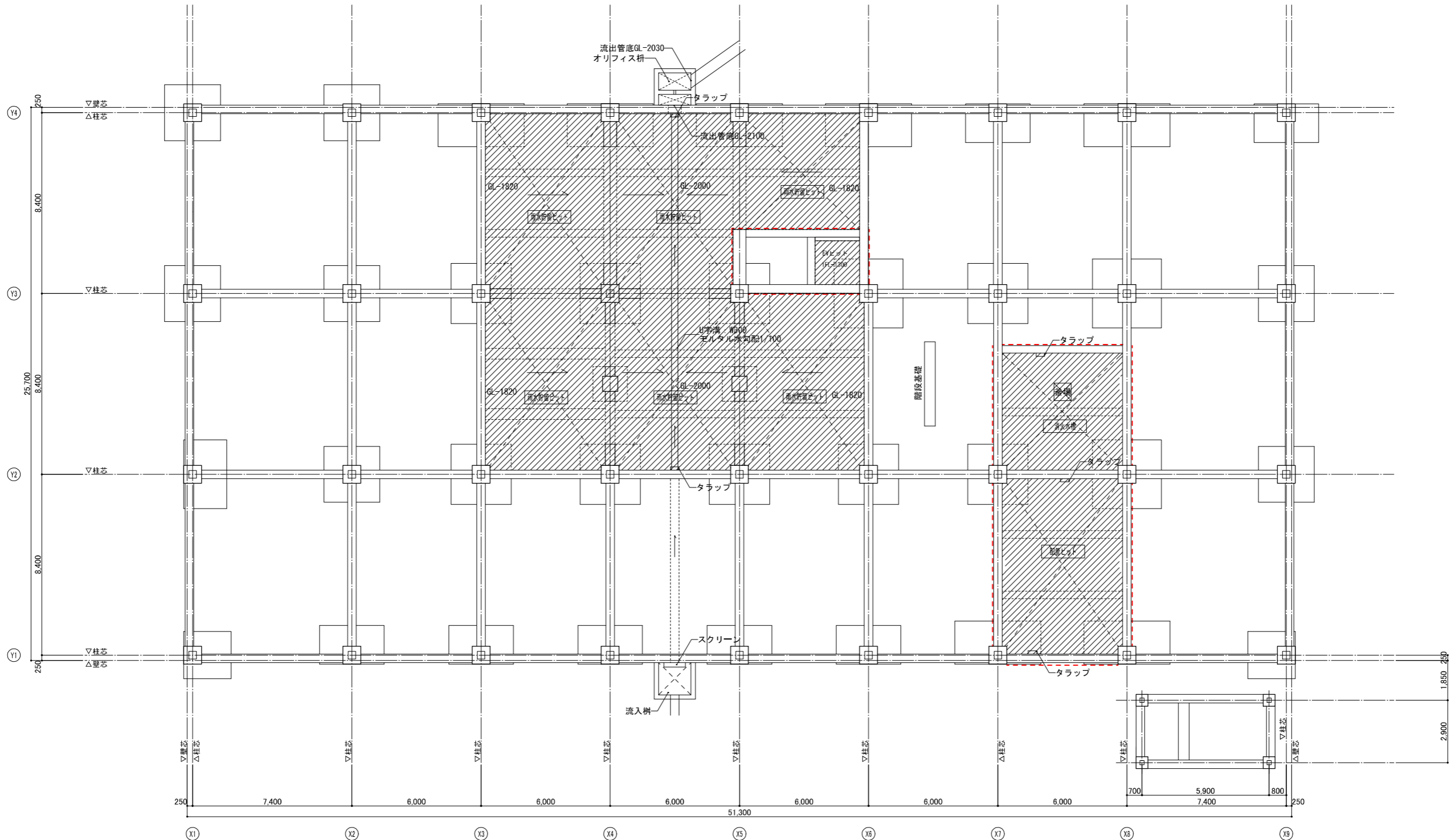


2階平面図

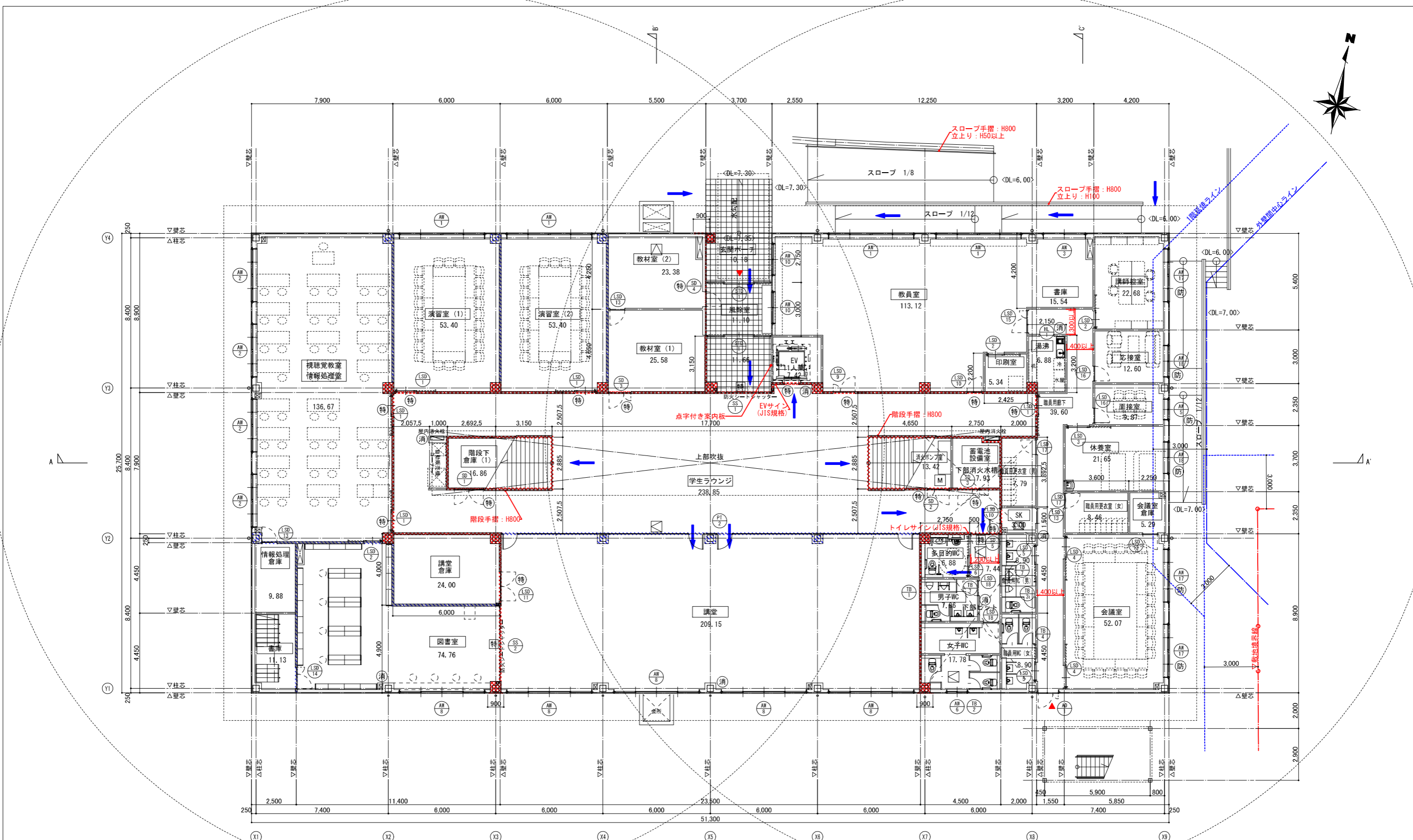
防火区画No.	区画	面積	判定
区画1	①~③ + ⑭~⑰	705.912500	OK
区画2	④~⑩ + ⑳~㉓	999.244330	OK
区画3	⑪~⑬ + ㉔~㉖	763.995900	OK
区画4	㉗	16.857055	OK
区画5	㉘ + ㉙	21.099000	OK

No.	計算式	面積
①	25.400*8.900	226.060000
②	7.900*7.900	62.410000
③	13.900*8.900	123.710000
④	36.000*2.508	90.288000
⑤	3.058*2.885	8.822330
⑥	17.700*2.885	51.064500
⑦	34.000*2.508	85.272000
⑧	23.500*8.900	209.150000
⑨	2.800*0.500	1.400000
⑩	1.000*0.250	0.250000
⑪	3.700*8.900	32.930000
⑫	2.800*8.400	23.520000
⑬	19.400*8.900	172.660000
⑭	7.400*2.508	18.559200
⑮	9.400*14.293	134.354200
⑯	4.500*8.900	40.050000
⑰	11.500*8.900	102.350000
⑱	13.900*8.400	116.760000
⑲	7.900*3.050	24.095000
⑳	7.250*3.150	22.837500
㉑	7.900*11.100	87.690000
㉒	6.000*0.500	3.000000
㉓	3.965*0.500	1.982500
㉔	9.000*0.800	7.200000
㉕	3.250*0.500	1.625000
㉖	36.000*2.150	77.400000
㉗	2.200*0.250	0.550000
㉘	2.200*0.250	0.550000
㉙	8.900*3.100	27.590000
㉚	2.700*0.250	0.675000
㉛	2.700*0.250	0.675000
㉜	9.400*3.100	29.140000
㉝	36.250*11.050	400.562500
㉞	0.650*3.150	2.047500
㉟	2.285*8.900	20.336500
㊱	3.715*8.400	31.206000
㊲	9.000*8.100	72.900000
㊳	10.650*8.400	89.460000
㊴	7.400*17.300	128.020000
㊵	5.843*2.885	16.857055
㊶	6.400*2.885	18.464000
㊷	1.000*2.635	2.635000

内部仕上表															※内装材、家具、建具類、天井等はF☆☆☆☆を使用							
階	室名	床面積	居室	内装制限	排煙設備	床			巾木			壁			天井			廻り縁	天井H	備考	VOC測定	室名
						下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装					
2階	在宅看護実習室	80.10	○			鋼製床組	耐水合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5 一部石膏ボードt=12.5+12.5の上、化粧ケイカル板t=6	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	IHキッチンL1800、洗濯パン	○	在宅看護実習室	
	在宅看護実習室(和室)					鋼製床組	構造用合板 t15の上敷き (一部構造用合板 t15+15 木目調タイルt3.0貼) 別途：耐水合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	畳寄せ WP	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5の上、クロス貼	-	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700			在宅看護実習室(和室)	
	在宅看護実習室(和室押入)					鋼製床組	構造用合板 t15+シナ合板 t6	-	雑巾箱 15×10	WP	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	木製 10×15	-			在宅看護実習室(和室押入)	
	在宅看護実習室(浴室)					モルタル	押えコンクリート+モザイクタイル貼 (一部浴槽周り：100角タイル貼)	-	壁同材	-	LGS	モルタルの上、100角タイル貼	-	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	衛生器具、樹脂被覆製手摺、浴槽、排水溝		在宅看護実習室(浴室)	
	在宅看護実習室(WC)					鋼製床組	耐水合板 t15+15 防汚性長尺塩ビシート t2.0貼	-	床材立上 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5の上、 化粧ケイカル板t=6	-	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	面台：メラミンポストフォーム 衛生器具、樹脂被覆製手摺		在宅看護実習室(WC)	
	看護学実習室	243.13	○			鋼製床組	耐水合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5 一部石膏ボードt=12.5+12.5の上、化粧ケイカル板t=6	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	面台：メラミンポストフォーム 衛生器具、洗面水流し、流し台、化粧鏡、洗髪台、沐浴槽	○	看護学実習室	
	準備室(看護実習室)	30.50				鋼製床組	耐水合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5の上、 化粧ケイカル板t=6	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	面台：メラミンポストフォーム、汚水流し		準備室(看護実習室)	
	CR(1)(2)(3)	106.80	○			鋼製床組	構造用合板 t15+15 木目調タイルt3.0貼	-	木製 H=100	WP	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	ホワイトボード、プロジェクター、背面ロッカー スクリーン	○	CR(1)(2)(3)	
	研究室(1)(2)(3)(4)	(1):9.00 (2)~:8.26	○			鋼製床組	構造用合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,700	ホワイトボード	○	研究室(1)(2)(3)(4)	
	学生自治会室	14.00	○			鋼製床組	構造用合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,700		○	学生自治会室	
	演習室(3)(4)(5)(6)	(3)~:15.82 (6):15.94	○			鋼製床組	構造用合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,700	ホワイトボード	○	演習室(3)(4)(5)(6)	
	学生更衣室(男)	16.53				鋼製床組	構造用合板 t15+15 タイルカーベット t6.5 別途：長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	化粧鏡		学生更衣室(男)	
	男子WC	12.98				鋼製床組	耐水合板 t15+15 防汚性長尺塩ビシート t2.0貼	-	床材立上 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5の上、 メラミン不燃化粧板 t=3.0	-	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,500	面台：メラミンポストフォーム 衛生器具、樹脂被覆製手摺、汚重石、化粧鏡		男子WC	
	男子WC前通路	6.84				鋼製床組	構造用合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,700			男子WC前通路	
	学生更衣室(女)	83.31				鋼製床組	構造用合板 t15+15 タイルカーベット t6.5 別途：長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	2,700	化粧鏡		学生更衣室(女)	
	女子WC	36.25				鋼製床組	耐水合板 t15+15 防汚性長尺塩ビシート t2.0貼	-	床材立上 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5の上、 メラミン不燃化粧板 t=3.0	-	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,500	面台：メラミンポストフォーム 衛生器具、樹脂被覆製手摺、化粧鏡		女子WC	
	女子WC前通路	5.66				鋼製床組	構造用合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,700	化粧鏡		女子WC前通路	
	多目的WC	5.75				鋼製床組	耐水合板 t15+15 防汚性長尺塩ビシート t2.0貼	-	床材立上 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5の上、 化粧ケイカル板t=6(一部モザイクタイル貼)	-	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,500	面台：メラミンポストフォーム 衛生器具、樹脂被覆製手摺、化粧鏡		多目的便所	
	SK	3.58				鋼製床組	耐水合板 t15+15 防汚性長尺塩ビシート t2.0貼	-	床材立上 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5の上、 化粧ケイカル板t=6	-	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,500	面台：メラミンポストフォーム 衛生器具		SK	
	廊下(1)	220.46				鋼製床組	構造用合板 t15+15 木目調タイルt3.0貼	-	木製 H=100	WP	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5貼	EP	-	-			廊下(1)	
	廊下(2)	51.95				鋼製床組	構造用合板 t15+15 木目調タイルt3.0貼	-	木製 H=100	WP	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,700			廊下(2)	
	展示スペース	7.33				鋼製床組	構造用合板 t15+15 長尺塩ビシート t2.0貼	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5	EP	LGS	石膏ボード t9.5の上 岩綿吸音板 t12貼	-	塩ビ製	2,500			展示スペース	
	飾棚	3.87				鋼製床組	構造用合板t15+脚石t20	-	塩ビ製 H=100	-	LGS	石膏ボードt=12.5+12.5の上、 多孔質セラミックスタイルt8.5貼	-	LGS	不燃化粧石膏ボード t9.5	-	塩ビ製	FL+2,450 天板+1,800			飾棚	

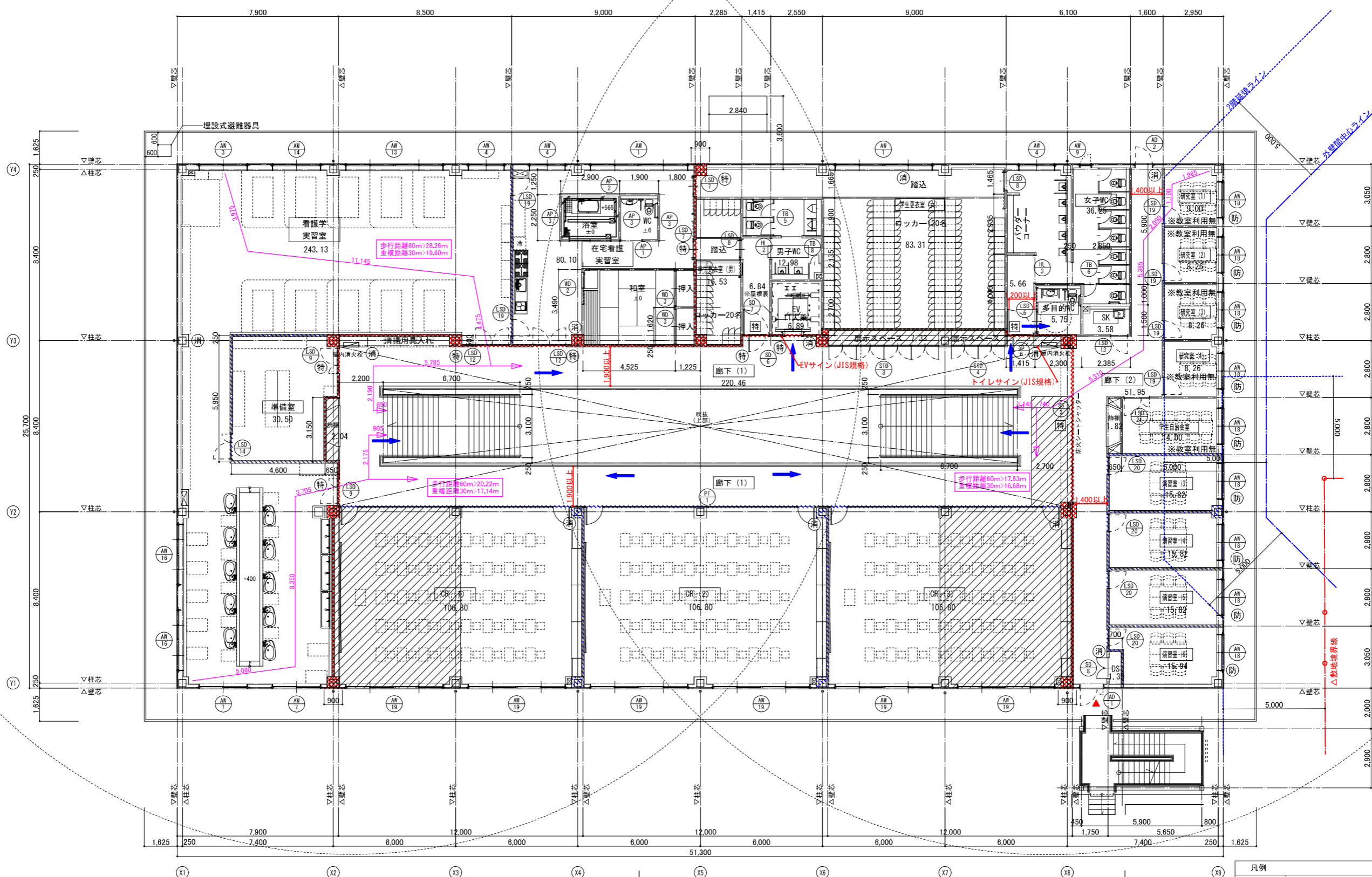


凡例	
	ケイ酸質系塗膜防水 施工箇所



➡ : 高齢者等利用経路を示す。

凡例	
	防火区画(面積区画)
	114条区画
	遮音区画壁
	床下点検口600×600(防臭タイプ)タラップSUSφ19 W400×D150
	マンホール600φ
	特定防火設備(常時閉鎖防火戸)
	特定防火設備(常時開放式・煙感連動自閉式防火戸)
	防火設備(常時閉鎖防火戸)
	消火器ボックス(半埋込型) ※ABC粉末消火器10型共



← : 高齢者等利用経路を示す。

凡例	
XXXXXX	防火区画(面積区画)
	114条区画
////	遮音区画壁
////	防火区画(水平区画:床スラブ)
(特)	特定防火設備(常時閉鎖防火戸)
(特)	特定防火設備(常時開放式・煙感連動自閉式防火戸)
(防)	防火設備(常時閉鎖防火戸)
(消)	消火器ボックス(半埋込型) ※ABC粉末消火器10型共

相市看護専門学校建設工事設計図

2階平面図

令和6年1月

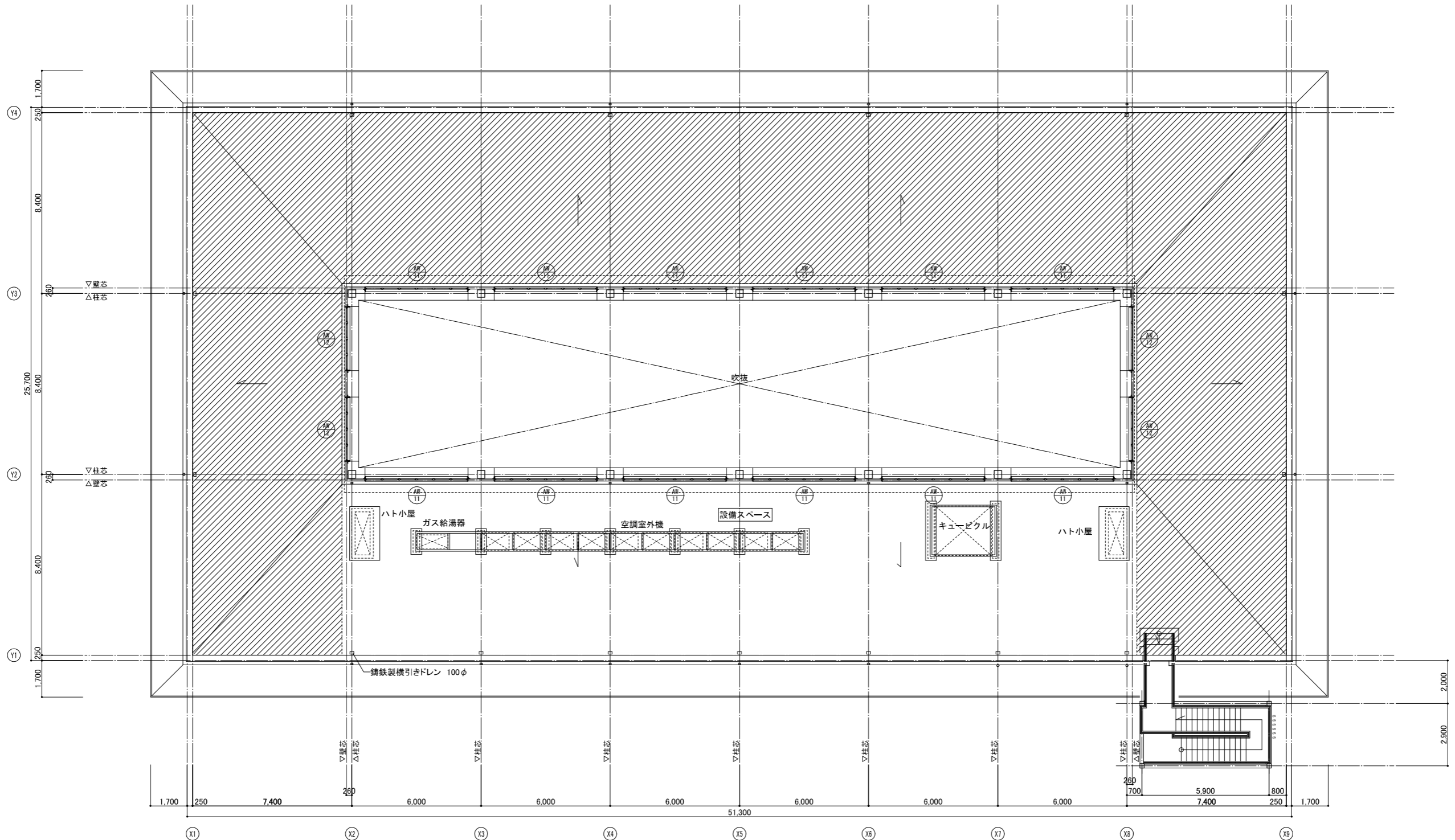
SCALE S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

株式会社 小西建築設計事務所

〒702-0005 兵庫県小野市上本町135-10小西ビル
小西 龍機
一級建築士登録 第21537号 構造設計一級建築士 第2702号

PrjNo

Drawn A-026



凡例	
	防火区画 (面積区画)
	114条区画
(特)	特定防火設備 (常時閉鎖防火戸)
(防)	特定防火設備 (常時開放式・煙感連動自閉式防火戸)
(防)	防火設備 (常時閉鎖防火戸)

※ 屋上への出入口(屋外階段平面詳細図、建具D-1参照)は常時施錠され、
屋上スペースは設備機器のメンテナンス時のみ使用する。

相生市看護専門学校建設工事設計図

R階平面図

令和 6 年 1 月

SCALE S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

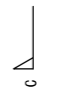
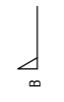
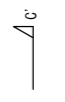
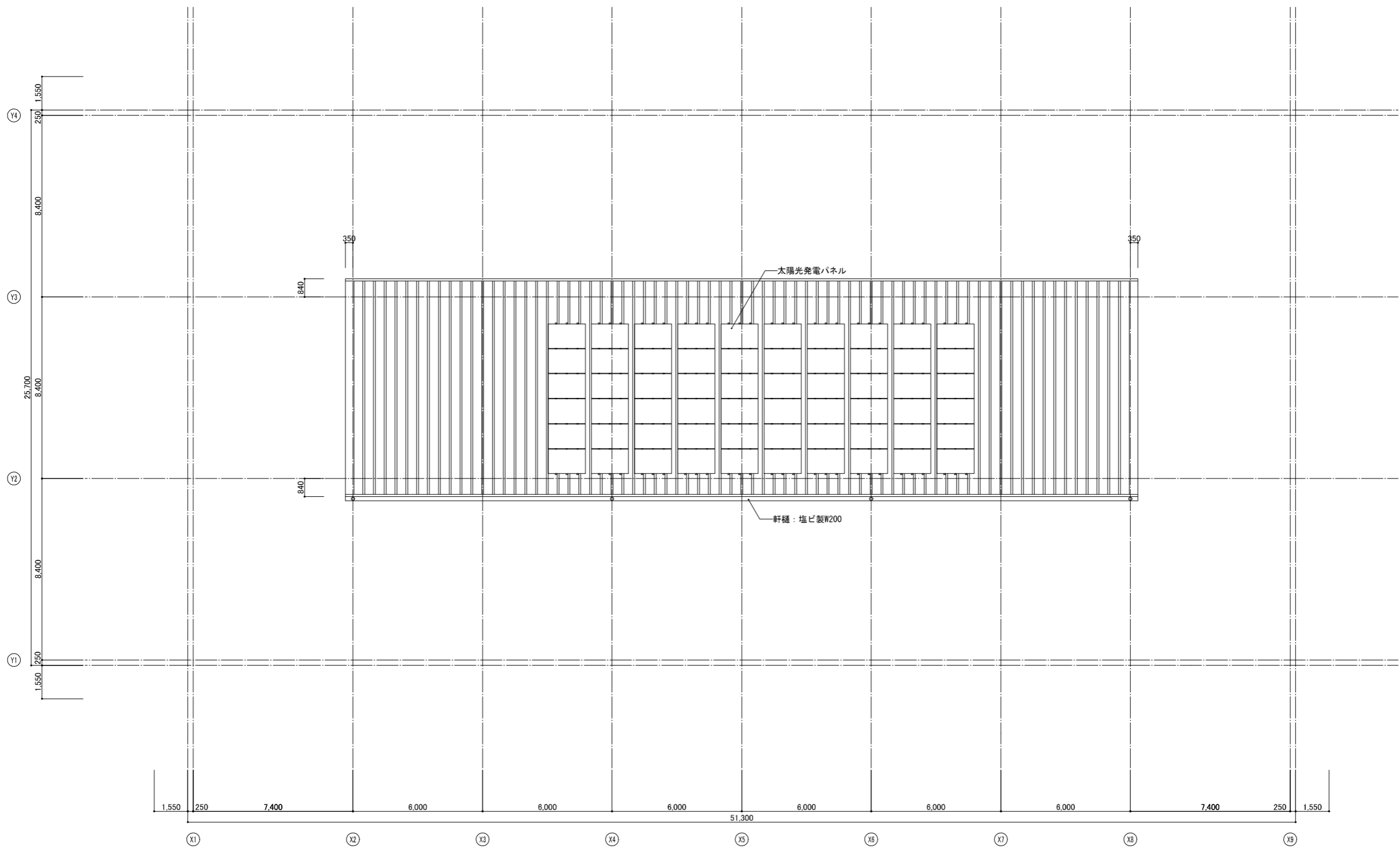
株式会社 小西建築設計事務所

兵庫県小野市上本町135-10小西ビル 小西 龍機
一般建築士登録 第21587号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo

DrawNo

A-027



相生市看護専門学校建設工事設計図

屋根伏図

令和 6 年 1 月

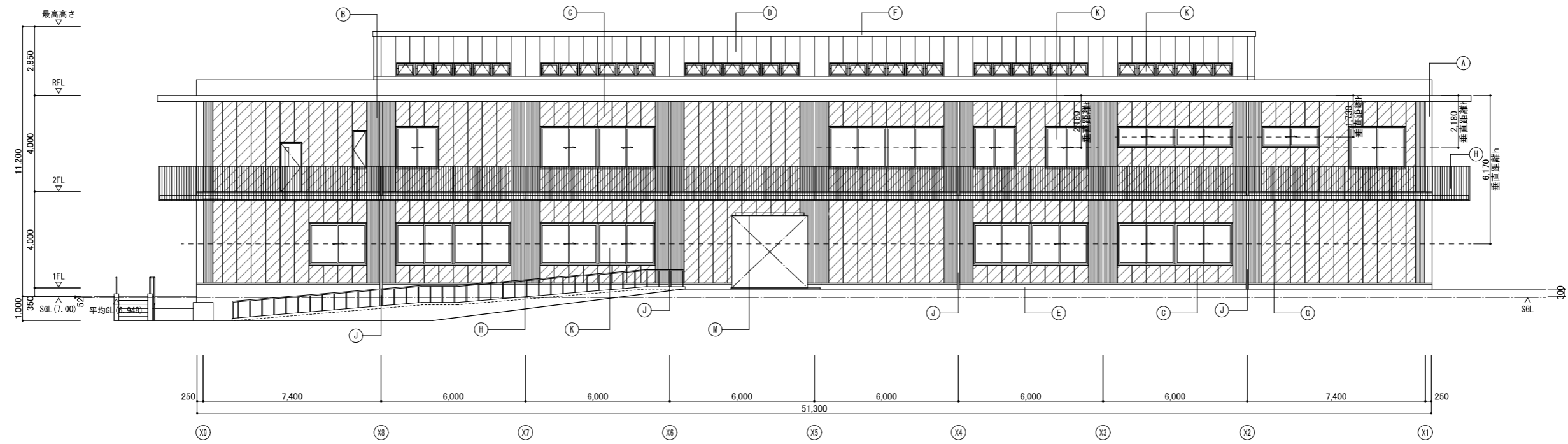
SCALE S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

株式会社 小西建築設計事務所

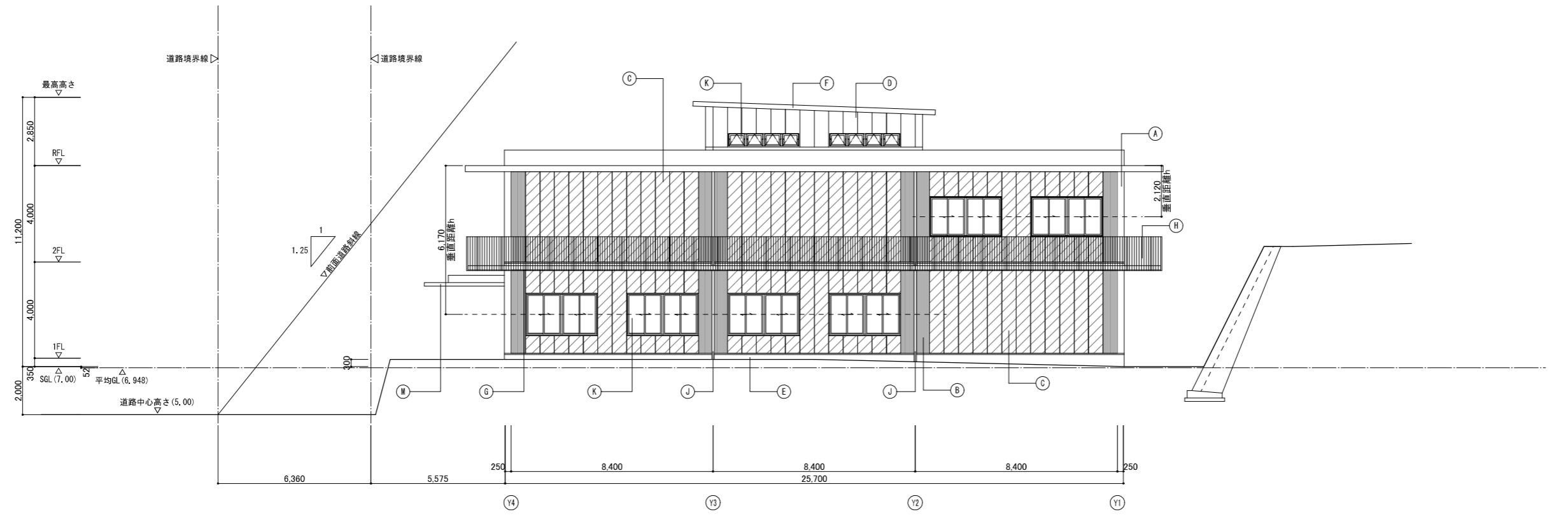
兵庫県小野市上本町135-10小西ビル 小西 龍機
一般建築士登録 第21567号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo

Drawn A-028



北立面図 1 : 100

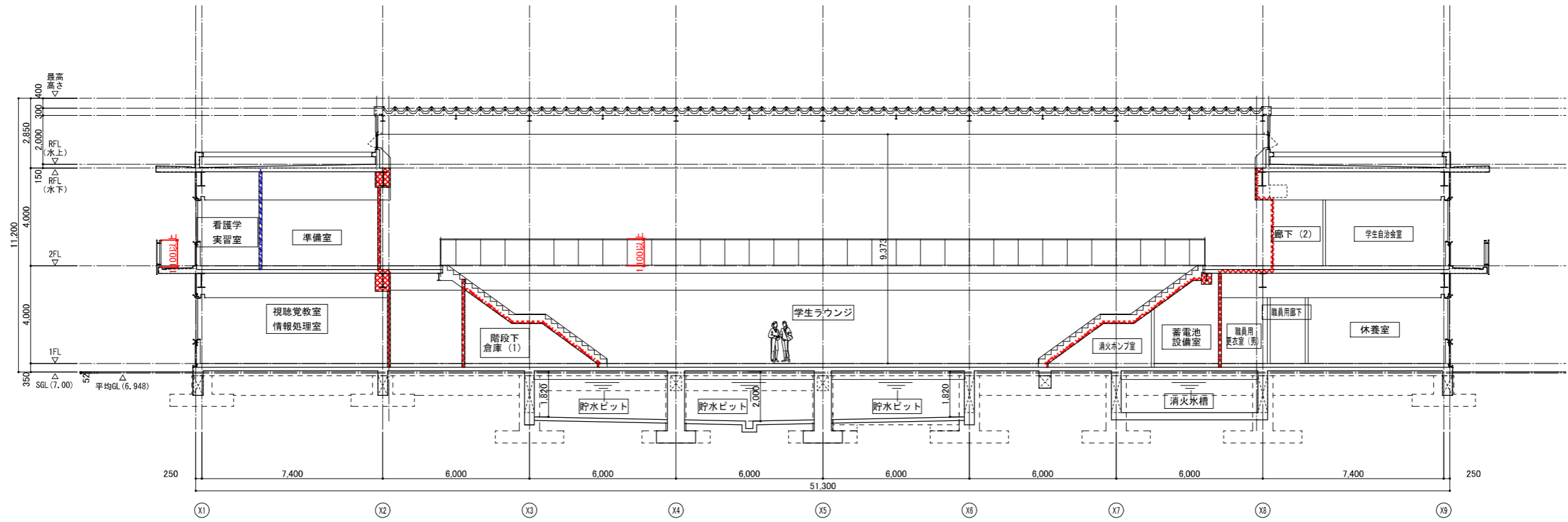


西立面図 1 : 100

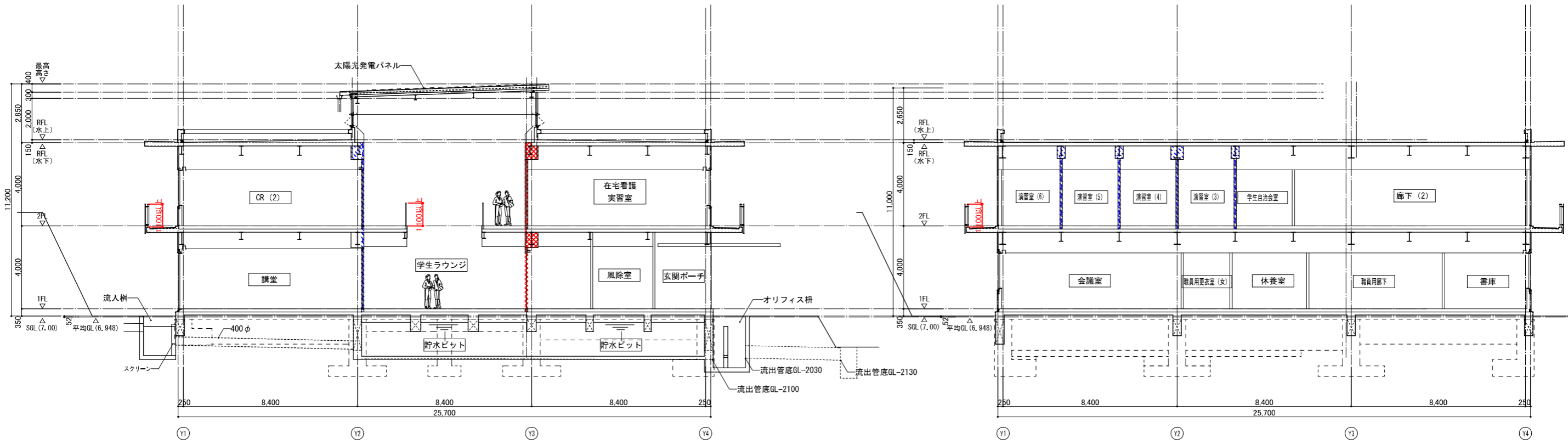
凡例			凡例			凡例		
記号	部位	仕上	記号	部位	仕上	記号	部位	仕上
(A)	外壁	押出成型セメント板t60(縦貼) フラット仕様 親水性珩素樹脂塗装(工場塗装)	(F)	幕板	アルミ t 2.0 焼付塗装	(K)	アルミ製建具	アルミ製電着着色 (ステンカラー)
(B)	外壁	押出成型セメント板t60(縦貼) リブ仕様 親水性珩素樹脂塗装(工場塗装)	(G)	軒天	PC打放し撥水材塗布(伸縮目地@3000 目地コーキング(MS-2))	(L)	ステンレス製建具	パイプレーション仕上げ
(C)	外壁	押出成型セメント板t60(縦貼) 木目調パネル ハイブリッドカラーコーティング仕上	(H)	手摺	2階:アルミ製既製品(規格カラー)	(M)	大庇	アルミ庇 (ステンカラー)
(D)	外壁	A L C 板 t=100 縦貼 フィラー処理の上塗り層塗材E	(I)			(N)	屋外階段	スチール製亜鉛めっきどぶ漬け
(E)	腰壁	コンクリート打放し面補修の上、防水系複層塗材E	(J)	縦樋	カラーVP100φ	(O)		



凡例		記号		記号		記号		
記号	部位	仕上	記号	部位	仕上	記号	部位	仕上
(A)	外壁	押出成型ポリ板t60(壁貼) フラット色 親水性珩素樹脂塗装(工場塗装)	(F)	幕板	アルミ t 2.0 焼付塗装	(K)	アルミ製建具	アルミ製電着着色 (ステンカラー)
(B)	外壁	押出成型ポリ板t60(壁貼) リブ色 親水性珩素樹脂塗装(工場塗装)	(G)	軒天	PC打放し撥水材塗布(伸縮目地@3000 目地コーキング(MS-2))	(L)	ステンレス製建具	パイプレーション仕上げ
(C)	外壁	押出成型ポリ板t60(壁貼) 木目調パネル ハイブリッドカラーコーティング仕上	(H)	手摺	2階:アルミ製既製品(規格カラー)	(M)	大庇	アルミ庇 (ステンカラー)
(D)	外壁	A L C板 t=100 縦貼 フィラー処理の上層塗材E	(I)			(N)	屋外階段	スチール製亜鉛めっきどぶ漬け
(E)	腰壁	コンクリート打放し面補修の上、防水系複層塗材E	(J)	壁礎	カラーVP100φ	(O)		



A-A' 断面図 1:100



B-B' 断面図 1:100

C-C' 断面図 1:100

凡例	
	防火区画(面積区画)
	114条区画

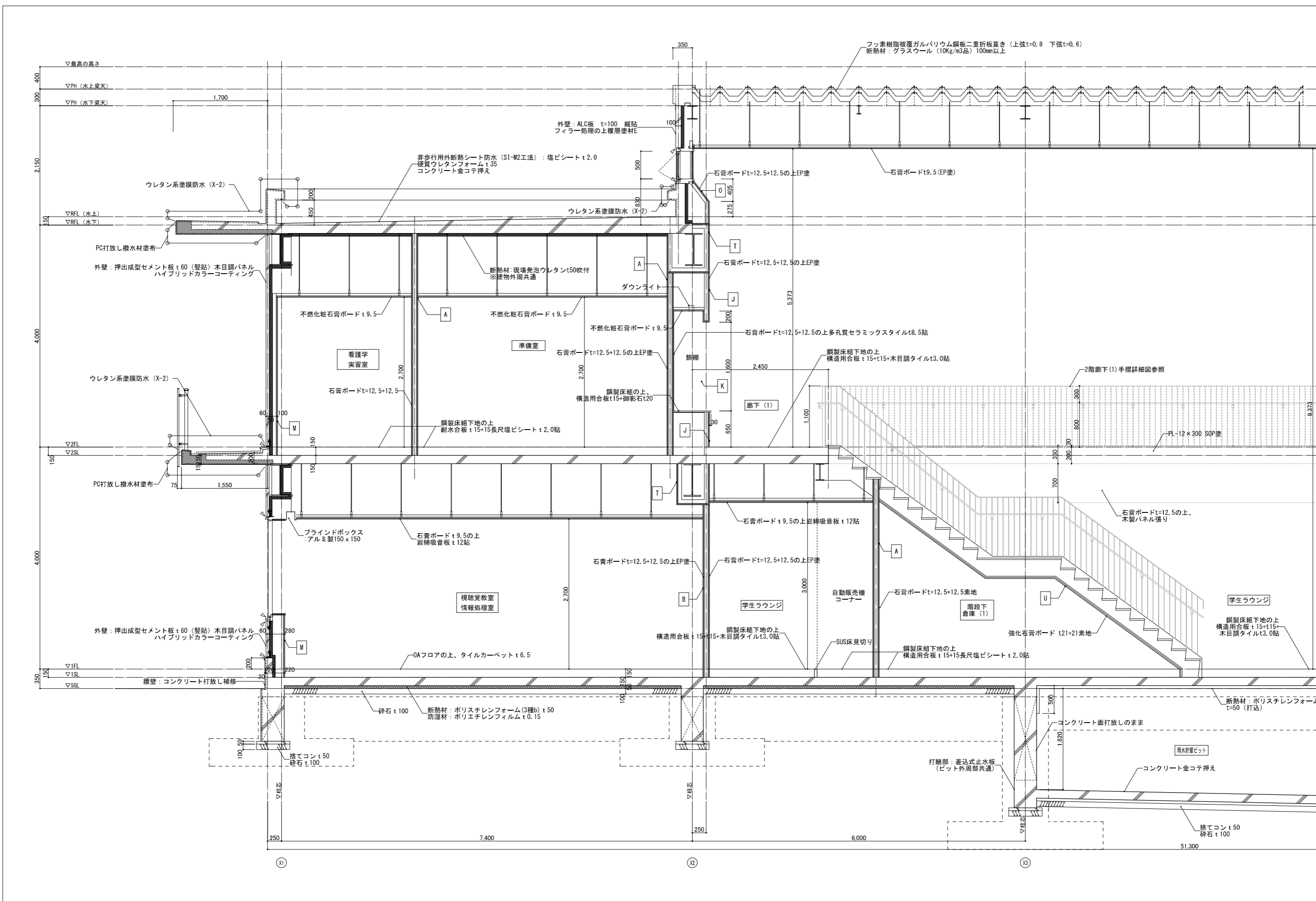
※各区画はスラブ下までとする。

相生市看護専門学校建設工事設計図

断面図 令和 6 年 1 月 SCALE S=1:100 (A1) S=1:200 (A3)

株式会社 小西建築設計事務所
 一般建築士事務所
 兵庫県小野市上本町135-10小西ビル 小西 能機
 一般建築士登録 第21567号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo
 Drawn
 A-031



相生市看護専門学校建設工事設計図

矩計図(1)

令和 6 年 1 月

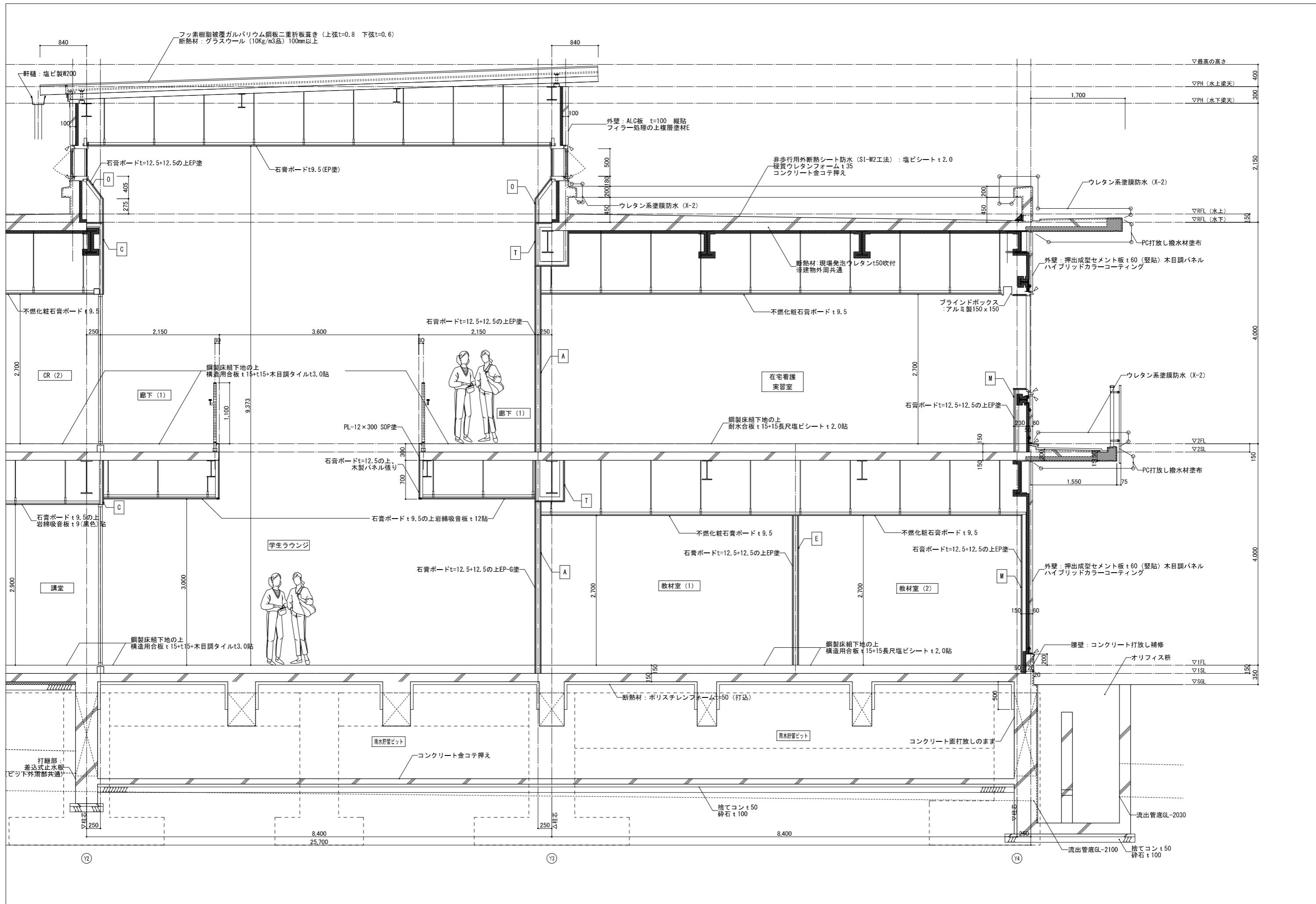
SCALE S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

株式会社 小西建築設計事務所

一般建築士事務所
兵庫県小野市上本町135-10小西ビル
小西 龍機
一般建築士登録 第21567号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo

Drawn A-032



相生市看護専門学校建設工事設計図

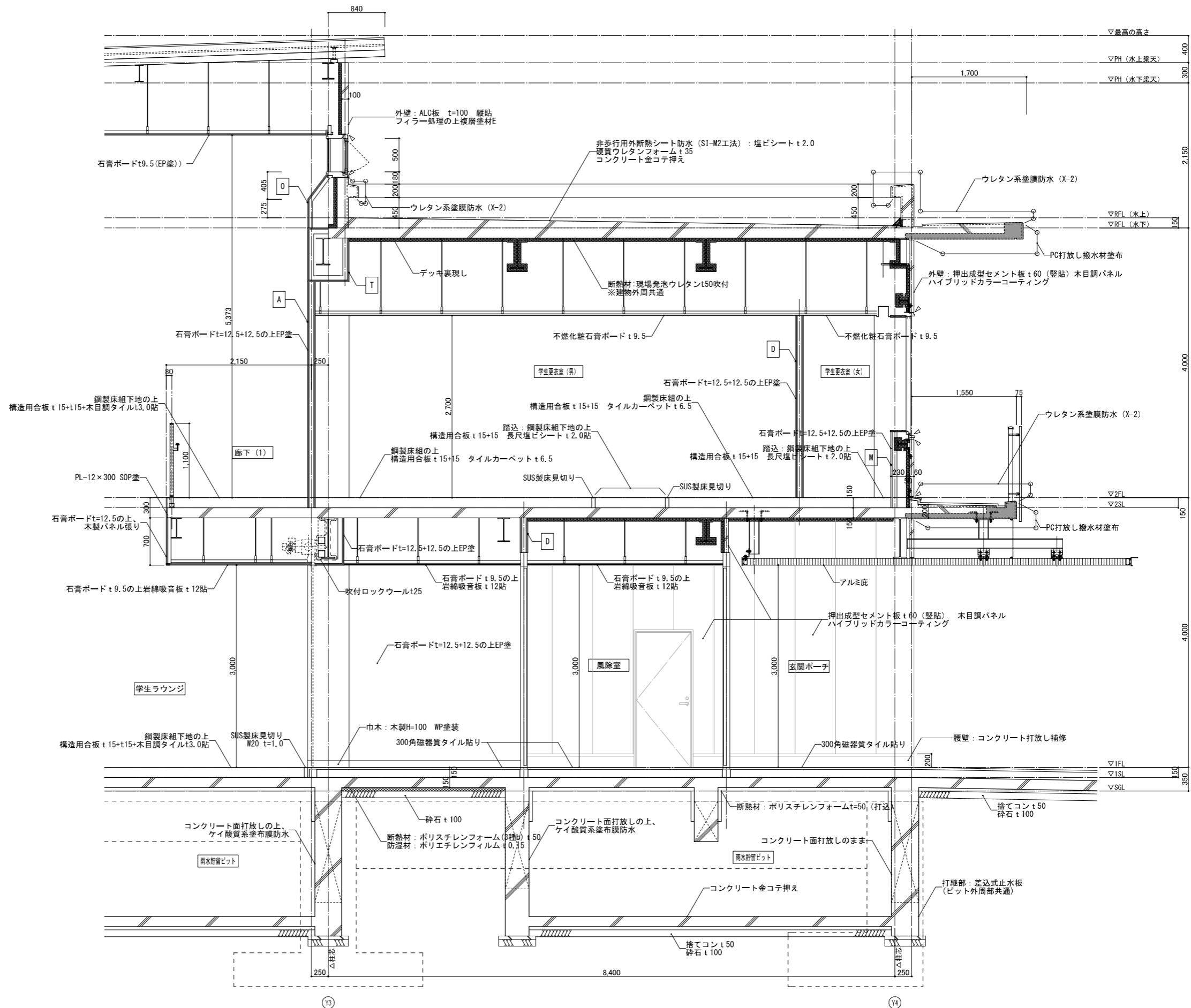
矩計図(2)

令和 6 年 1 月

SCALE S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

株式会社 小西建築設計事務所
 一般建築士事務所
 兵庫県小野市上本町135-10小西ビル
 小西 龍機
 一般建築士登録 第21507号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo
 Drawn A-033



相市看護専門学校建設工事設計図

矩計図(3)

令和 6 年 1 月

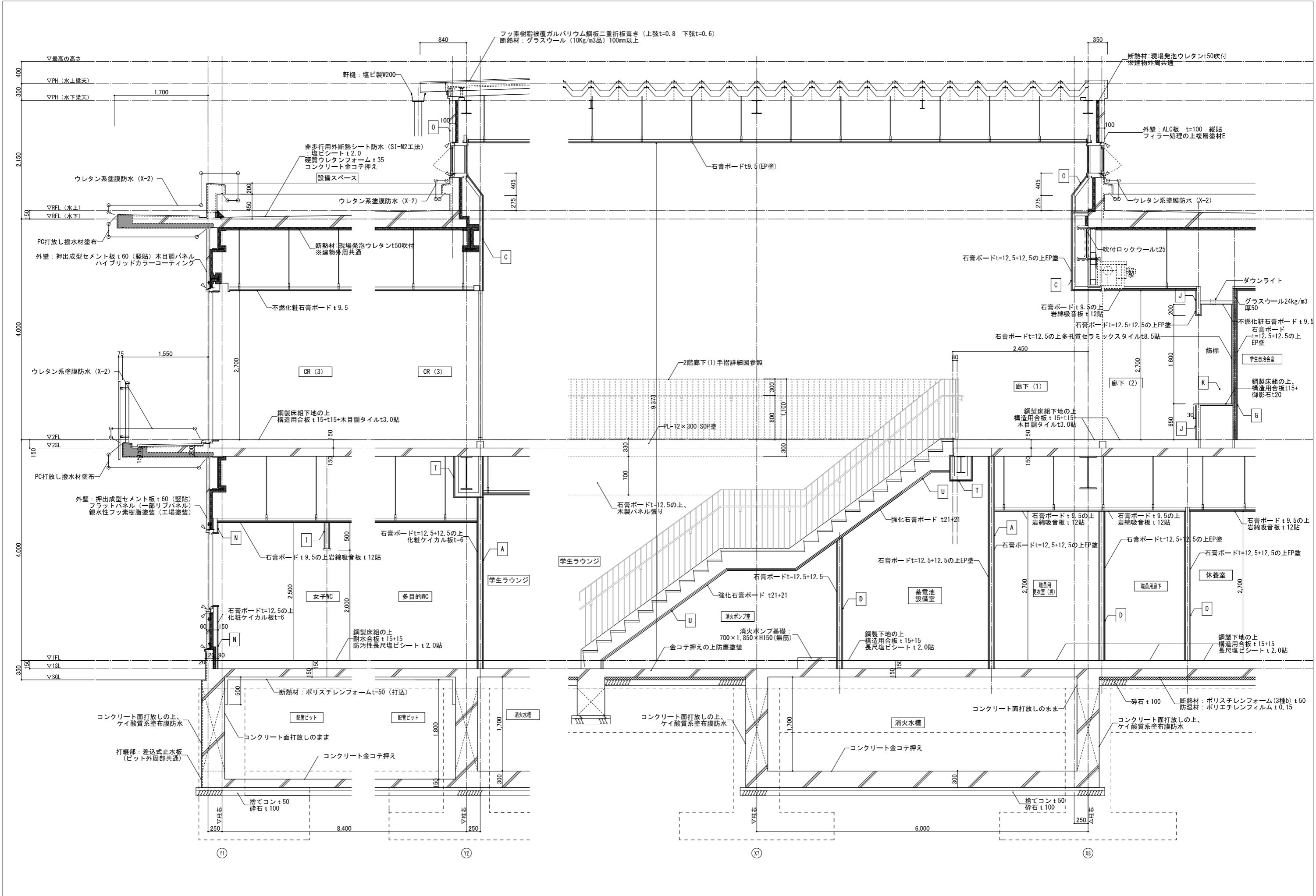
SCALE S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

株式会社小西建築設計事務所

〒715-0854 兵庫県小野市上本町135-10小西ビル
小西 龍機
一級建築士登録 第21567号 構造設計一級建築士 第2702号

PrjNo

Drawn A-034



相生市看護専門学校建設工事設計図

矩計図(4)

令和6年1月

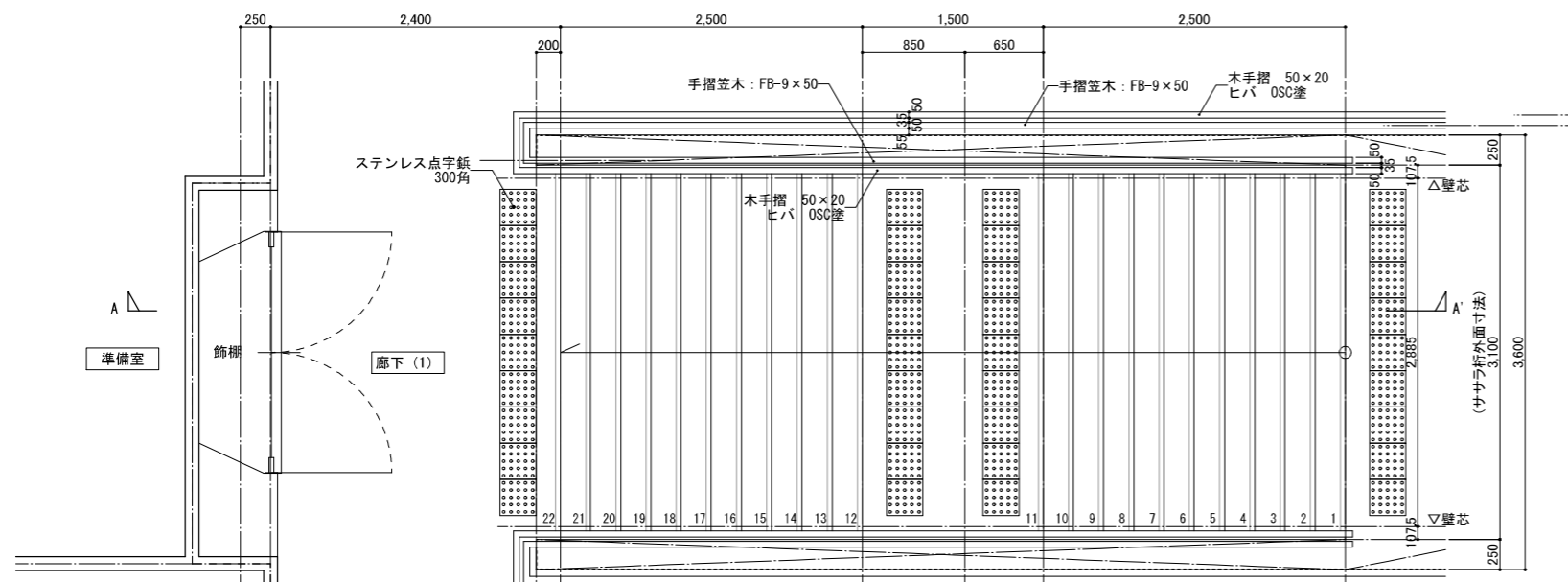
SCALE S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

株式会社小西建築設計事務所

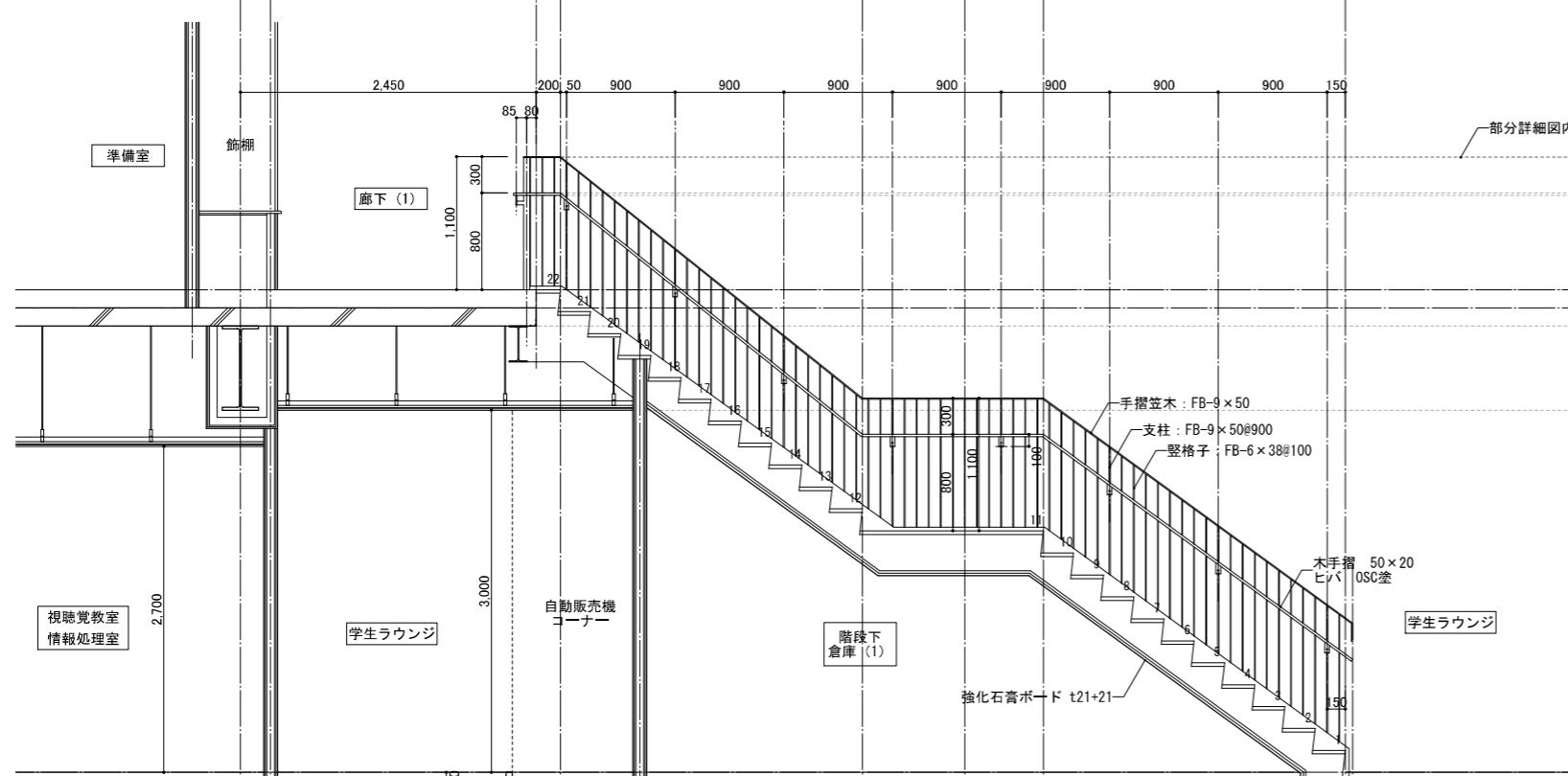
兵庫県小野市上本町135-10小西ビル
小西 龍機
一級建築士登録 第21567号 構造設計一級建築士 第2702号

PrjNo

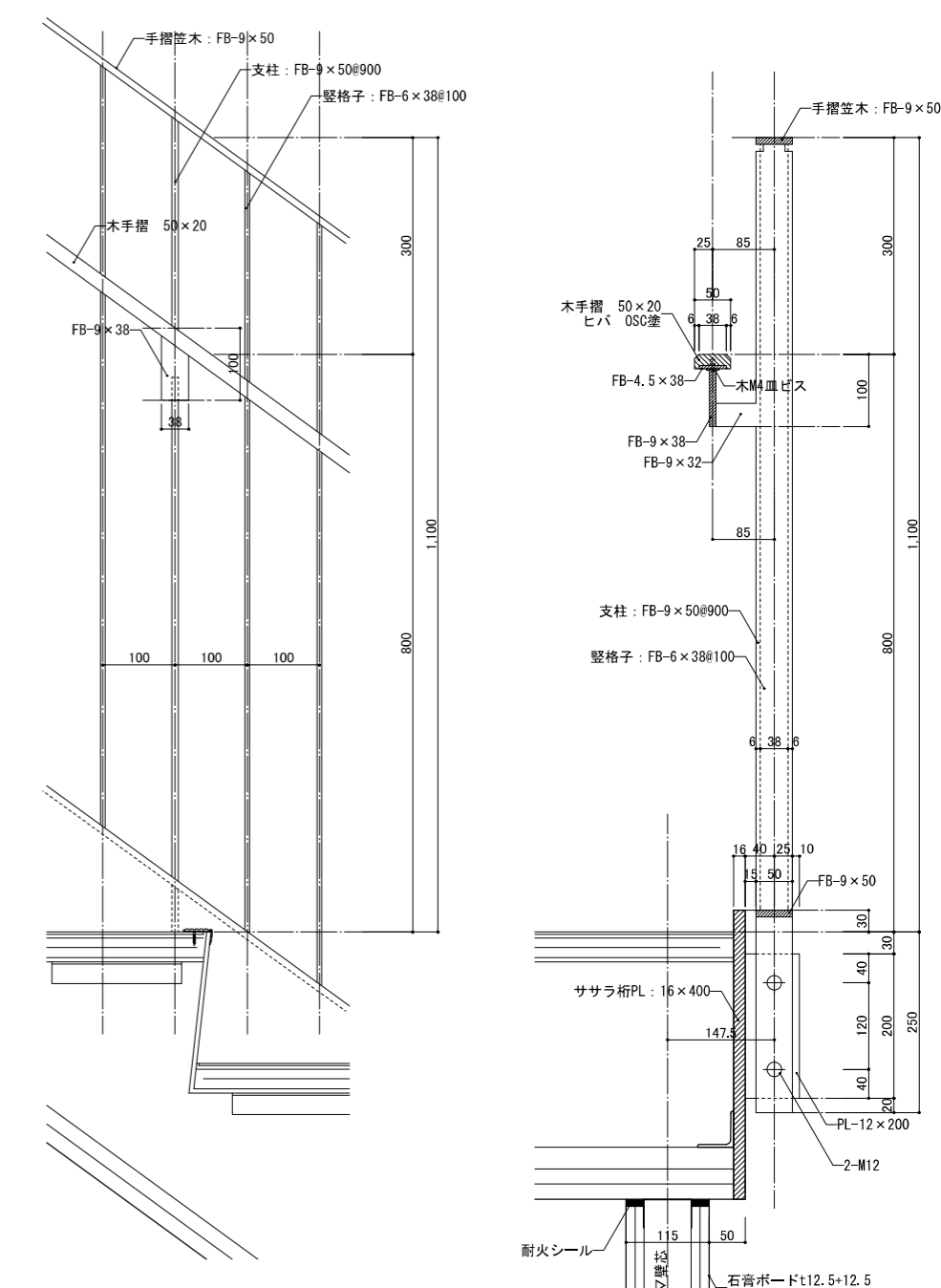
Drawn A-035



階段平面図 1:30



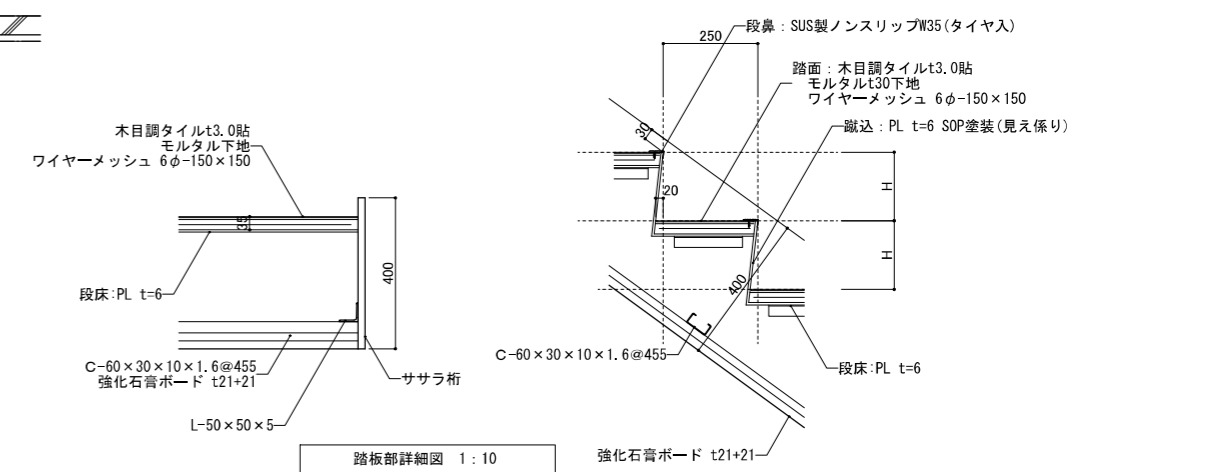
A-A' 断面詳細図 1:30



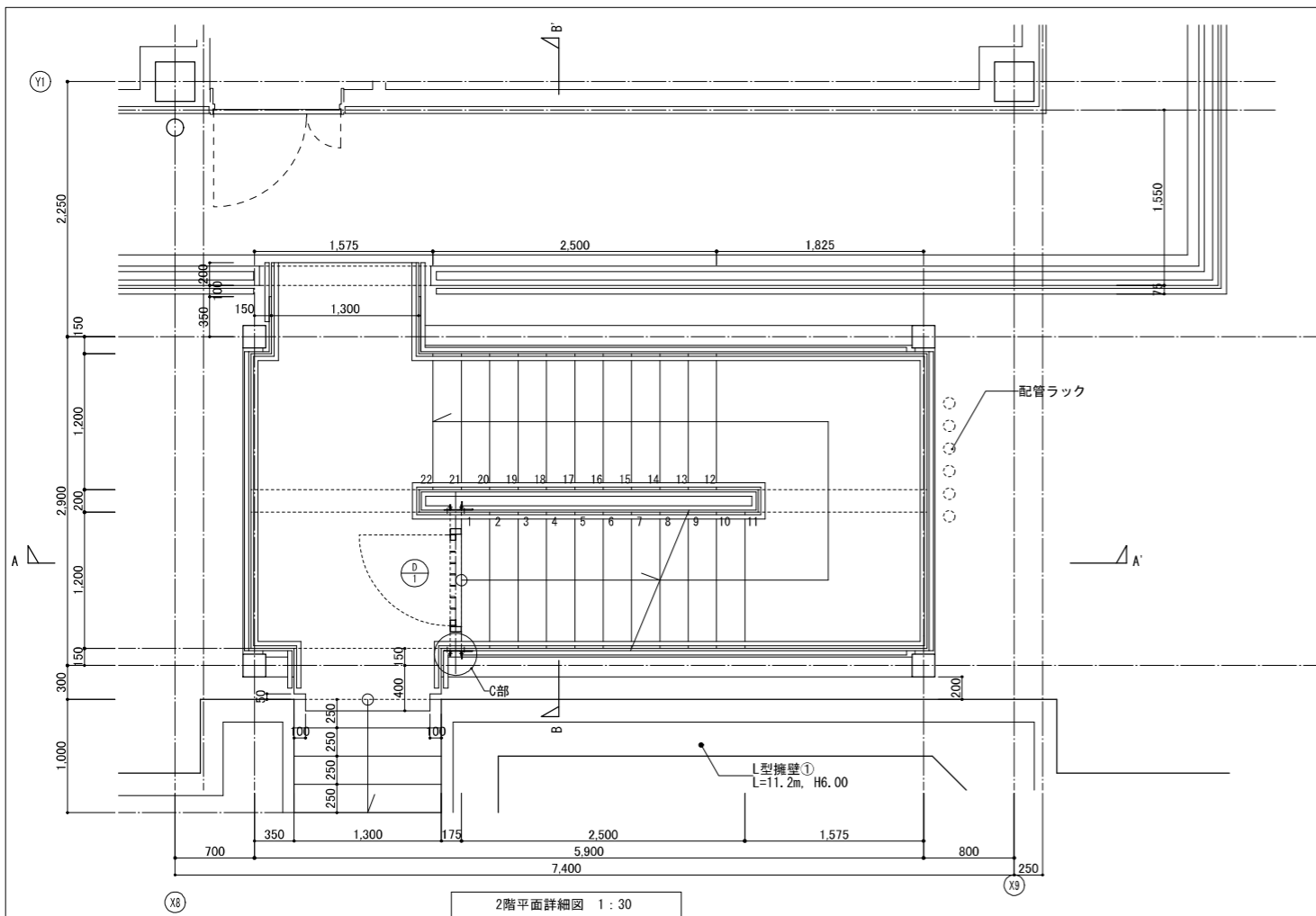
階段・手摺詳細図 1:5

手摺部詳細図 1:5

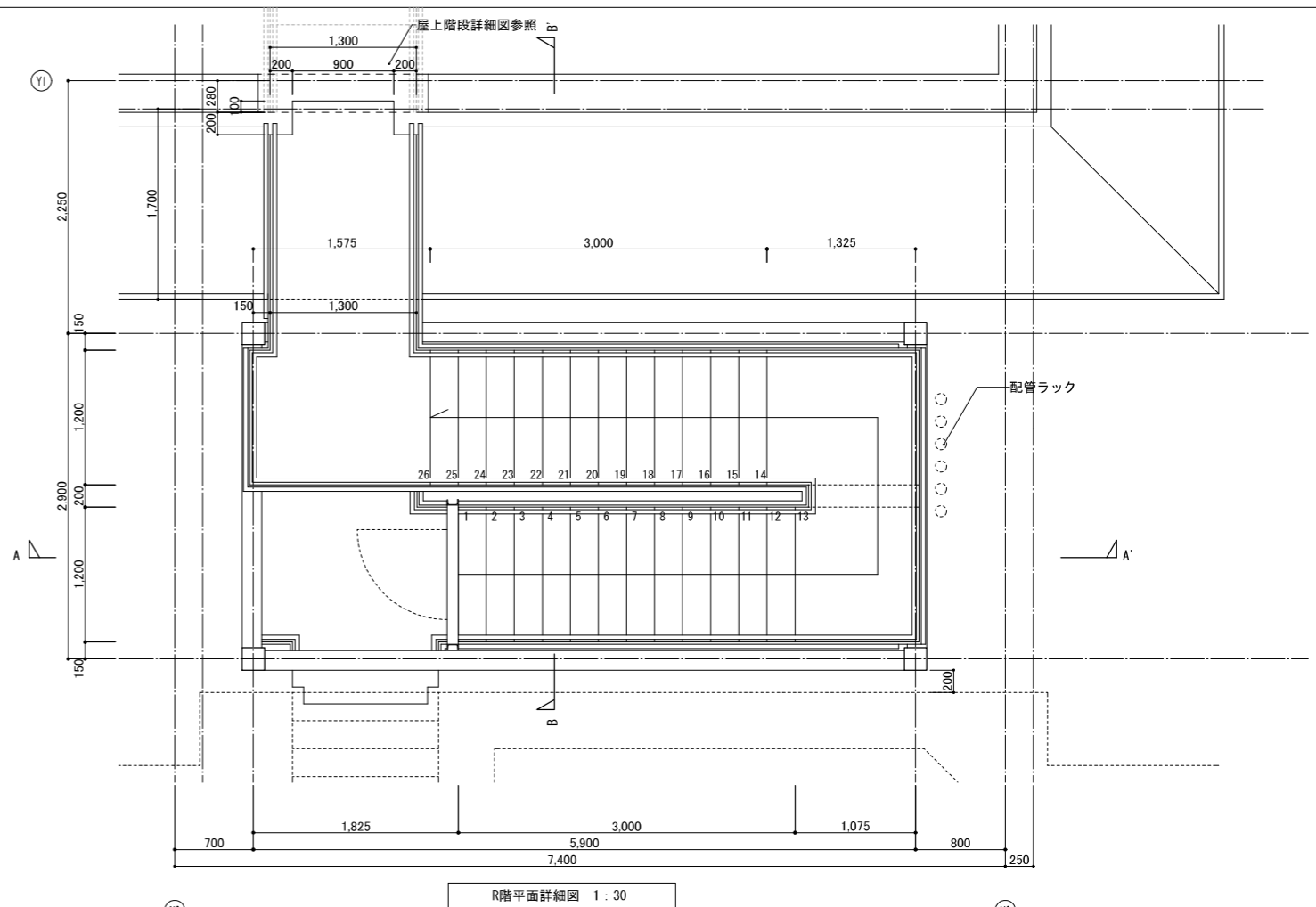
※見え掛りの鉄部はすべてSOP塗とする。



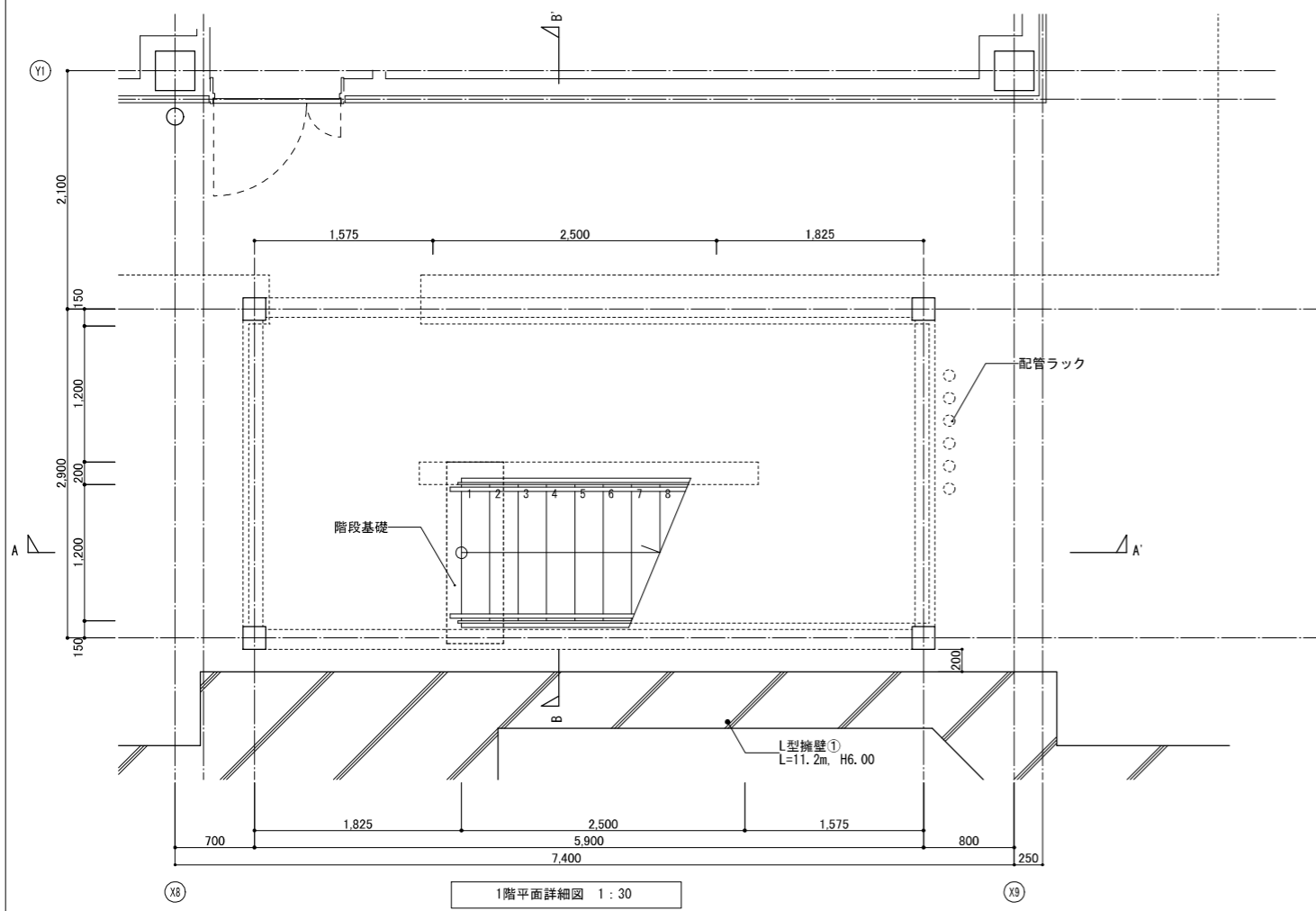
踏板部詳細図 1:10



2階平面詳細図 1:30



R階平面詳細図 1:30



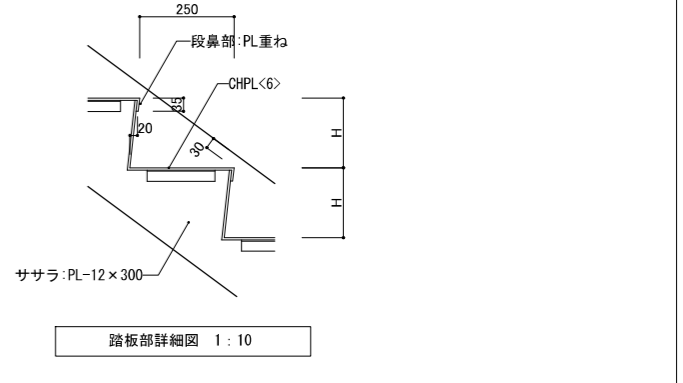
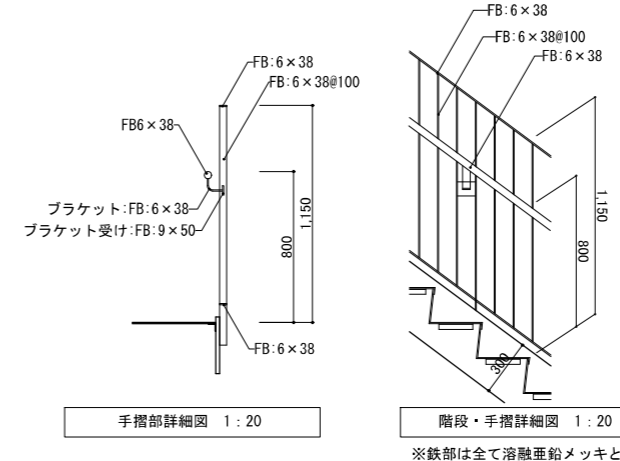
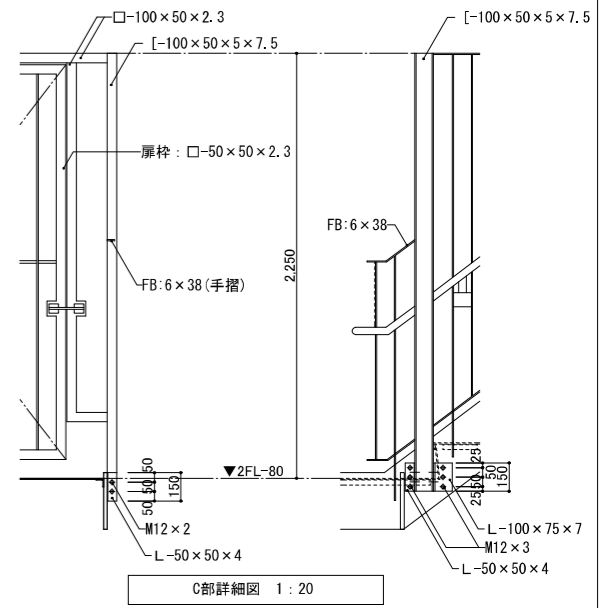
1階平面詳細図 1:30

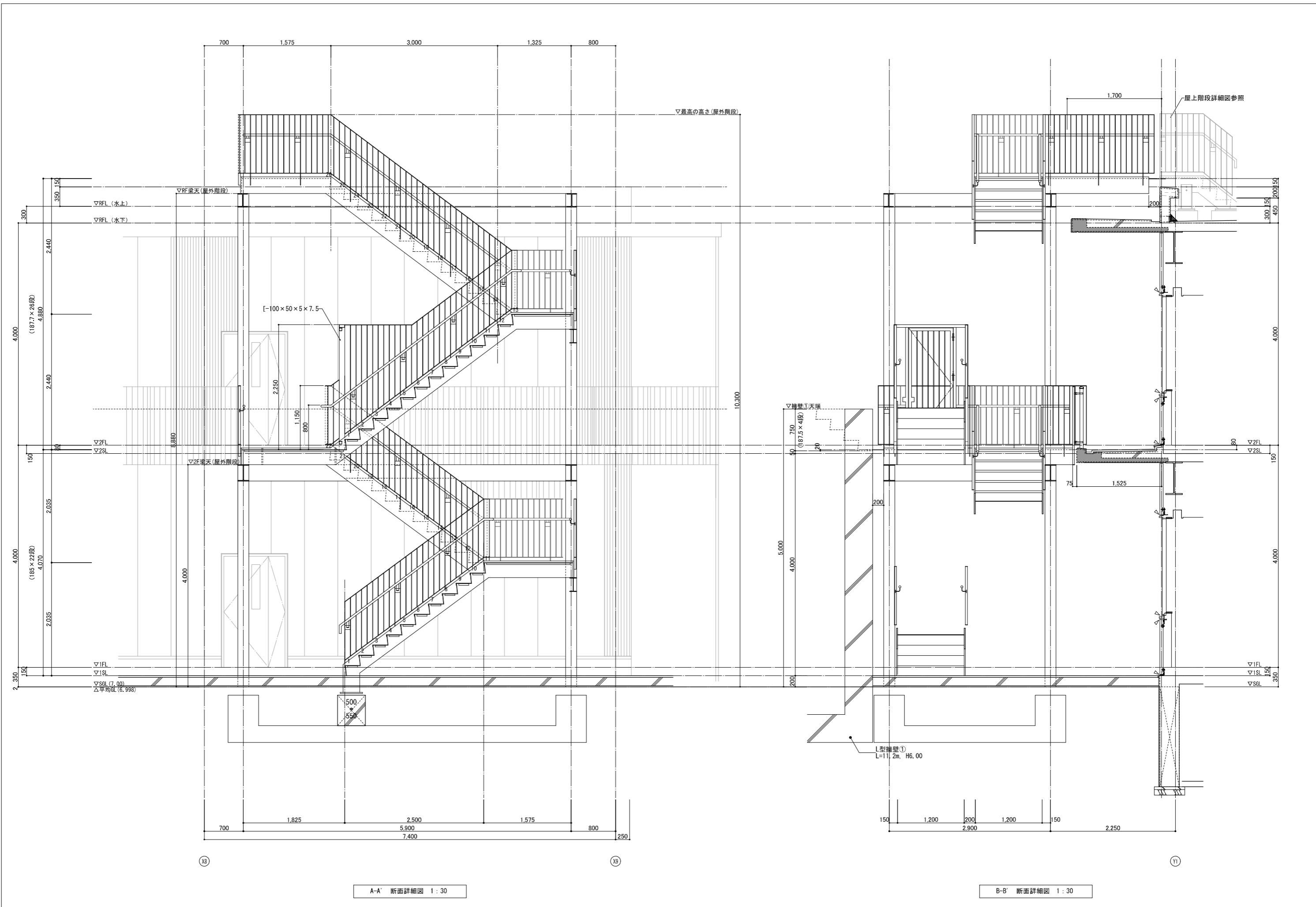
建具表 1:30

符号	位置	数量	形状
⊕		1	

形状

型式 | 見込(持見込) | 鋼製格子ドア
 材質・仕上 | 溶融亜鉛メッキ
 付随金物 | カンヌキ、掛け金、南京錠、SUST番
 備考 |





A-A' 断面詳細図 1 : 30

B-B' 断面詳細図 1 : 30

相州市看護専門学校建設工事設計図

屋外階段断面詳細図

令和 6 年 1 月

SCALE S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

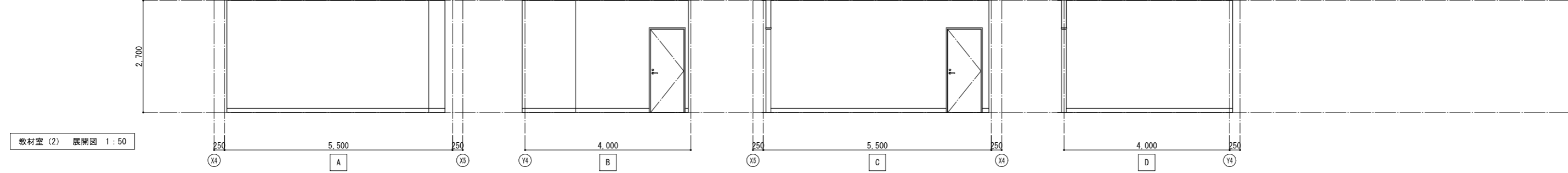
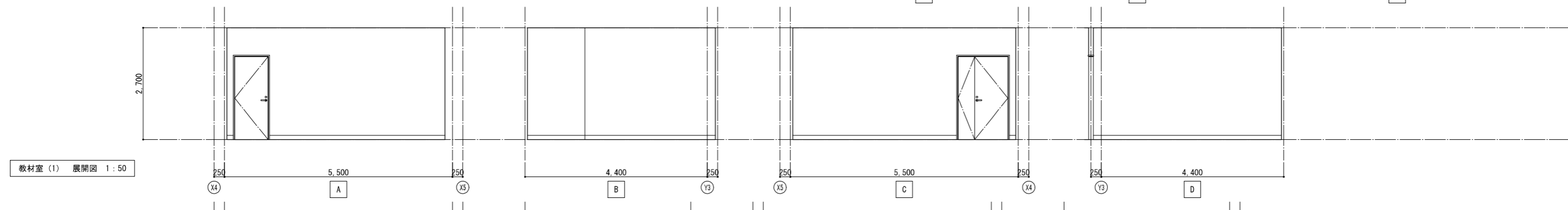
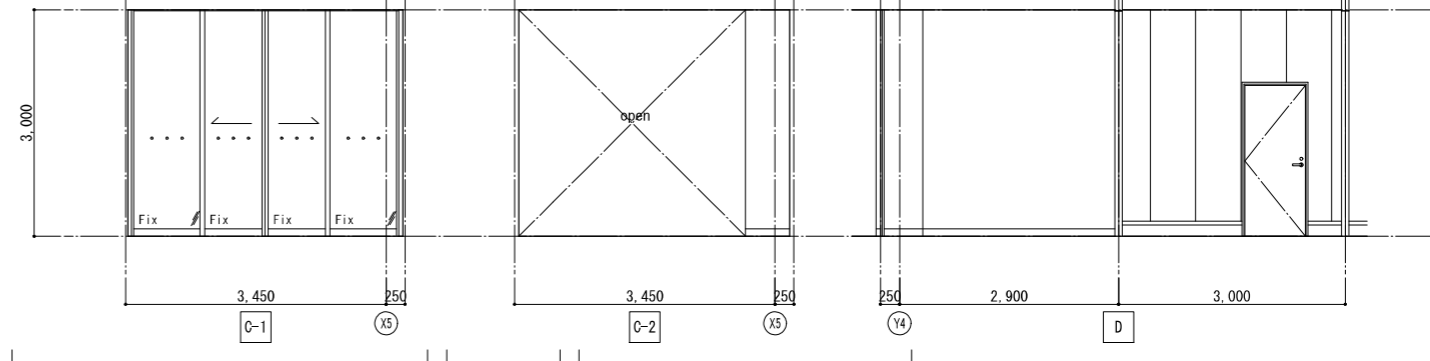
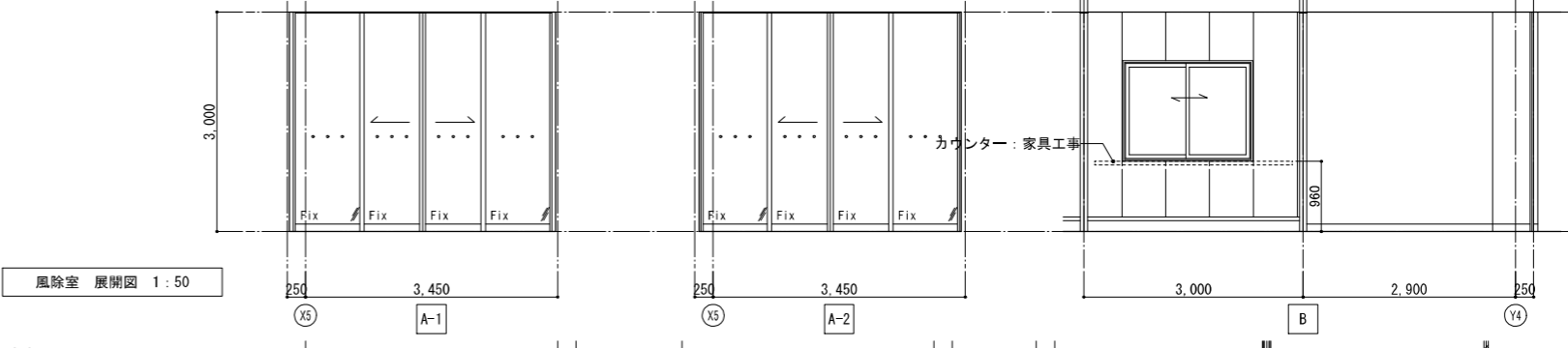
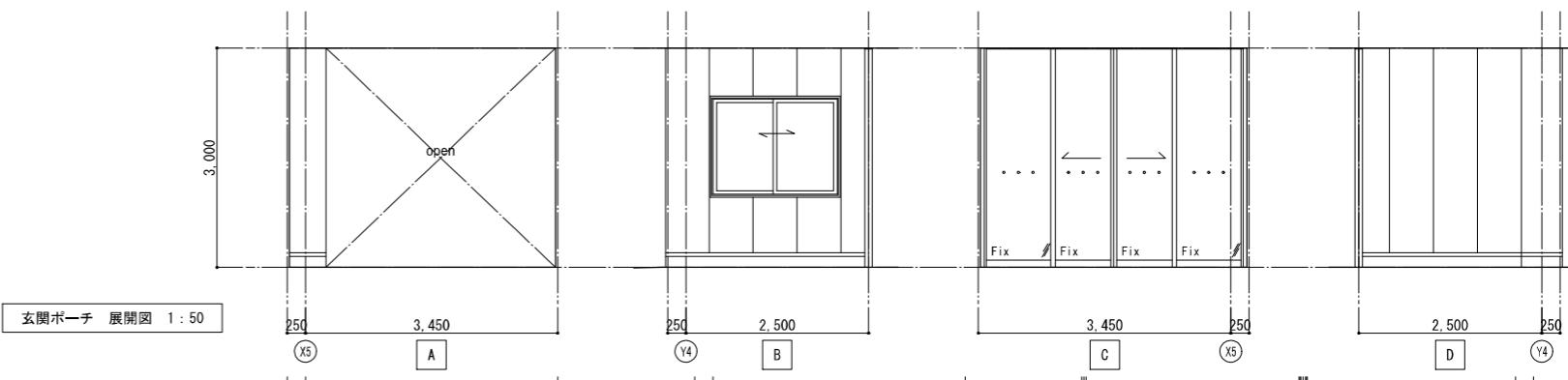
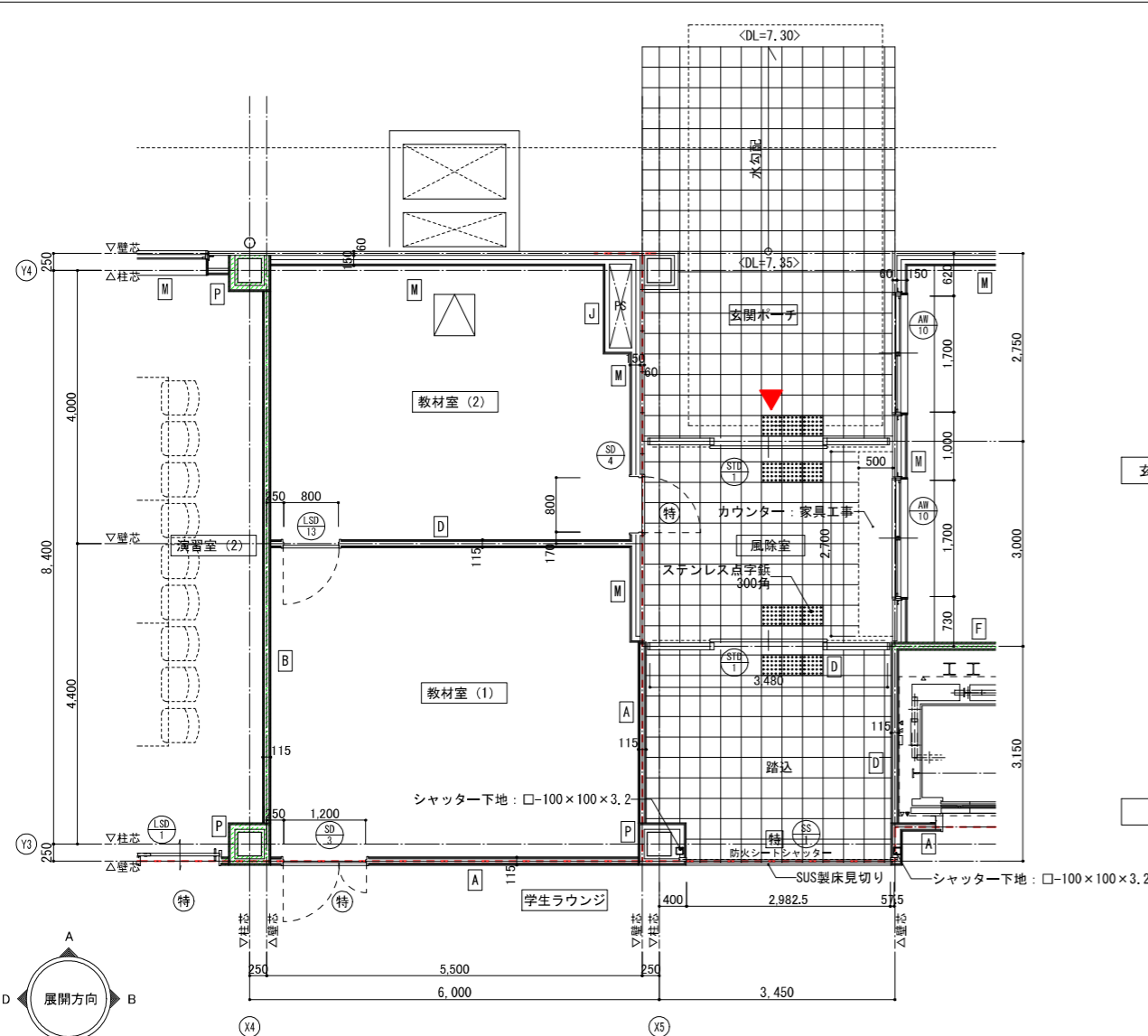
株式会社 小西建築設計事務所

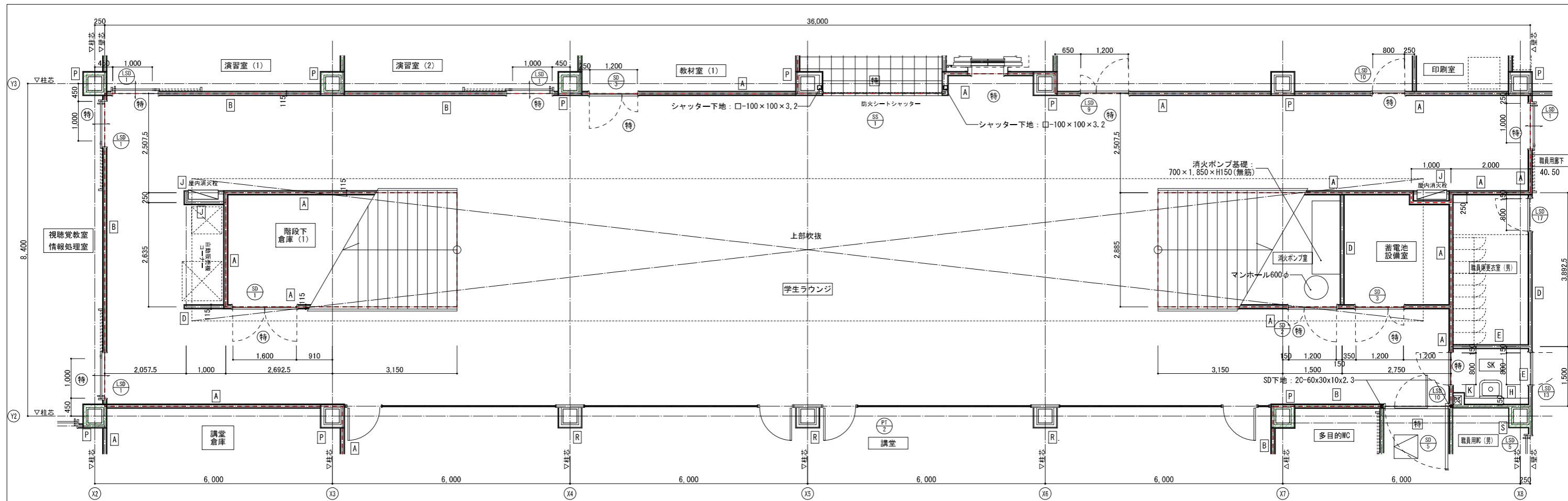
一般建築士事務所
兵庫県小野市上本町135-10小西ビル 小西 龍機
一般建築士登録 第21567号 構造設計一般建築士 第2702号

PrjNo

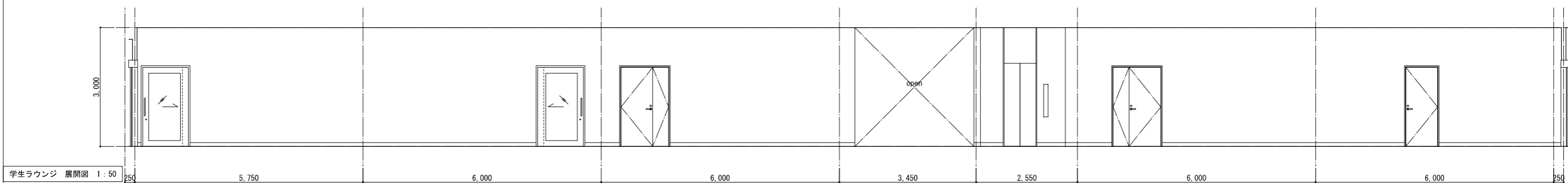
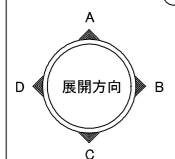
Drawn

A-038

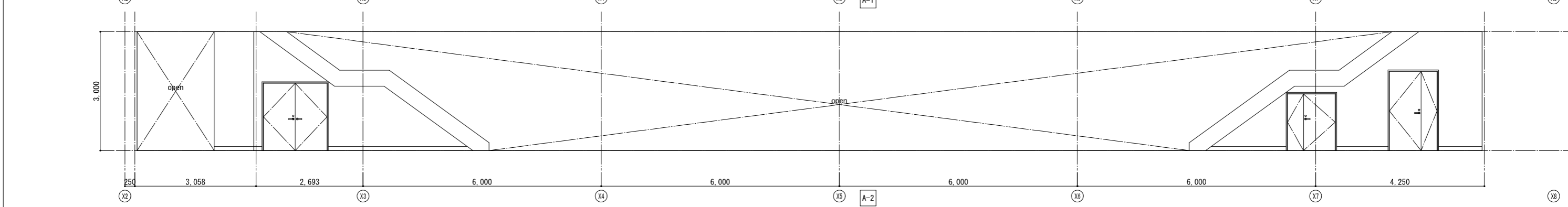


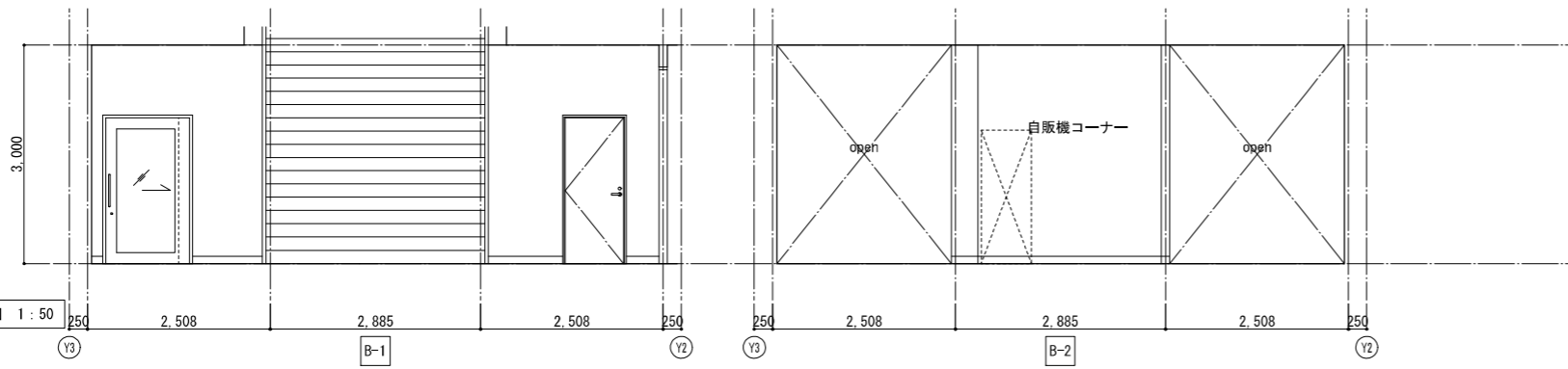


学生ラウンジ周り 平面詳細図 1:50

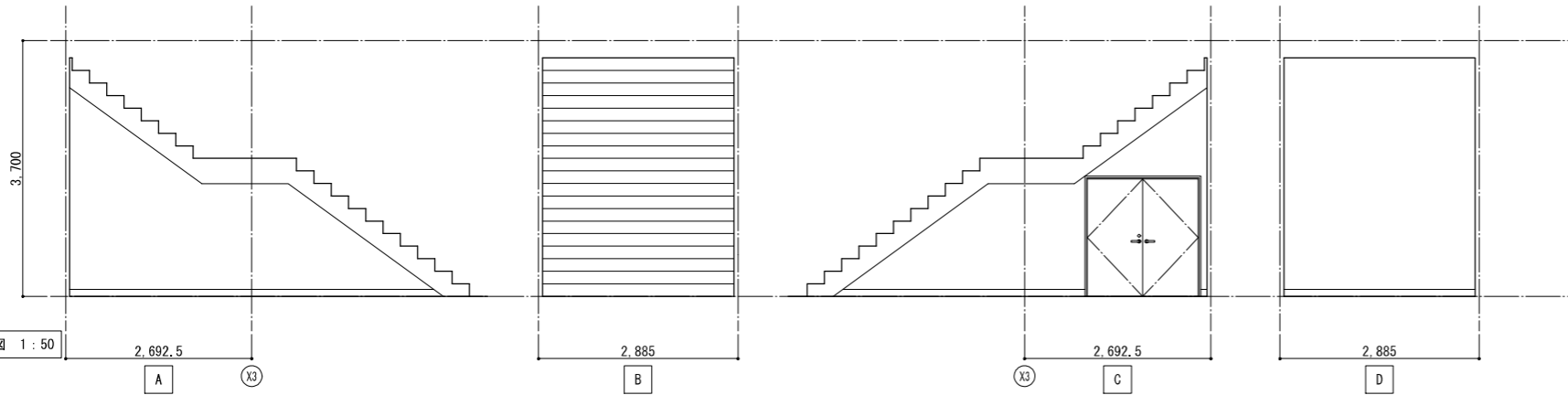
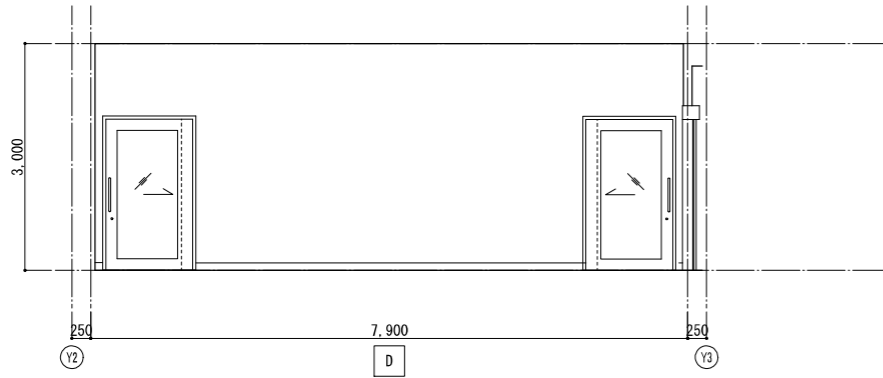
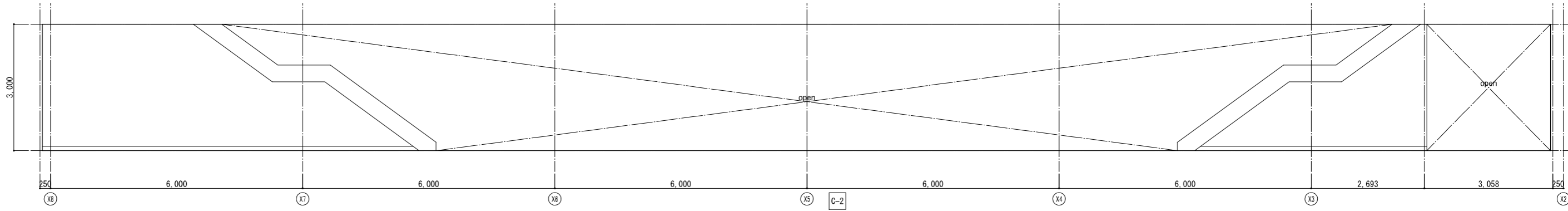
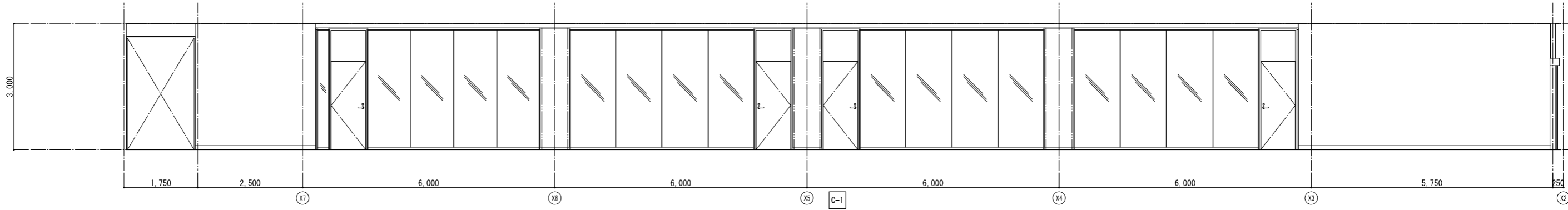


学生ラウンジ 展開図 1:50

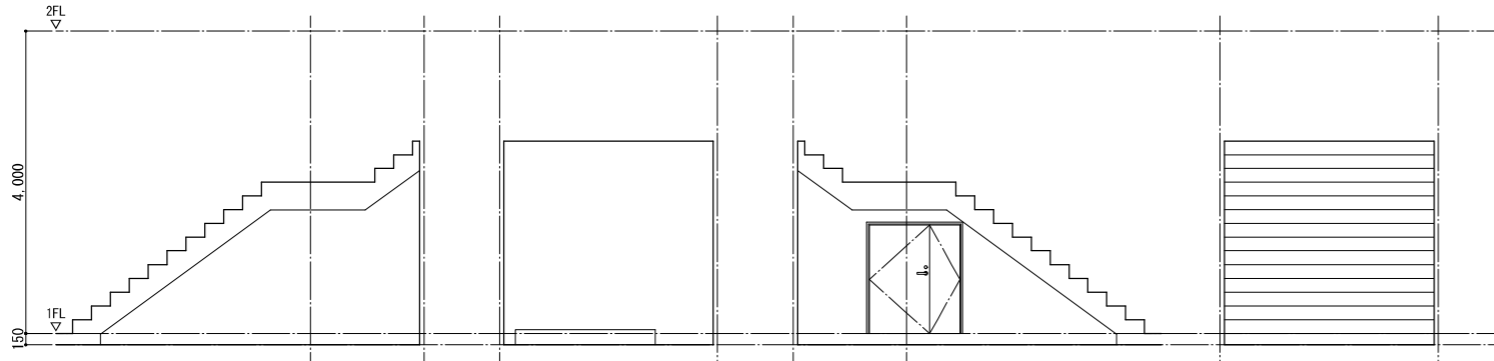




学生ラウンジ 展開図 1:50

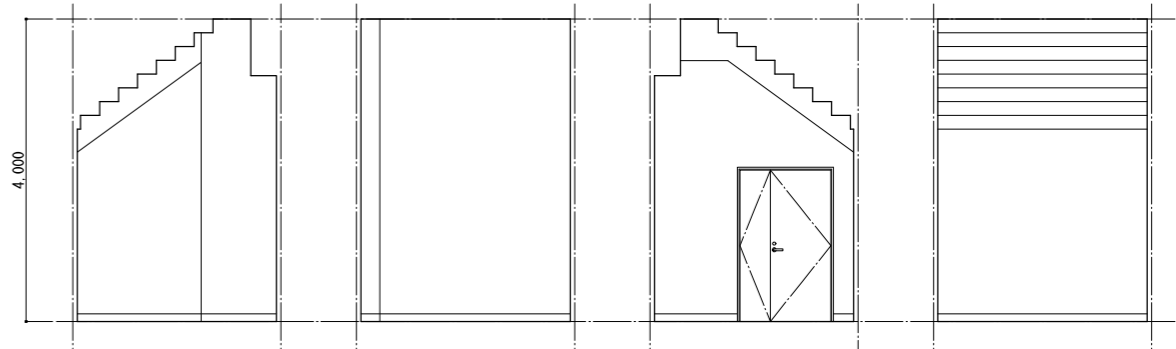


階段下倉庫(1) 展開図 1:50



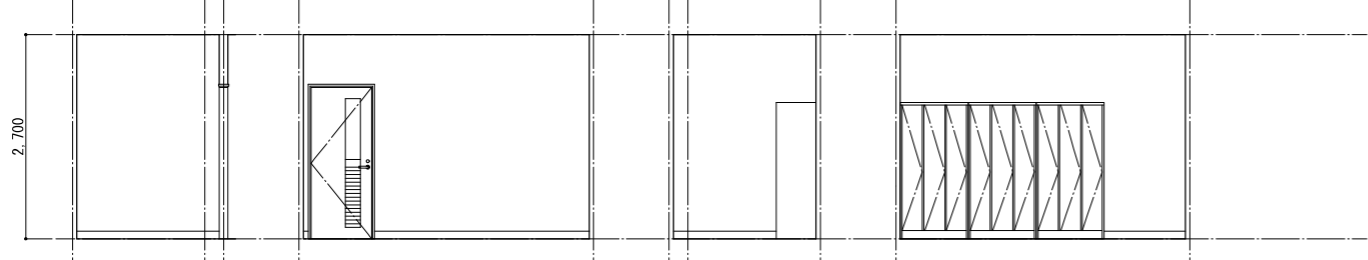
消火ポンプ室 展開図 1:50

1,500 2,885 1,500 2,885
 A B C D
 X7 X7



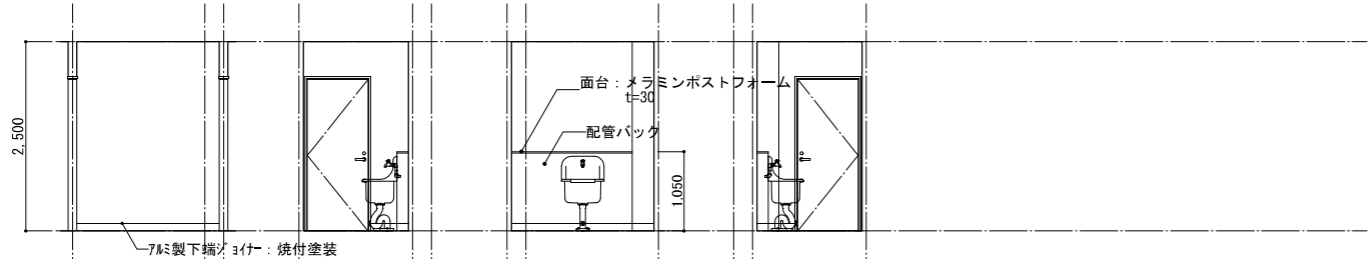
蓄電池設備室 展開図 1:50

2,750 2,885 2,750 2,885
 A B C D
 X7 X7



職員用更衣室(男) 展開図 1:50

1,750 250 3,892.5 250 1,750 3,892.5
 A B C D
 X8 X8



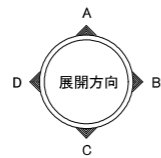
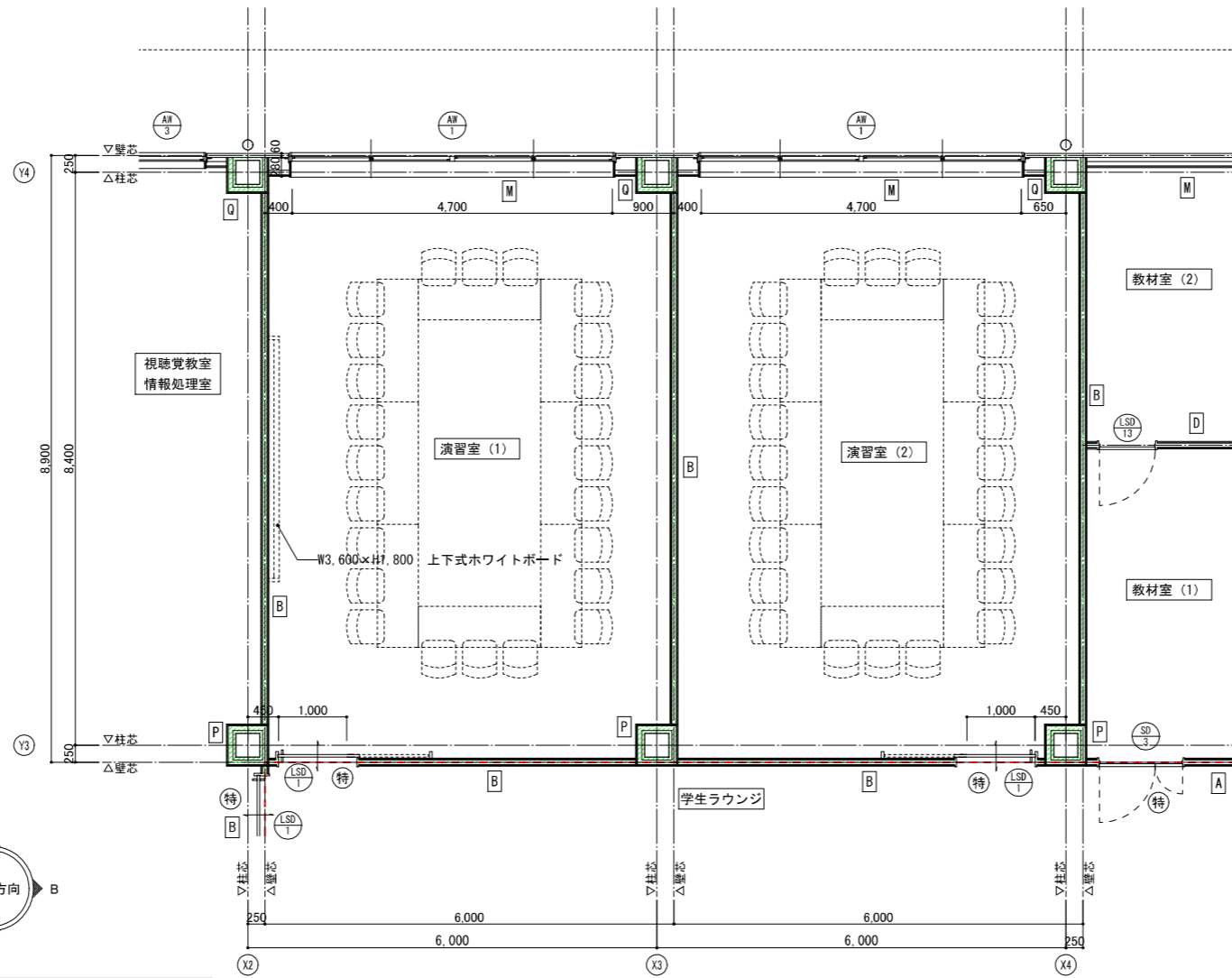
SK 展開図 1:50

1,750 250 1,500 250 250 1,750 250 1,500
 A B C D
 X8 Y2 X8 Y2

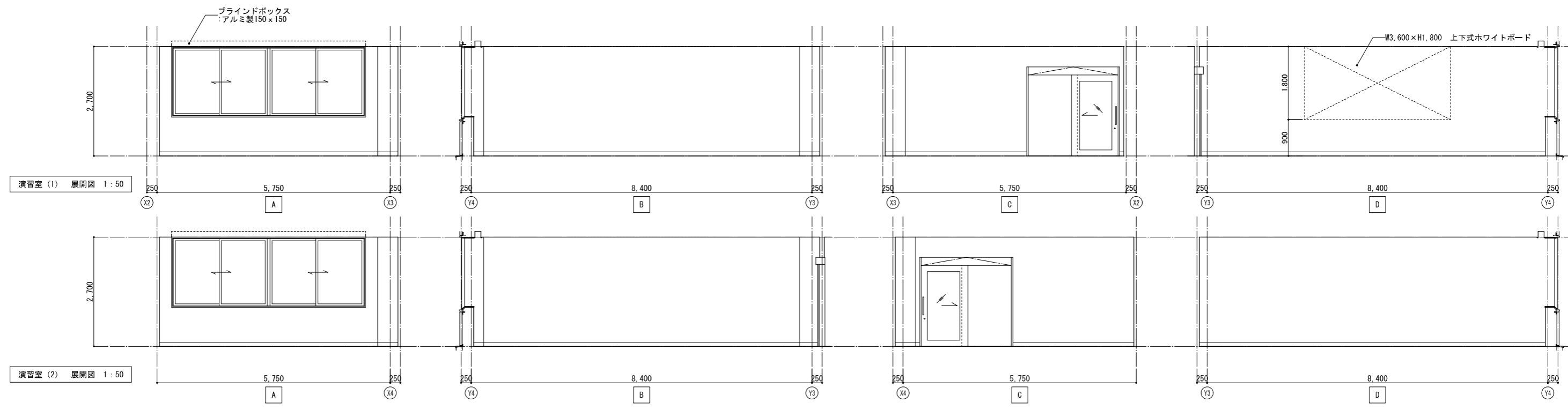
7mm製下端ジョイナー:焼付塗装

面台:メラミンポストフォーム t=30
 配管バック

1,080

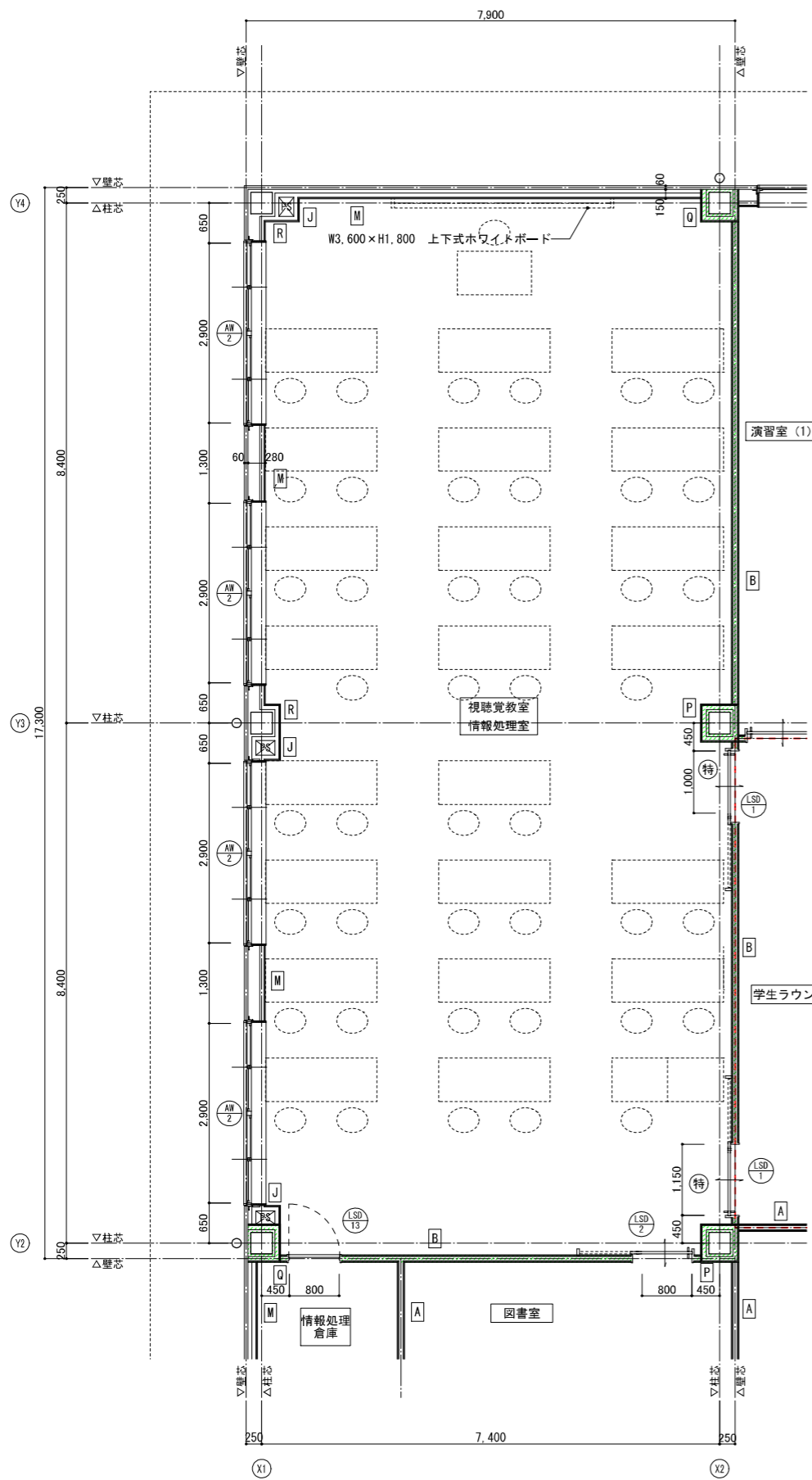


1階演習室 平面詳細図 1:50

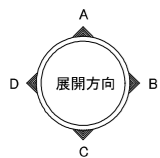


演習室 (1) 展開図 1:50

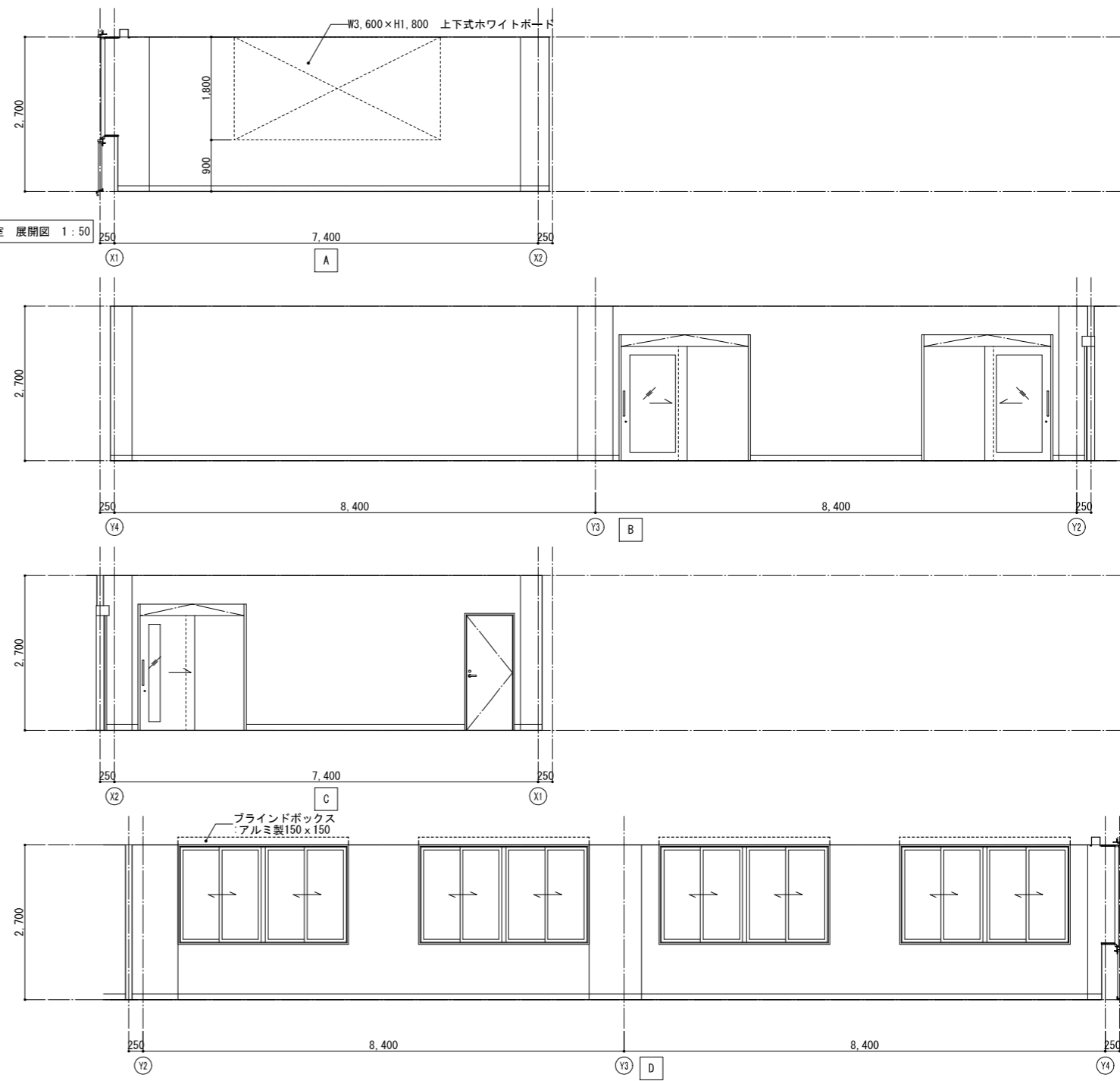
演習室 (2) 展開図 1:50

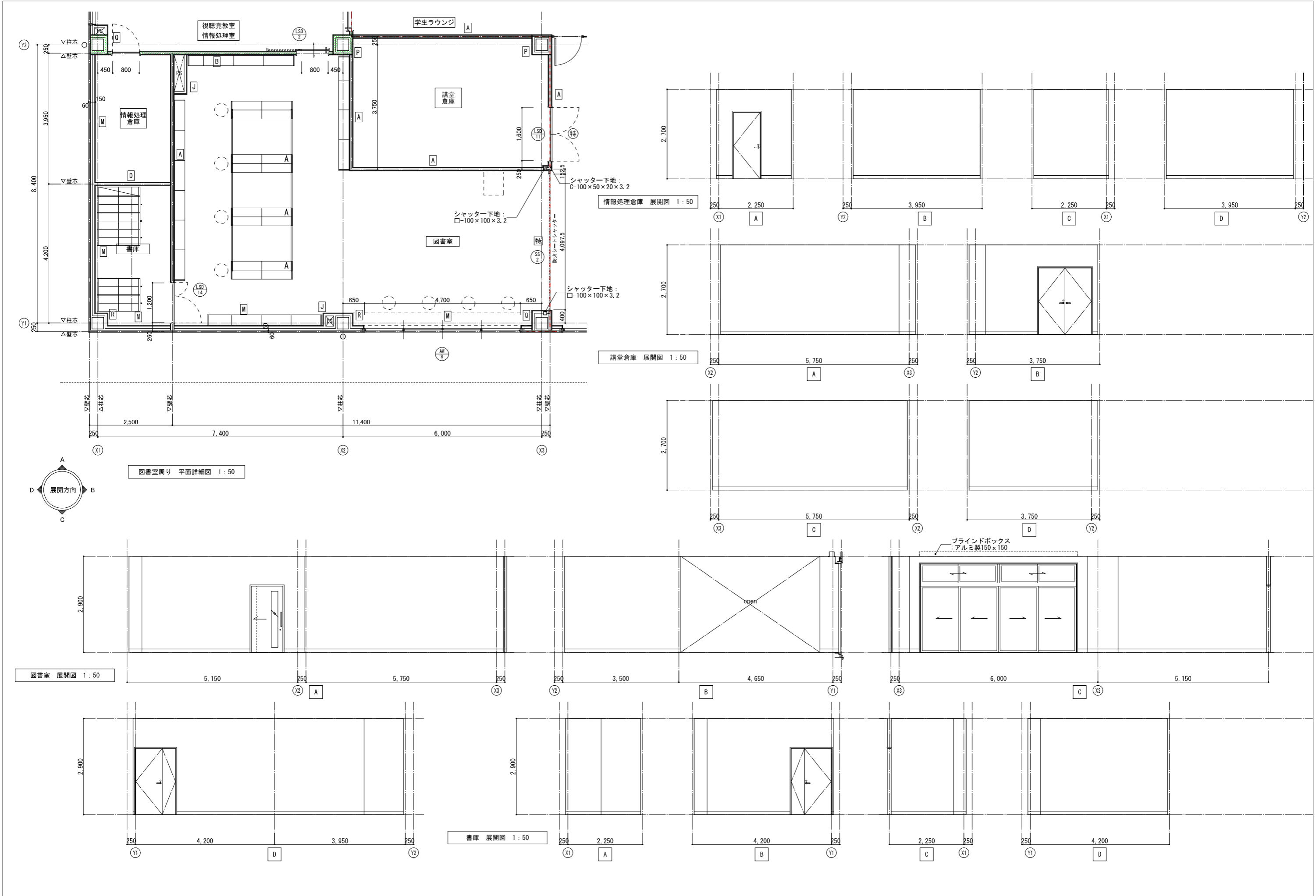


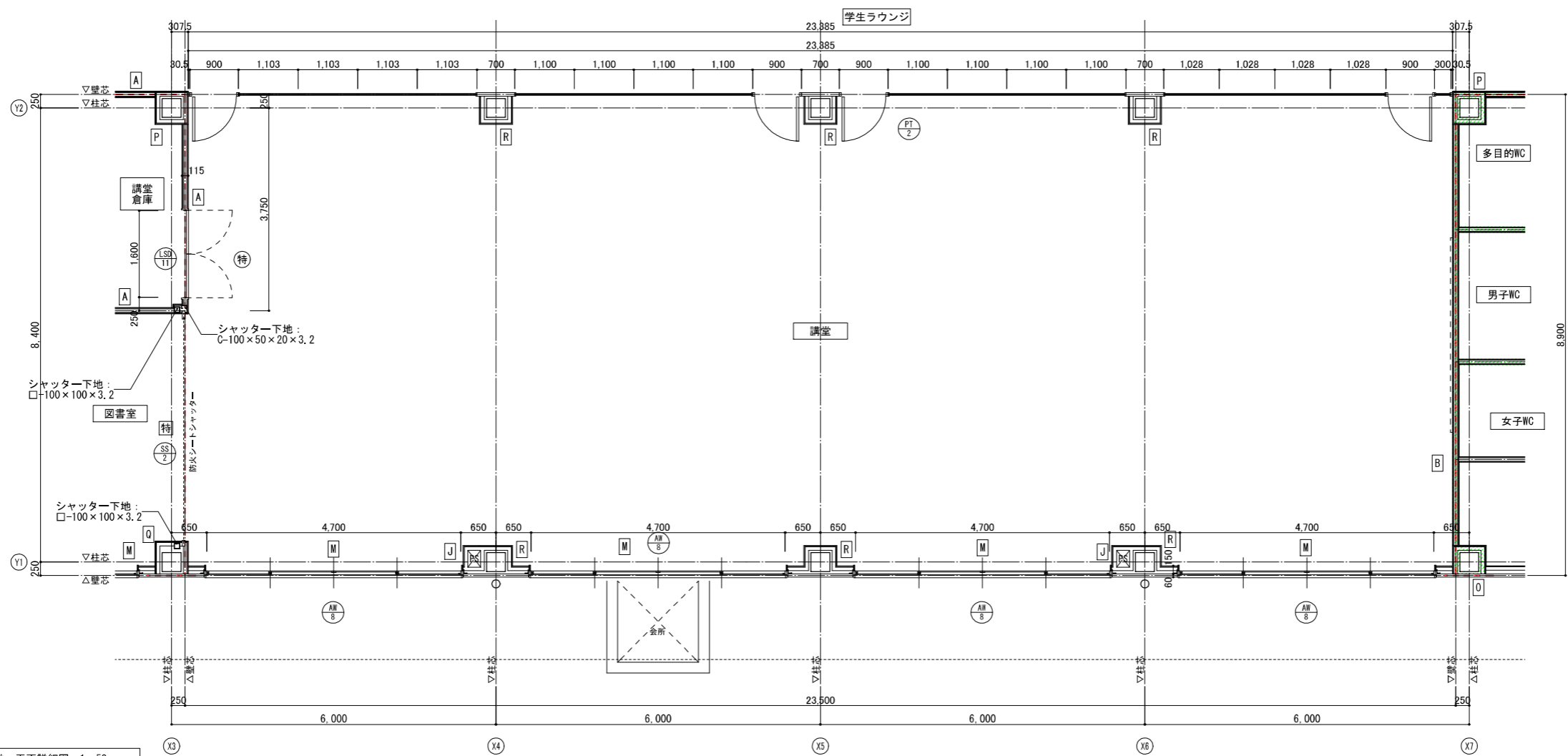
視聴覚教室・情報処理室 平面詳細図 1:50



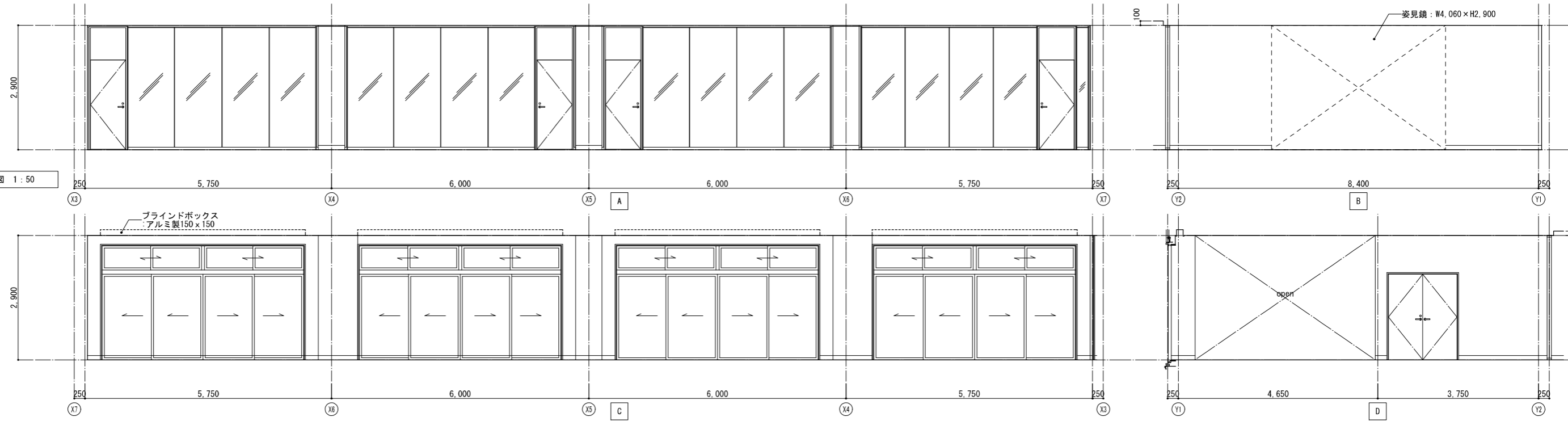
視聴覚教室・情報処理室 展開図 1:50



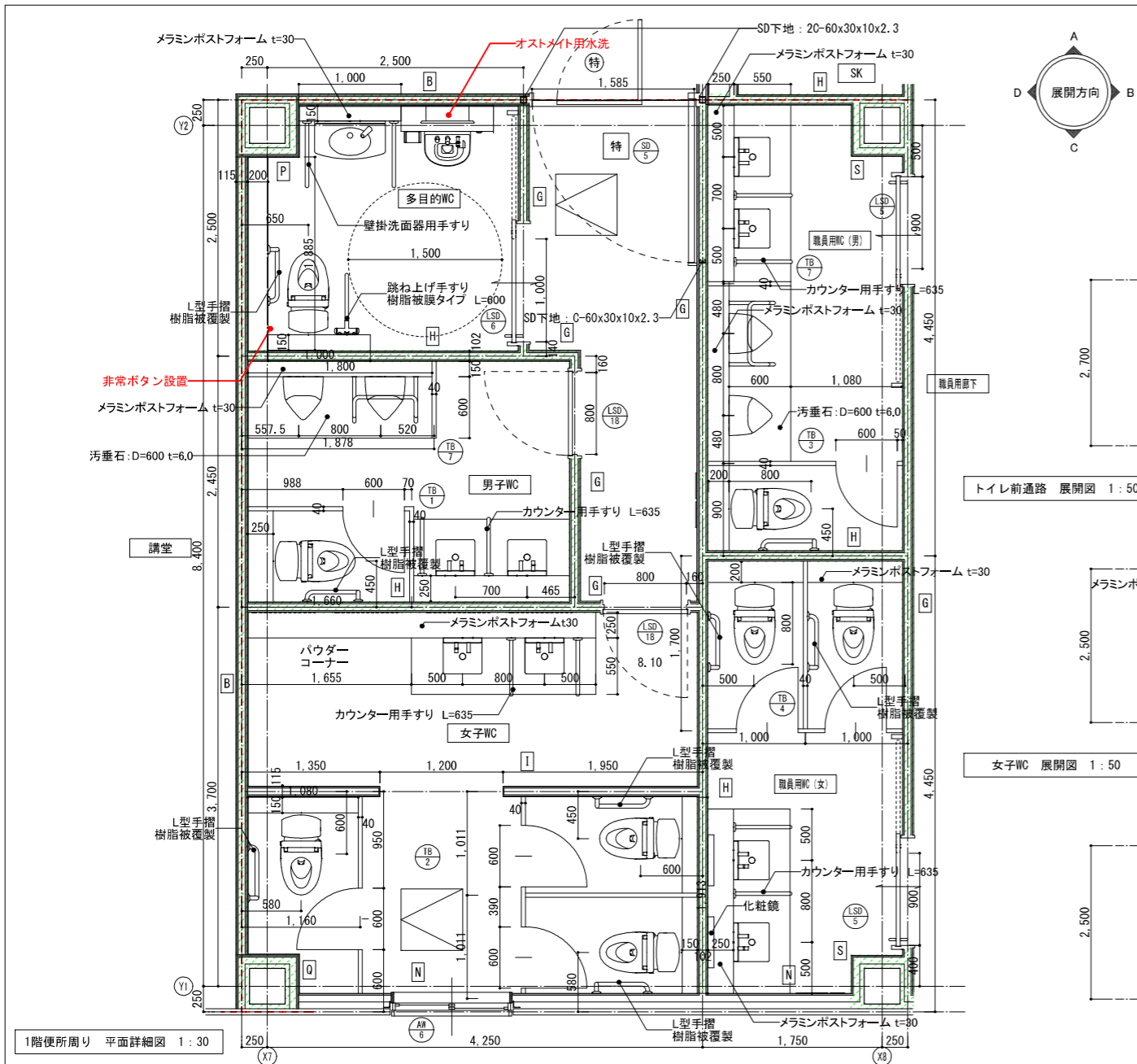




講堂 平面詳細図 1:50

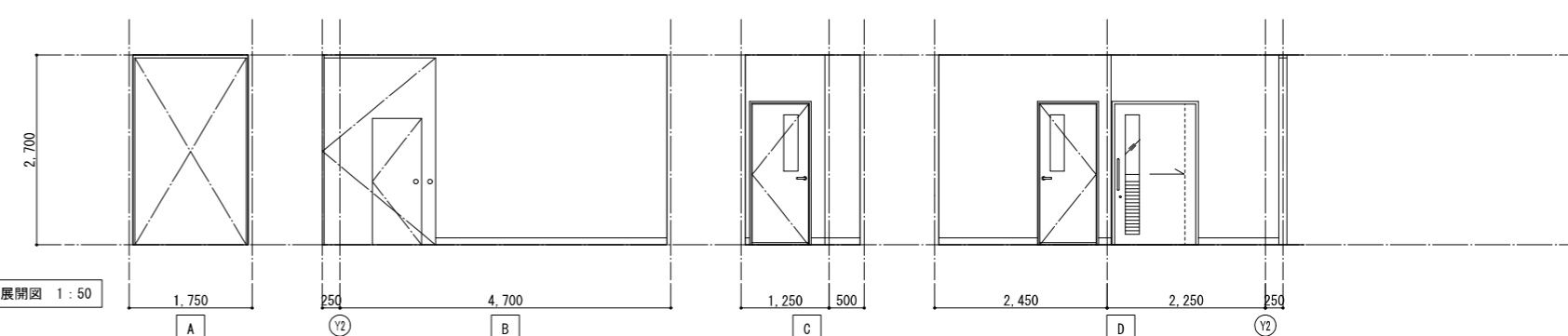


講堂 展開図 1:50

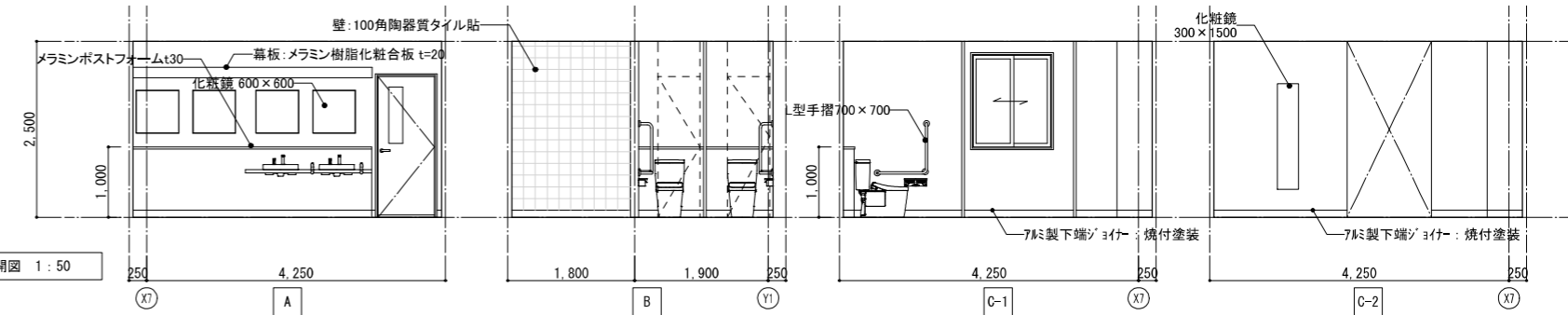


1階便所周り 平面詳細図 1:30

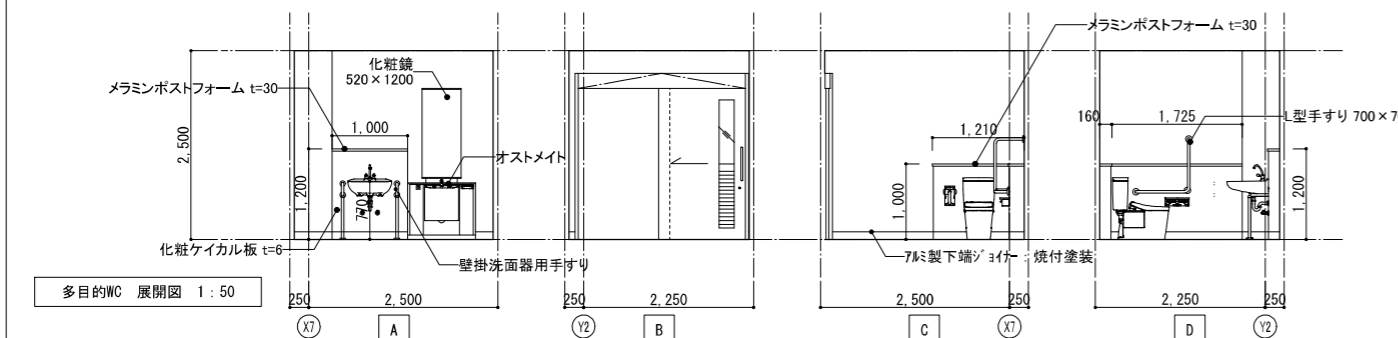
トイレ前通路 展開図 1:50



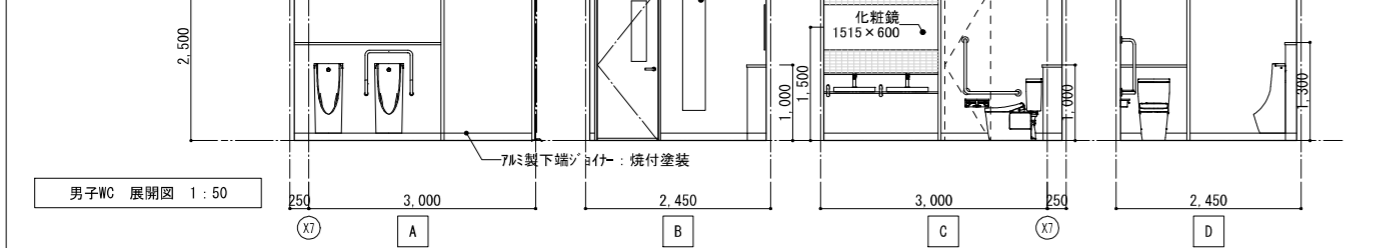
女子WC 展開図 1:50



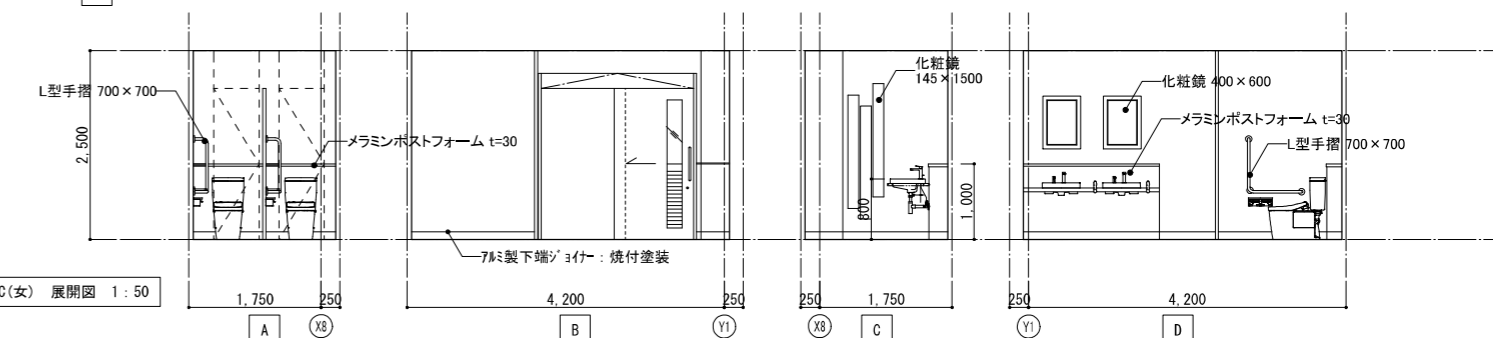
多目的WC 展開図 1:50



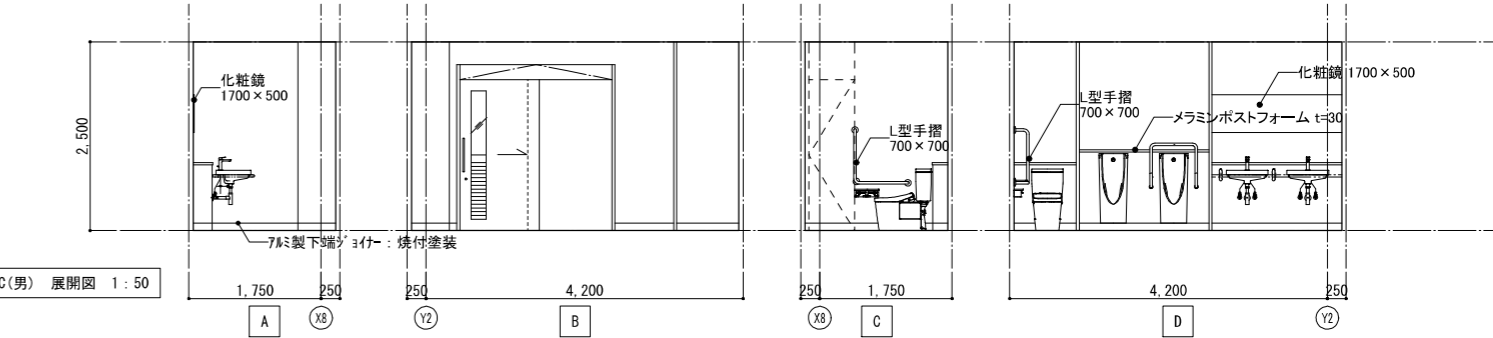
男子WC 展開図 1:50

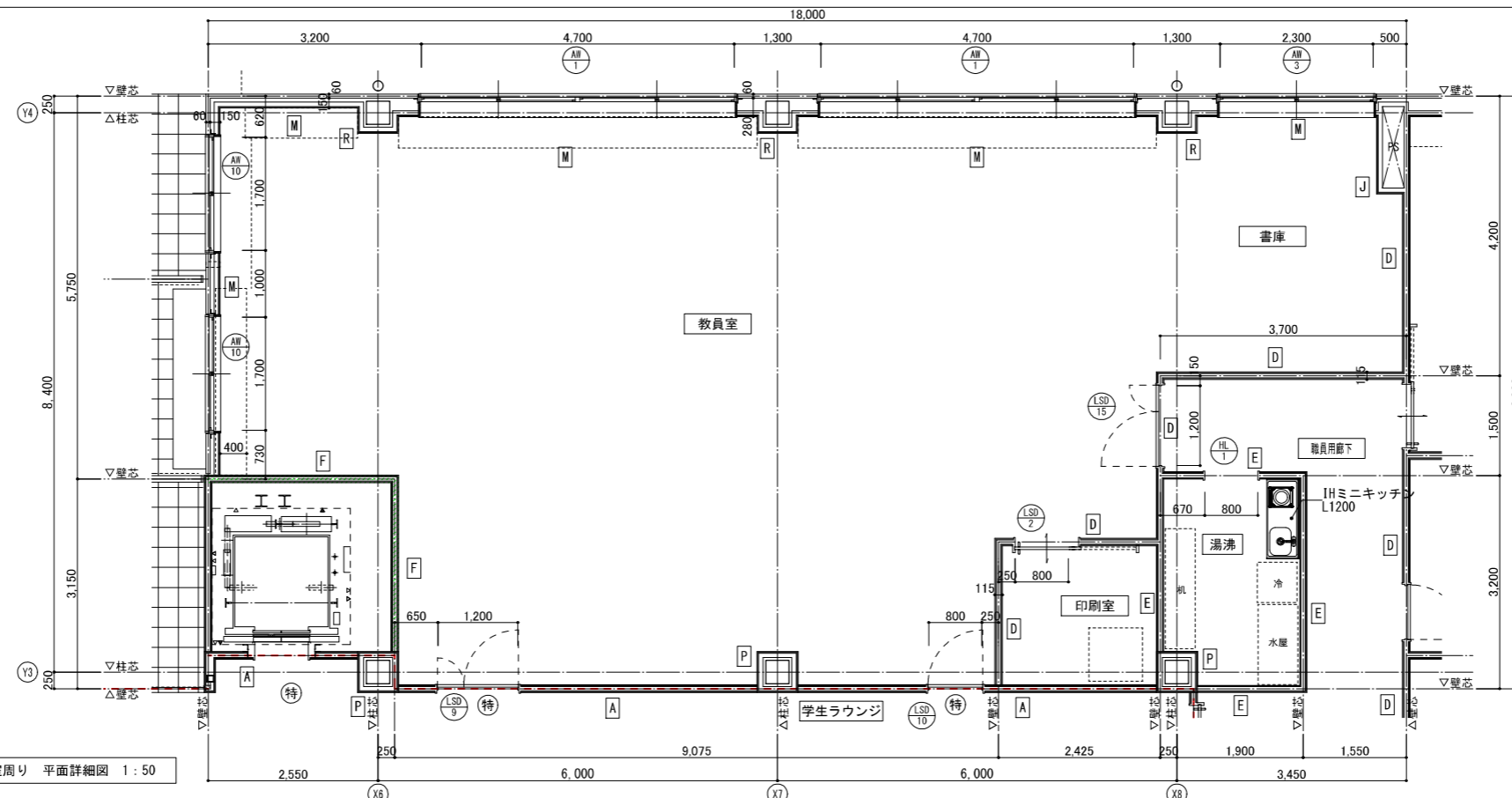


職員用WC(女) 展開図 1:50

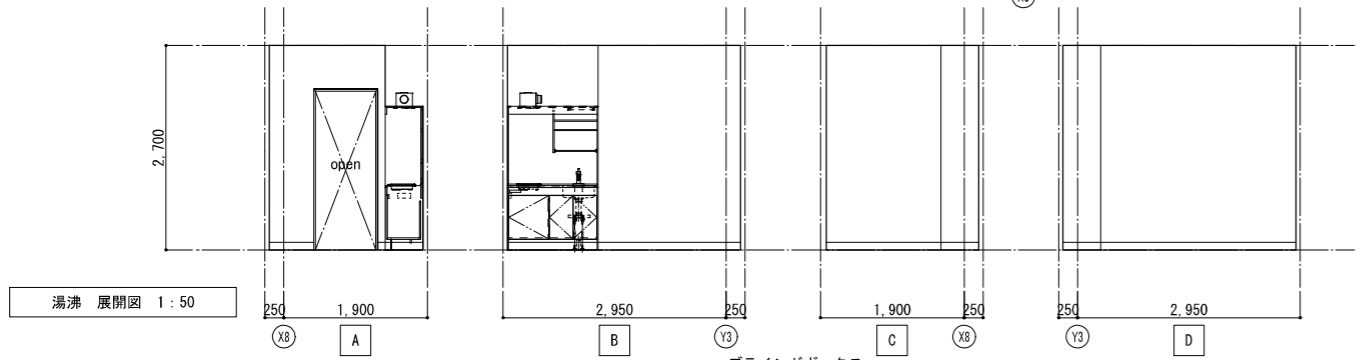
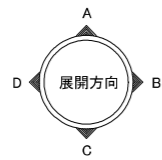


職員用WC(男) 展開図 1:50

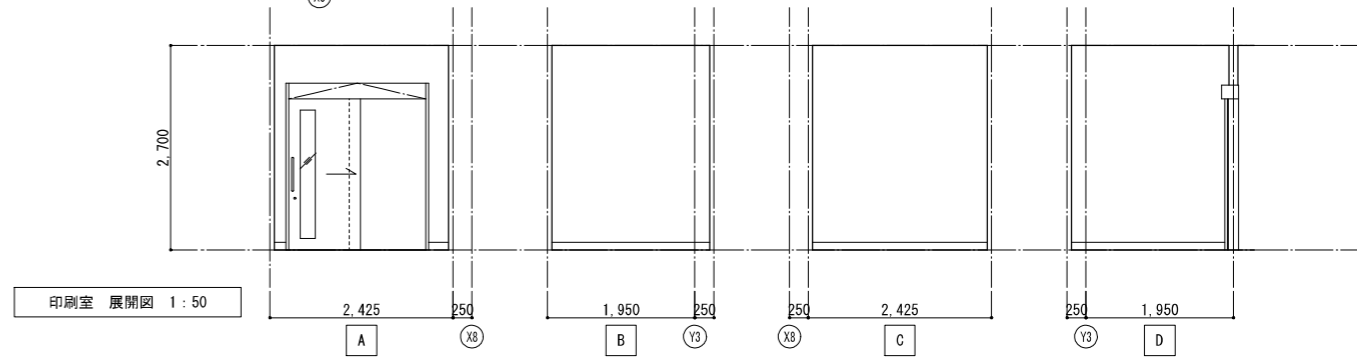




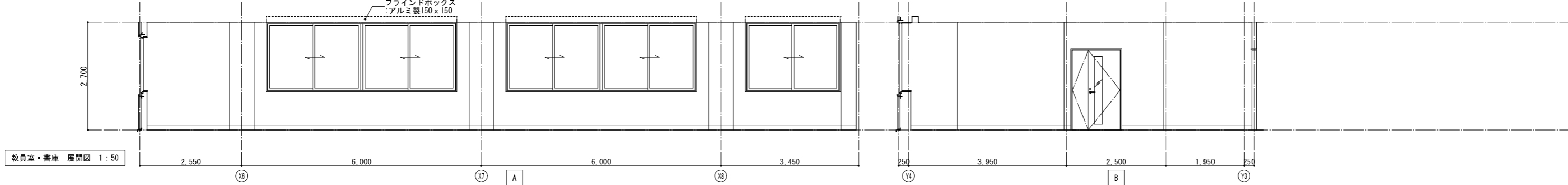
教員室周り 平面詳細図 1:50



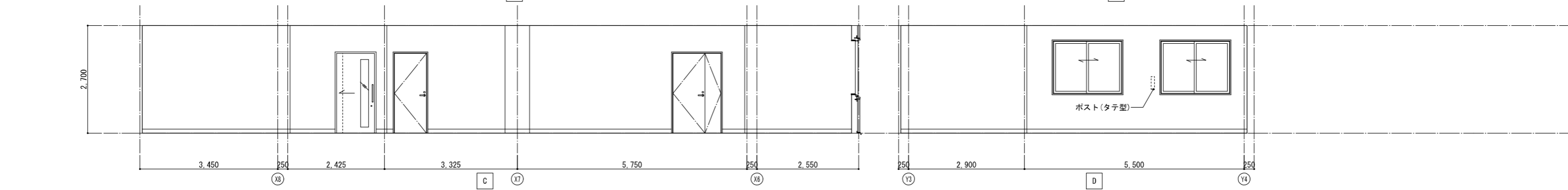
湯沸 展開図 1:50

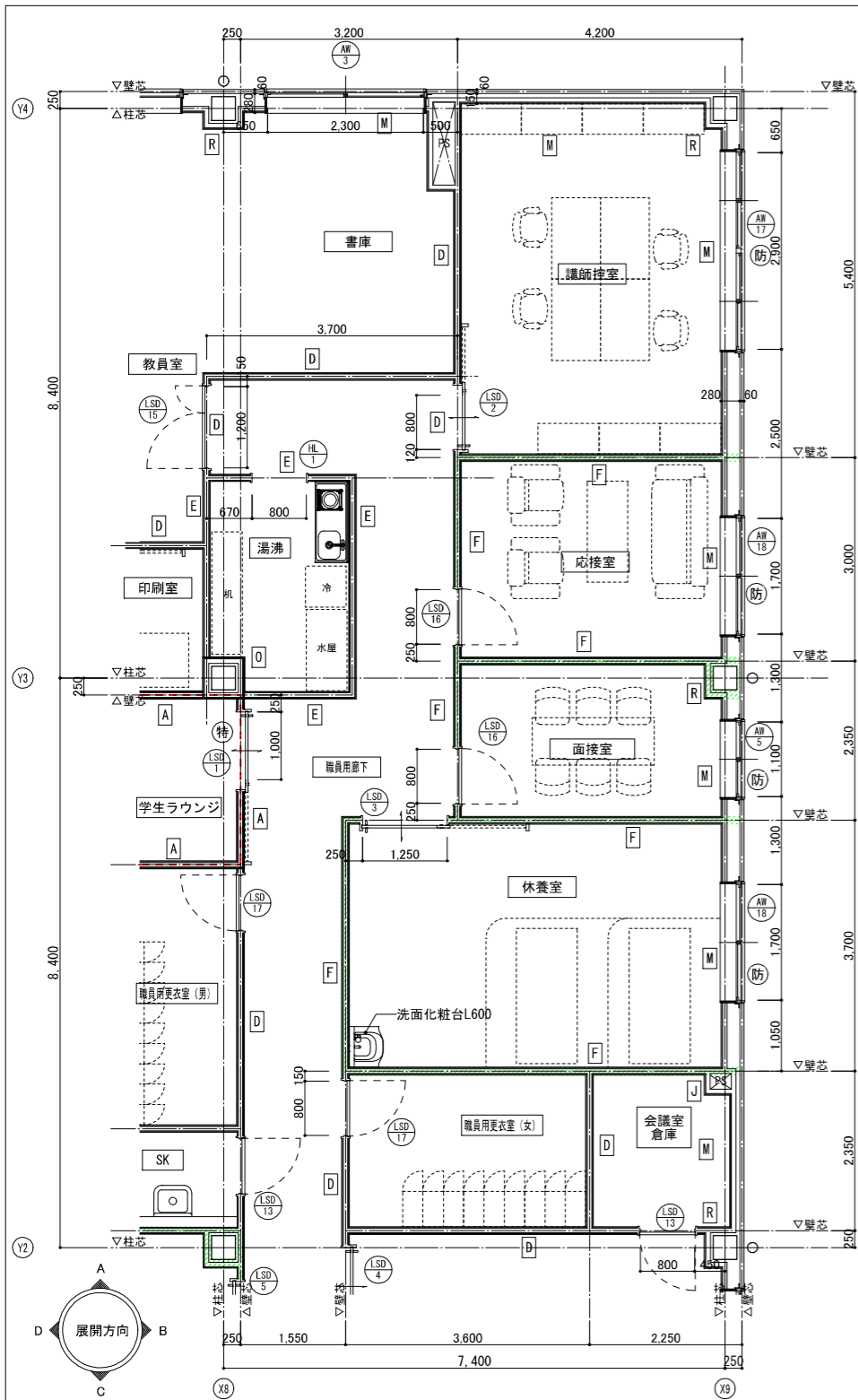


印刷室 展開図 1:50

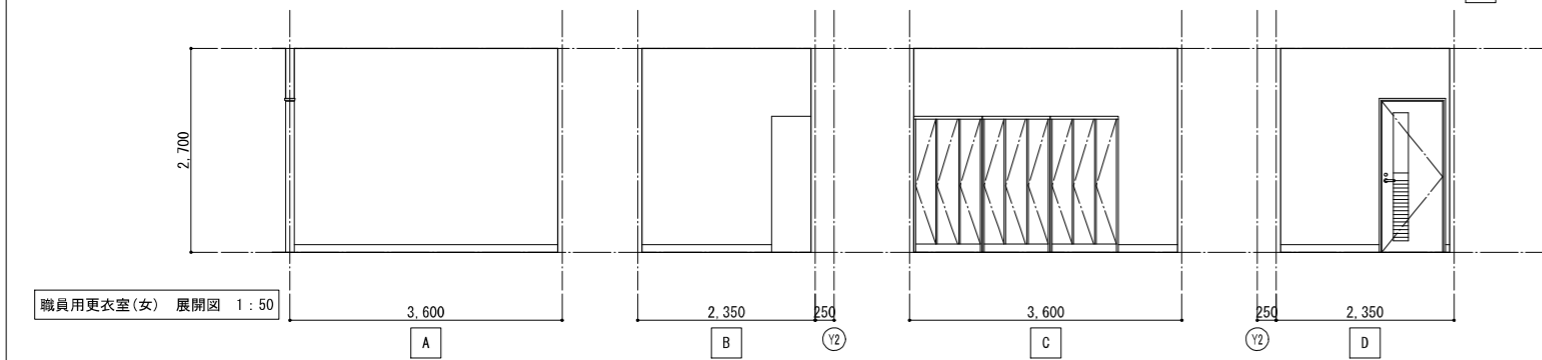


教員室・図書 展開図 1:50

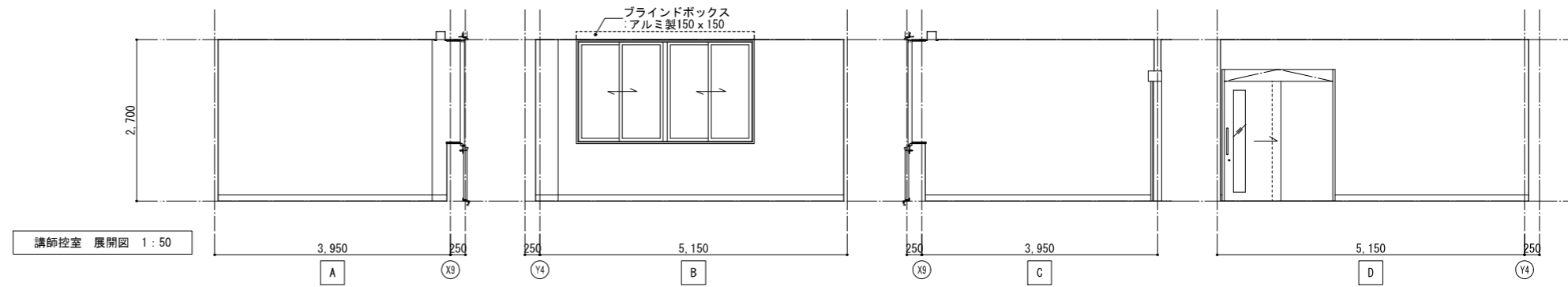




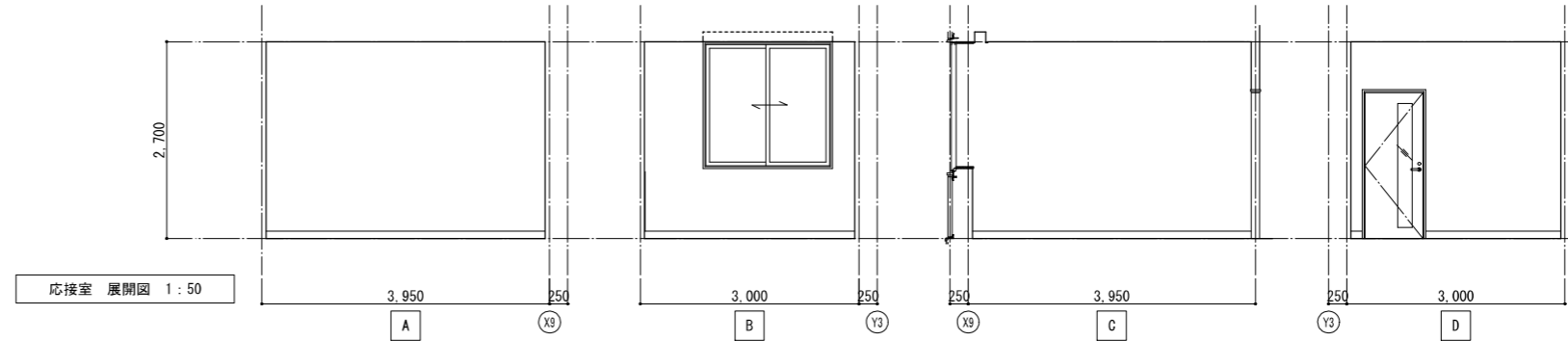
講師控室周り 平面詳細図 1:50



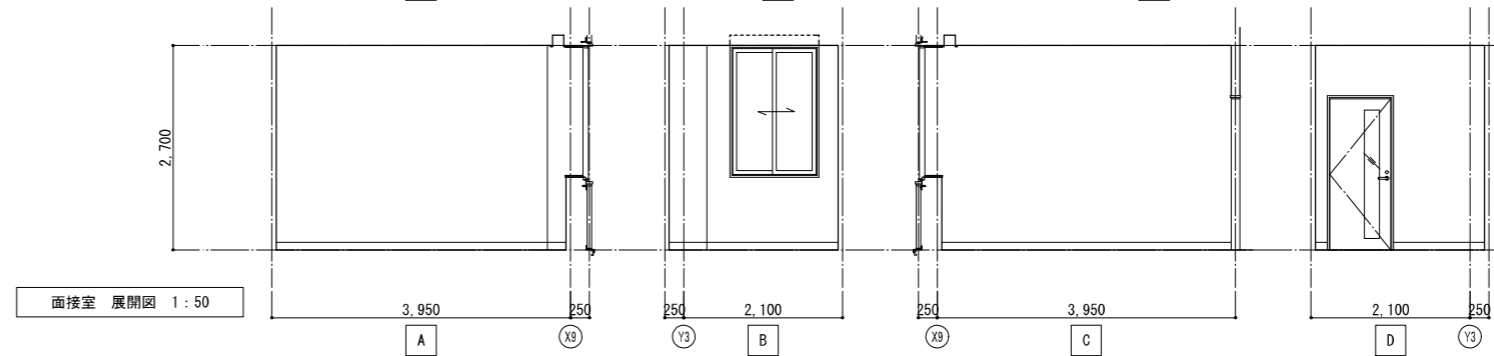
職員用更衣室(女) 展開図 1:50



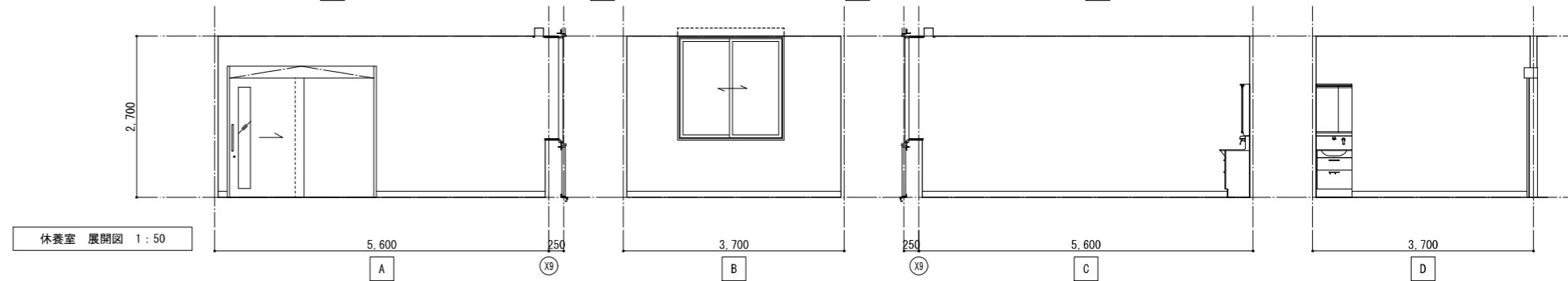
講師控室 展開図 1:50



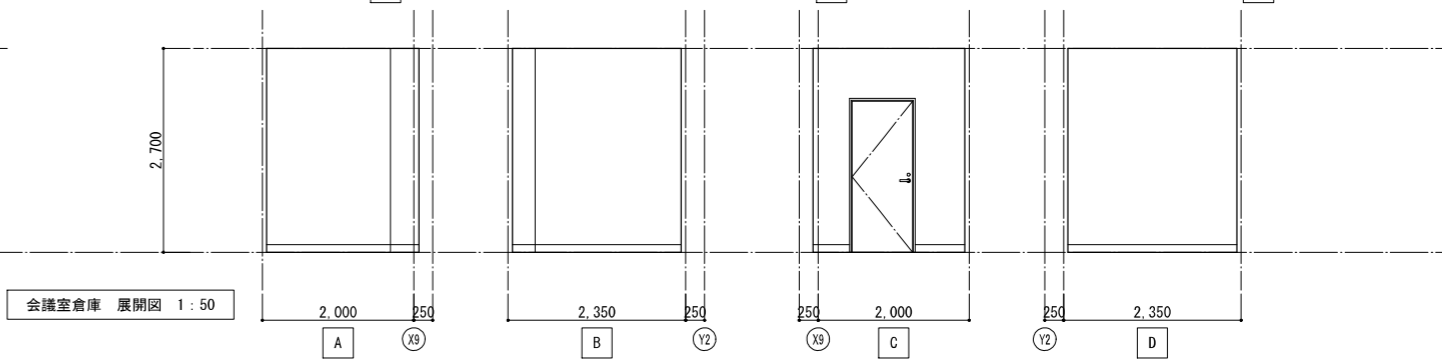
応接室 展開図 1:50



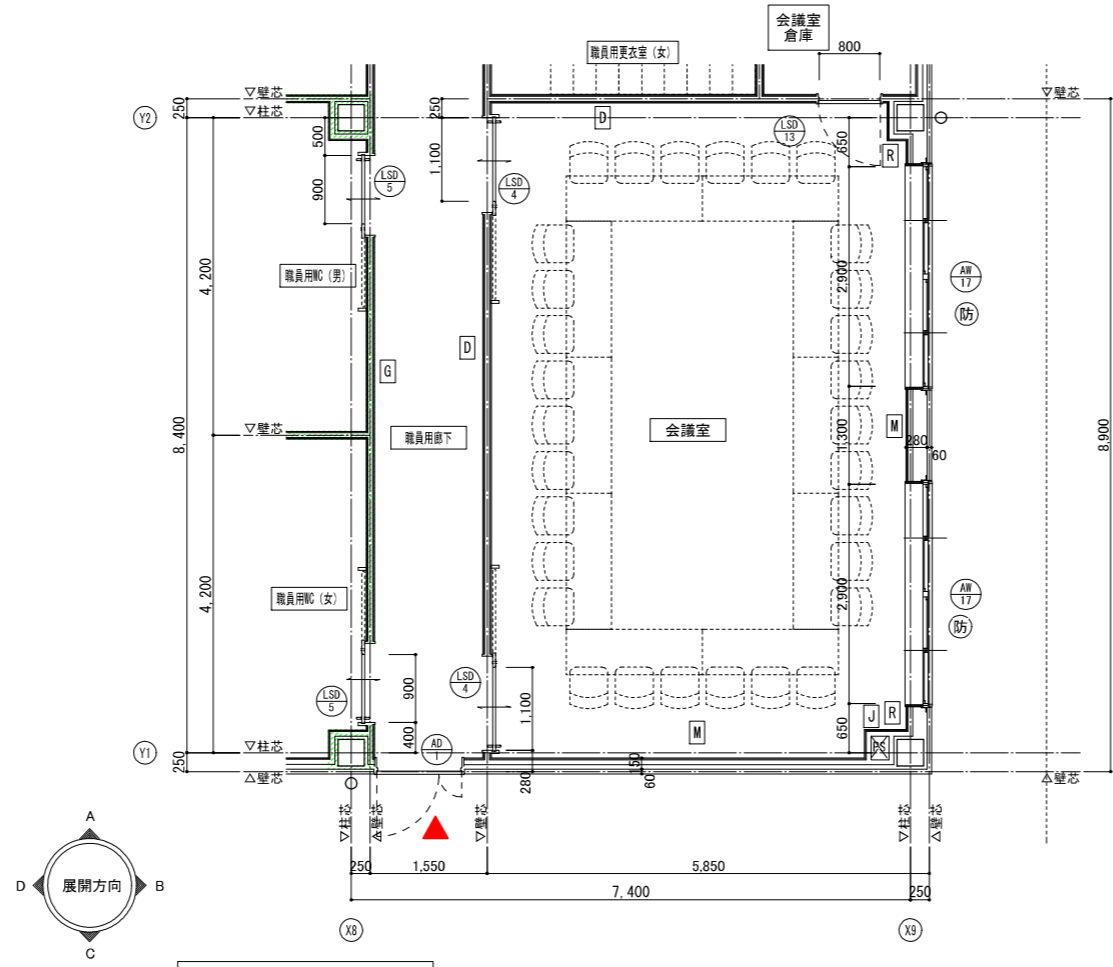
面接室 展開図 1:50



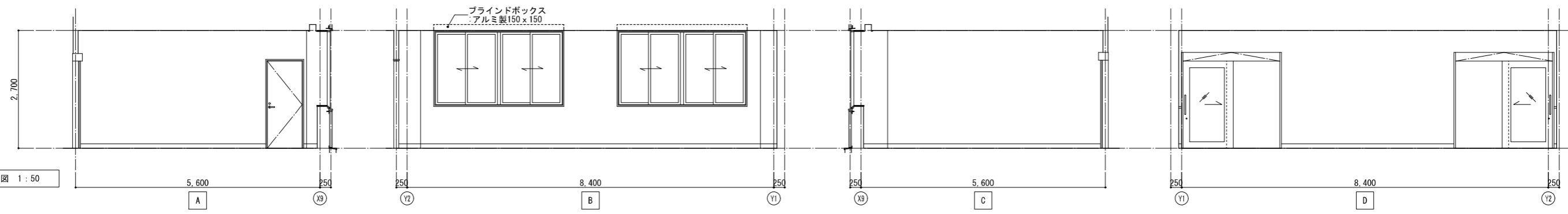
休養室 展開図 1:50



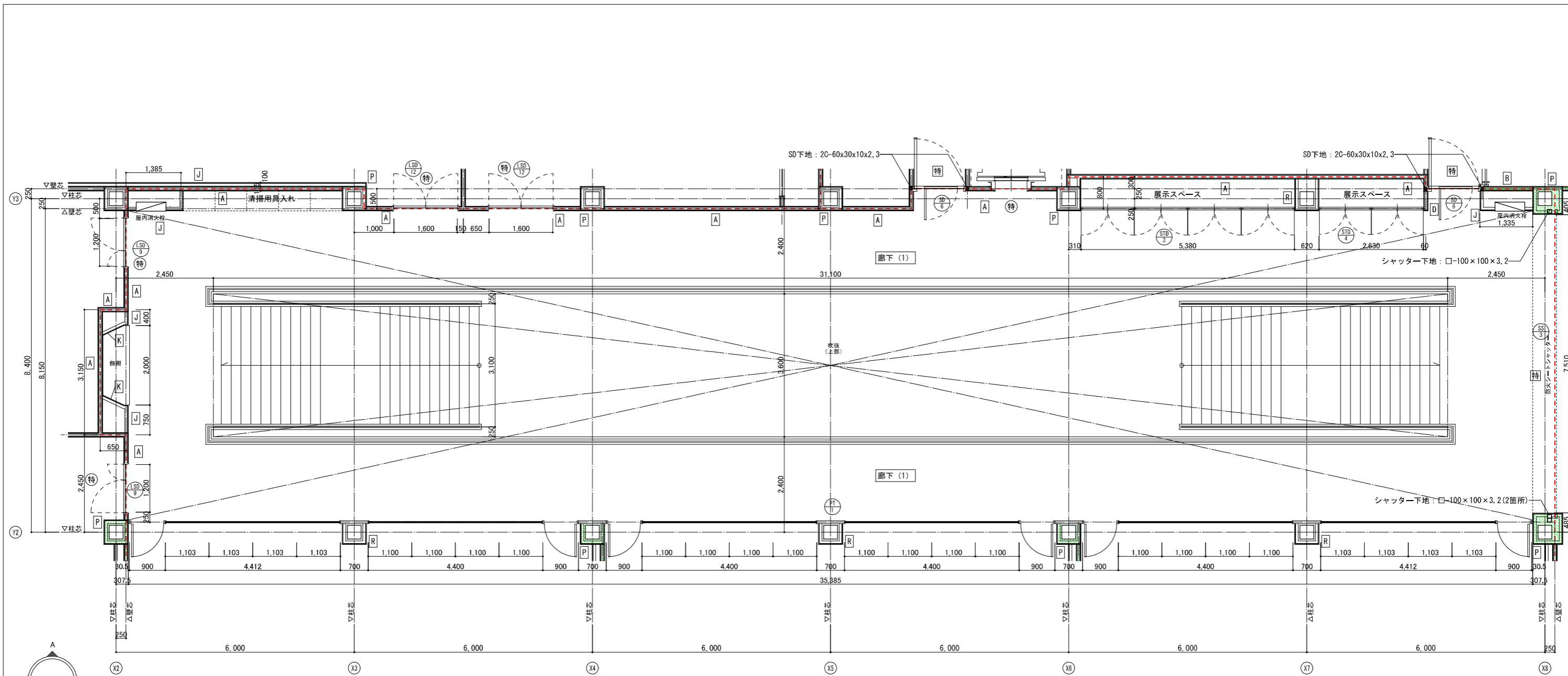
会議室倉庫 展開図 1:50



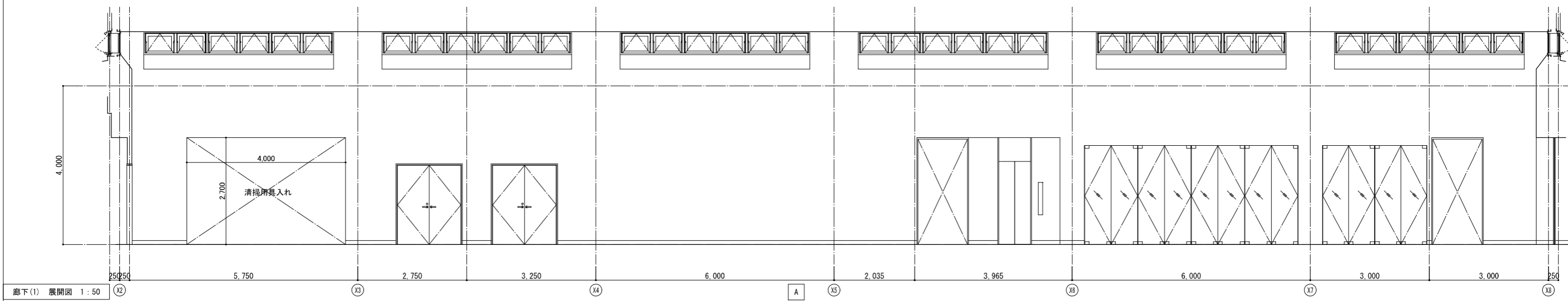
会議室 平面詳細図 1:50



会議室 展開図 1:50



2階廊下(1) 平面詳細図 1:50



廊下(1) 展開図 1:50